



清掃事業概要

平成 2 7 年 度 版

新潟市環境部

新潟市清掃事業概要 目次

第1章 新潟市の概要		第4章 ごみ処理事業	
1 地勢	1	1 経緯及び現況	
2 地区別人口・世帯	1	(1) 経緯	29
		(2) 平成 27 年度 処理計画フロー	29
第2章 組織・人員・施設等		2 新ごみ減量制度	
1 組織	3	(1) 10 種 13 分別による高品質な リサイクルの推進	30
2 事務分掌	4	(2) 有料指定袋導入によるごみ減量	32
3 人員	8	(3) 手数料収入の市民還元	33
4 清掃審議会	10	(4) 市民・事業者・市による協働の取り組み	34
5 事務所・施設	11	3 「新潟市一般廃棄物(ごみ)処理 基本計画」について	
(1) 事務所	12	(1) 概要	35
(2) 焼却施設	13	(2) 基本理念	35
(3) 中間処理施設(破碎・選別等)	15	(3) 数値目標	35
(4) 埋立処分地	17	(4) 基本方針	35
(5) し尿処理施設	18	4 ごみ収集処理実績	
		(1) 平成 26 年度 ごみ処理実績フロー	36
第3章 事業費・原価・手数料		(2) 収集ごみの推移	36
1 平成 27 年度当初予算		(3) 直接搬入ごみの推移	37
(1) 歳入	21	(4) 平成 26 年度 焼却施設搬入量内訳	37
(2) 歳出	21	(5) 平成 26 年度 埋立処分地搬入量内訳	38
2 清掃事業費等の推移		(6) 平成 26 年度 中間処理 (破碎・選別等)施設搬入量内訳	38
(1) 清掃事業費決算額の推移	22	(7) 平成 26 年度 資源化量内訳	38
(2) 清掃手数料決算額収入の推移(現年分)	22	5 ごみ質分析	
3 原価		(1) 平成 26 年度可燃物の分析	39
(1) 市民 1 人及び 1 世帯あたり ごみ処理原価の推移	23	(2) 平成 26 年度 粗大ごみの受付個数	40
(2) 重量及び体積あたりのごみ処理原価の 推移	24		
4 手数料		第5章 減量化・資源化・環境美化	
(1) 処理手数料	25	1 減量化・資源化事業	
(2) その他手数料	26	(1) 集団資源回収事業	41
		(2) 資源物の拠点回収事業	41
		(3) 家庭系生ごみのリサイクル	42
		(4) 廃天ぷら油の拠点回収事業	42
		(5) 学校給食残渣等再生処理事業	42
		(6) 事業系ごみ減量化対策事業	43
		2 啓発事業	
		(1) 広報活動	43
		(2) 副読本の作成及び出前講座の実施	43

(3) 清掃ポスターの募集	44
(4) 環境フェアの開催	44
(5)ごみの出し方よろす相談所 「ナジラテ屋」のイベント出展事業	44
(6) 環境美化奉仕活動表彰	44
3 リサイクルプラザ事業	
(1) 資源再生センター(エコプラザ)事業	44
(2) 新田清掃センター啓発事業	46
(3) 鎧潟クリーンセンター啓発事業	47
4 環境美化運動	
(1) きれいなまちづくり運動	48
(2) 海岸一斉清掃	48
(3) 各区における一斉清掃等	49
(4) 海水浴場臨時ごみ集積所の設置	49
(5) 環境美化整備等補助	49
5 余熱利用	
(1) ふれあい健康センター (アクアパークにいがた)	50
(2) 亀田清掃センター附属休憩所 (田舟の里)	50
(3) 舞平清掃センター附属休憩所	50
(4) その他	51
6 施設見学	
(1) 新田清掃センター	51
(2) 亀田清掃センター	51
(3) 鎧潟クリーンセンター	51
(4) 新津クリーンセンター	51
(5) 舞平清掃センター	51
(6) 資源再生センター	51

第6章 し尿・浄化槽汚泥処理事業

1 経緯及び現況	
(1) 経緯	53
(2) 平成 27 年度 処理計画フロー	53
2 し尿及び浄化槽汚泥処理実績	
(1) 処理方法別人口	54
(2) 平成 26 年度 処理実績フロー	54
(3) 収集処理実績	55

第7章 産業廃棄物の現状と対策

1 概説	57
2 産業廃棄物の排出状況と 処理状況	57
3 産業廃棄物処理施設の 設置状況と処理状況	58
4 産業廃棄物処理業者の 許可と処理状況	58
5 自動車リサイクル法に基づく 許可・登録状況	60
6 廃PCB等の保管状況	60
7 産業廃棄物の適正処理対策	60

第8章 一部事務組合

1 豊栄郷清掃施設処理組合	
(1) 概説	61
(2) 組織・人員	61
(3) 事業費	62
(4) 平成26 年度処理実績	62
2 阿賀北広域組合	
(1) 概説	63
(2) 組織・人員	63
(3) 事業費	64
(4) 平成 26 年度処理実績 (し尿・浄化槽汚泥)	64

第9章 資料

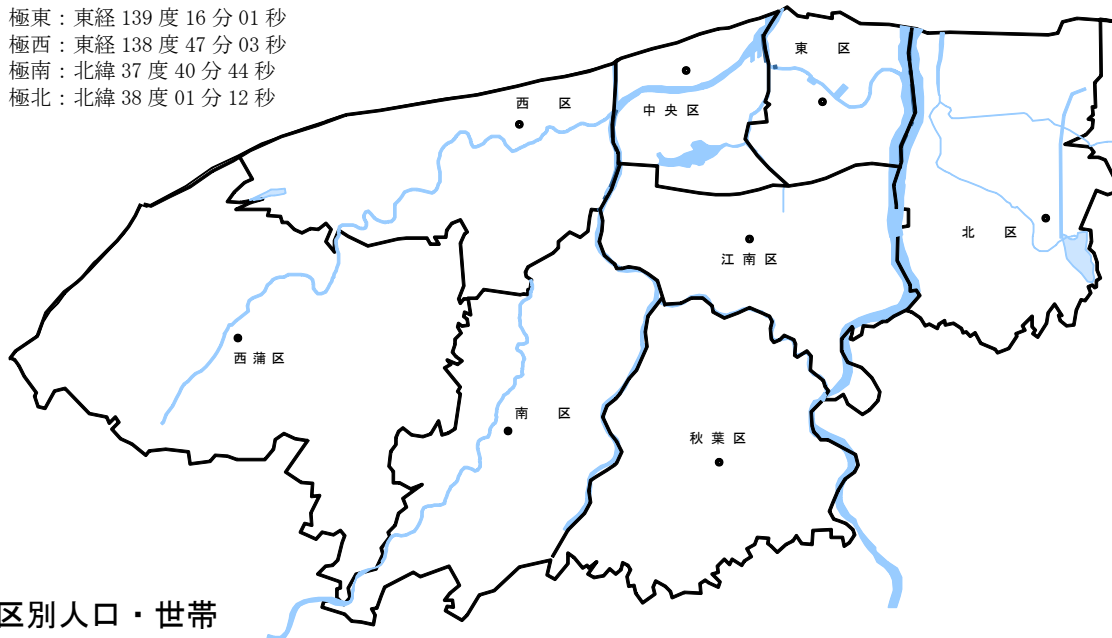
1 車両	65
2 一般廃棄物処理業許可業者	66
3 清掃審議会審議事項及び日程	69
4 安全衛生等	74
5 廃止及び休止清掃施設	75
6 ごみ・し尿処理手数料の推移	82
7 組織の変遷	83
8 廃棄物・リサイクルに関する法改正	85
9 清掃事業の沿革	87
10 新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に 関する条例	100
11 新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に 関する条例の施行及び一般廃棄物処理 業の許可等に関する規則	115

第1章 新潟市の概要

1 地勢	1
2 地区別人口・世帯	1

1 地勢

面積 726.45 平方キロメートル
 広がり 東西：42.5 キロメートル、南北：37.9 キロメートル
 位置 極東：東経 139 度 16 分 01 秒
 極西：東経 138 度 47 分 03 秒
 極南：北緯 37 度 40 分 44 秒
 極北：北緯 38 度 01 分 12 秒



2 地区別人口・世帯

世帯数 327,723 世帯
 人口 801,270 人
 (住民基本台帳 平成 27 年 3 月 31 日)

区 分	世帯数	人 口
北 区	28,069	76,290
東 区	59,223	138,435
中央区	84,331	175,923
江南区	26,004	69,306
秋葉区	28,854	77,976
南 区	15,441	46,370
西 区	65,772	157,168
西蒲区	20,029	59,802

[参考]

ごみの収集・処理は合併前の体制を維持している個所があります。

その際の地区別の区分は下図のとおりです。

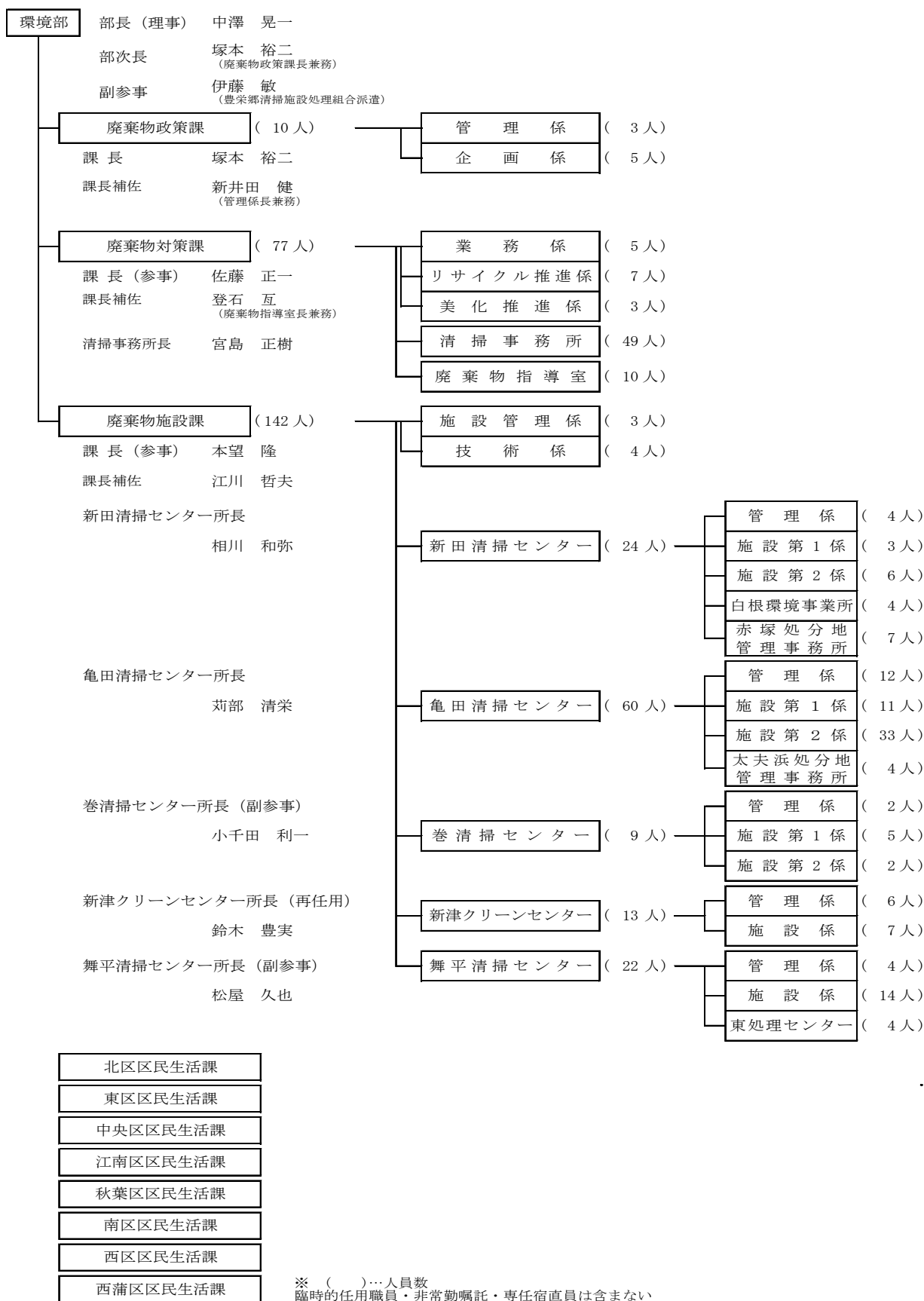


第2章 組織・人員・施設等

1 組織	3
2 事務分掌	4
3 人員	8
4 清掃審議会	10
5 事務所・施設	
(1) 事務所	12
(2) 焼却施設	13
(3) 中間処理施設(破碎・選別等)	15
(4) 埋立処分地	17
(5) 尿酸処理施設	18

1 組織

(平成27年8月1日現在)



2 事務分掌

(平成27年4月1日現在)

課・(機関)	室・係・(機関)	分掌事務
廃棄物政策課	管理係	ふれあい健康センターに関する事項
		豊栄郷清掃施設処理組合に関する事項
		阿賀北広域組合（清掃事業に係るものに限る。）の総合調整に関する事項
		課、廃棄物対策課及び廃棄物施設課の庶務に関する事項
	企画係	清掃事業に係る調査及び計画に関する事項
		ごみの減量化及びリサイクルに係る企画及び調査研究に関する事項
廃棄物対策課	業務係	一般廃棄物の処理委託及びその指導監督に関する事項
		一般廃棄物処理業の許可及び指導監督に関する事項 （浄化槽汚泥に限る。）
		清掃事務所に関する事項
		一般廃棄物処理手数料に関する事項
		産業廃棄物処分費用に関する事項
	リサイクル 推進係	一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項 （事業系一般廃棄物を除く。）
		清掃事務所及び区役所の清掃業務の事務調整に関する事項
		ごみの減量化及びリサイクルに係る事業の実施及び啓発に関する事項
		資源再生センターの啓発事業に関する事項
		クリーンにいがた推進員に関する事項
	美化推進係	環境美化の推進に関する事項
	廃棄物指導室	産業廃棄物処理業の許可及び指導監督に関する事項
		産業廃棄物処理施設の設置の許可及び監視指導に関する事項
		産業廃棄物の収集運搬若しくは処分又は保管に係る調整及び指導に関する事項
		産業廃棄物に係る相談指導に関する事項
		一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項 （事業系一般廃棄物に限る。）
		一般廃棄物処理業の許可及び指導監督に関する事項 （浄化槽汚泥を除く。）
		一般廃棄物処理施設の設置の許可及び監視指導に関する事項
		建設工事に係る資材の再資源化等に関する事項 （建築部建築行政課の所管するものを除く。）
		使用済自動車の再資源化等に関する事項
（清掃事務所）		一般廃棄物の収集及び運搬に関する事項
一般廃棄物の適正処理の指導に関する事項		
清掃作業用自動車の維持管理に関する事項		

課・(機関)	室・係・(機関)	分掌事務
廃棄物施設課	施設管理係	廃棄物処理施設の運営及び整備の総括に関する事項
		廃棄物処理施設の附属施設の総括に関する事項
	技術係	廃棄物処理施設の新設、改良工事等（課の機関の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		廃棄物処理施設の処理技術の調査研究に関する事項
(新田清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
		処分地管理事務所に関する事項
	施設第1係	廃棄物処理施設（破碎施設を除く。）の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		廃棄物処理施設（破碎施設）の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
	(白根環境事業所)	廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項
		廃棄物処理施設の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		廃棄物処分費用に関する事項
	(赤塚処分地管理事務所)	廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項
		赤塚埋立処分地及び小平方埋立処分地の管理運営に関する事項
	(亀田清掃センター)	管理係
亀田清掃センター附属施設に関する事項		
処分地管理事務所に関する事項		
廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項		
施設第1係		廃棄物処理施設（粗大ごみ処理施設を含む。）の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		亀田清掃センター附属施設の工事の調査、設計及び施行に関する事項
		廃棄物処理施設の調査に関する事項
		亀田一般廃棄物処分場の管理運営に関する事項
施設第2係		廃棄物処理施設（ごみ処理施設）の運営に関する事項
		(太夫浜処分地管理事務所)

課・(機関)	室・係・(機関)	分掌事務
(巻清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項
	施設第1係	廃棄物処理施設（ごみ処理施設、埋立処分地）の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
	施設第2係	廃棄物処理施設（し尿処理施設）の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
(新津クリーンセンター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
		廃棄物処理施設の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項
	施設係	廃棄物処理施設（粗大ごみ処理施設）の運営に関する事項
(舞平清掃センター)	管理係	廃棄物処分費用に関する事項
		東処理センターに関する事項
		舞平清掃センター附属施設の管理運営に関する事項
		廃棄物の再資源化及び再利用に係る情報の提供等（廃棄物対策課の所管するものを除く。）に関する事項
	施設係	廃棄物処理施設の管理運営並びに工事（廃棄物施設課の所管するものを除く。）の調査、設計及び施行に関する事項
		舞平清掃センター附属施設の工事の調査、設計及び施行に関する事項
(東処理センター)	東処理センターの管理運営に関する事項	
	浄化槽清掃業の指導に関する事項 (環境部環境対策課の所管するものを除く)	

○区役所共通

- ・一般廃棄物の収集運搬に係る委託及び指導監督に関する事項
- ・阿賀北広域組合に関する事項(北区役所に限る。)
- ・一般廃棄物の適正処理に係る指導及び啓発に関する事項
- ・一般廃棄物に係る相談指導に関する事項
- ・一般廃棄物処理業者の指導監督に関する事項
- ・一般廃棄物の収集運搬、処分又は保管に係る調整及び指導に関する事項
- ・一般廃棄物処理手数料に関する事項
- ・一般廃棄物についての苦情に関する事項
- ・ごみの減量化及びリサイクルに係る事業の実施及び啓発に関する事項

3 人員

(平成27年8月1日現在)

職種名 所属・係名	管理監督職				一 般 職 員						非 常 勤 嘱 託	専 任 宿 直 員	合 計
	部 長	課 長 ・ 所 長	(課 所 長 補 長 佐)	主 幹 ・ 係 長	事 務	ご み 処 理				し 尿 処 理			
						収 集 運 搬	焼 却	破 砕	埋 立				
環境部	1												1
廃棄物政策課	0	2	1	1	7	0	0	0	0	0	0	0	11
課長・課長補佐		2	1										3
管理係					3								3
企画係				1	4								5
廃棄物対策課	0	1	2	5	21	48	0	0	0	0	11	0	88
課長・課長補佐		1	1										2
業務係				1	4								5
リサイクル推進係				1	6								7
美化推進係				1	2						6		9
清掃事務所			1		1	48							50
廃棄物指導室				2	8						5		15
廃棄物施設課	0	1	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	9
課長・課長補佐		1	1										2
施設管理係				1	2								3
技術係				1	3								4
新田清掃センター	0	0	1	5	4	0	2	6	7	0	0	0	25
所長			1										1
管理係				1	3								4
施設第1係				1			2						3
施設第2係				1				5					6
白根環境事業所				1	1			1	1				4
赤塚埋立地管理事務所				1					6				7
亀田清掃センター	0	0	1	4	2	0	48	1	5	0	0	2	63
所長			1										1
管理係				1	2		7		2				12
施設1係				1			9	1					11
施設2係				1			32						33
太夫浜処分地管理事務所				1					3			2	6

職種名 所属・係名	管理監督職				一 般 職 員						非 常 勤 嘱 託	専 任 宿 直 員	合 計
	部 長	課 長 ・ 所 長	(課 長 補 佐)	主 幹 ・ 係 長	事 務	ご み 処 理				し 尿 処 理			
						収 集 運 搬	焼 却	破 砕	埋 立				
巻清掃センター	0	1	0	3	1	0	3	0	1	1	0	0	10
所長		1											1
管理係				1	1								2
施設第1係				1			3		1				5
施設第2係				1						1			2
新津クリーンセンター	0	0	1	1	3	0	9	0	0	0	0	0	14
所長			1										1
管理係				1	3		2						6
施設係							7						7
舞平清掃センター	0	1	0	3	3	0	0	0	0	16	0	0	23
所長		1											1
管理係				1	3								4
施設係				1						13			14
東処理センター				1						3			4
合 計	1	6	7	24	46	48	62	7	13	17	11	2	244

※再任用職員44名・任期付短時間勤務職員1名を含む。

※廃棄物政策課に豊栄郷清掃施設処理組合派遣職員を含む。

4 清掃審議会

廃棄物処理事業に関する重要な事項について、広く市民から意見を徴し行政施策に反映させるため、昭和41年4月に市長の諮問機関として設置されました。

現在は、学識経験者5名、市民代表10名の計15名で構成されています。

[新潟市清掃審議会委員 名簿]

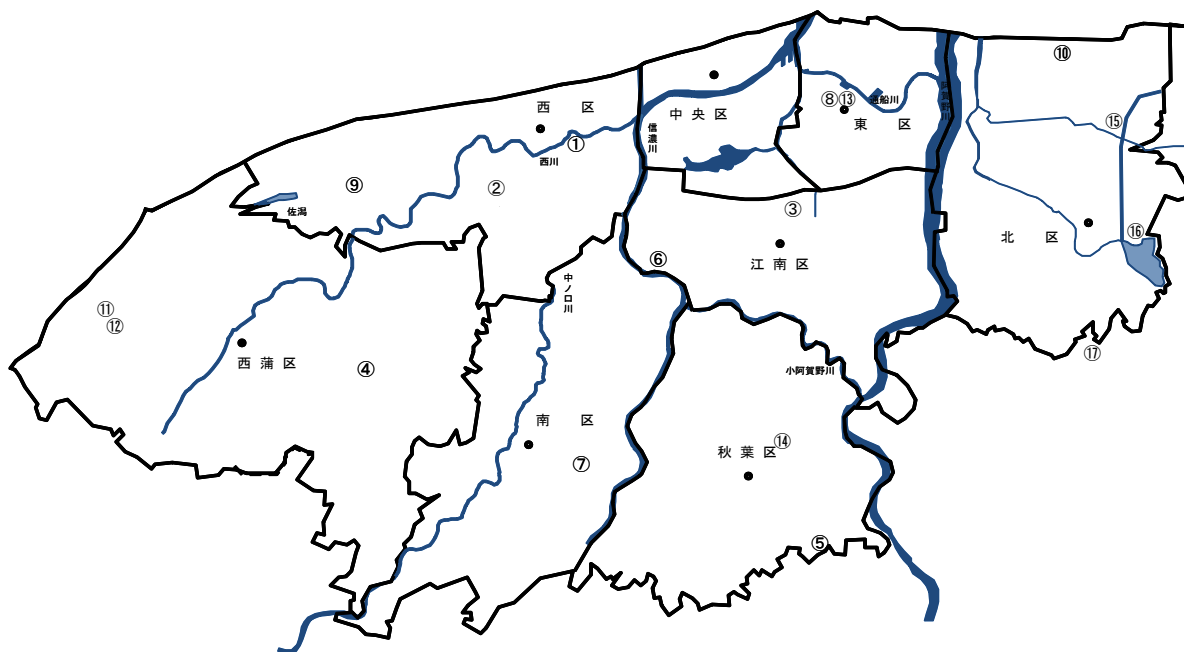
(平成27年10月1日現在)

区 分	役 職	氏 名	備 考
学識経験者 (1号)	フリーアナウンサー	菊野 麻子	
	新潟大学教育学部 教授	柴田 透	
	宇都宮大学国際学部国際社会学科 准教授	高橋 若菜	
	新潟大学産学地域連携推進センター 教授	松原 幸夫	
	新潟県立大学国際地域学部 准教授	渡邊 理絵	
市 民 (2号)	潟東地域コミュニティ協議会 環境・福祉・保健部 部会長	石井 敏子	
	公募委員	掛川 洋規	
	公募委員	斎藤 和子	
	イオンリテール株式会社 北関東・新潟カンパニー 新潟事業部 イオン新潟青山店 人事総務課 課長	菅谷 慶幸	
	新潟市食生活改善推進委員協議会 北支部 顧問	高橋まゆみ	
	新潟商工会議所 女性会 委員	中澤 幸子	
	亀田製菓株式会社 設備開発部 部長	星島 聡	
	亀田郷土地改良区 事務局長	松原 将	
	新潟市消費者協会 新潟支部 理事	八子 迪子	
NPO法人まちづくり学校 事務局長	山賀 昌子		

(敬称略・各号毎に五十音順)

5 事務所・施設

(平成27年4月1日現在)



[事務所]

- ① 清掃事務所
- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 巻清掃センター
- ⑤ 新津クリーンセンター
- ⑥ 舞平清掃センター
- ⑬ 豊栄郷清掃施設処理組合
- ⑰ 阿賀北広域組合(阿賀野市)

[中間処理施設～破碎・選別等]

- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 鎧漕クリーンセンター
- ⑤ 新津クリーンセンター
- ⑦ 白根グリーンタワー
- ⑧ 資源再生センター
- ⑮ 豊栄環境センター

[埋立処分地]

- ⑨ 赤塚埋立処分地
- ⑩ 太夫浜埋立処分地
- ⑪ 福井埋立処分地
- ⑯ 江楓園

[焼却施設]

- ② 新田清掃センター
- ③ 亀田清掃センター
- ④ 鎧漕クリーンセンター
- ⑤ 新津クリーンセンター
- ⑮ 豊栄環境センター

[し尿処理施設]

- ⑥ 舞平清掃センター
- ⑫ 巻処理センター
- ⑬ 東処理センター
- ⑭ 新津浄化センター
し尿受入施設
- ⑰ 阿賀北広域組合
清掃センター(阿賀野市)

(1) 事務所

事務所名	清掃事務所	新田清掃センター
所在地	新潟市西区小新2028番地1 TEL 025-266-5599 FAX 025-266-9408	新潟市西区笠木3644番地1 TEL 025-263-1416 FAX 025-263-1417
敷地面積	13,450 m ²	52,436 m ²
建築面積	管理事務所 1,015m ² 車庫 1,243m ²	—————
管理施設・設備等	直営収集車両基地	新田清掃センター（焼却施設、破碎施設） 赤塚埋立処分地 資源再生センター（啓発棟除く） 白根環境事業所 （白根グリーンタワー粗大ごみ処理施設）

事務所名	亀田清掃センター	巻清掃センター
所在地	新潟市江南区亀田1835番地1 TEL 025-382-4371 FAX 025-382-4373	新潟市西蒲区鎧潟12618番地 TEL 0256-76-2831 FAX 0256-76-2832
敷地面積	65,114 m ²	22,678 m ²
建築面積	—————	—————
管理施設・設備等	亀田清掃センター （ごみ処理施設、粗大ごみ処理施設） 太夫浜埋立処分場（第3期）、 附属休憩所「田舟の里」、附属運動公園	鎧潟クリーンセンター （ごみ処理施設、リサイクルプラザ） 福井埋立処分地 巻処理センター

事務所名	新津クリーンセンター	舞平清掃センター
所在地	新潟市秋葉区小口1289番地1 TEL 0250-22-0917 FAX 0250-23-4641	新潟市江南区平賀161番地1 TEL 025-280-3131 FAX 025-280-3133
敷地面積	13,256 m ²	35,408 m ²
建築面積	—————	—————
管理施設・設備等	新津クリーンセンター （焼却施設、粗大ごみ処理施設）	舞平清掃センター（し尿処理施設） 附属休憩所

(2) 焼却施設

施設名	新田清掃センター (焼却施設)	亀田清掃センター (ごみ処理施設)
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市西区笠木3644番地1 TEL 025-263-1416 FAX 025-263-1417	新潟市江南区亀田1835番地1 TEL 025-382-4371 FAX 025-382-4373
敷地面積	52,436 m ²	65,114 m ²
建築面積	6,505 m ²	10,207 m ²
延床面積	11,934 m ²	24,291 m ²
処理方式	ストーカ+灰溶融炉	流動床
処理能力	焼却炉：330t/24h(110t/24h×3炉) 灰溶融炉：36t/24h(18t/24h×2炉)	390t/24h (130t/24h×3炉)
工期	H20.7.1 ～ H24.3.31	H5.6.16 ～ H9.3.15
施工会社	JFE環境ソリューションズ(株)	(株)荏原製作所
建設費	13,206,585 千円	23,116,972 千円
国庫補助 起債 一般財源等	4,811,359 千円 7,280,300 千円 1,114,926 千円	3,389,159 千円 14,654,200 千円 5,073,613 千円
付帯設備等	発電 7,800kW 余熱利用施設「アクアパークにいがた」	発電 5,100kW 粗大ごみ処理施設と一体 附属運動公園 余熱利用施設「田舟の里」

施設名	鎧潟クリーンセンター	新津クリーンセンター
所管	巻清掃センター	新津クリーンセンター
所在地	新潟市西蒲区鎧潟12618番地 TEL 0256-76-2831 FAX 0256-76-2832	新潟市秋葉区小口1289番地1 TEL 0250-22-0917 FAX 0250-23-4641
敷地面積	22,678 m ²	13,256 m ²
建築面積	5,559 m ²	2,368 m ²
延床面積	12,298 m ²	3,644 m ²
処理方式	シャフト炉式ガス化溶融	流動床
処理能力	120t/24h (60t/24h×2炉)	144t/24h (72t/24h×2炉)
工期	H11.7.1 ～ H14.3.20	H5.6.23 ～ H7.12.9
施工会社	新日本製鐵(株)	(株)神戸製鋼所
建設費	8,002,050 千円	5,352,078 千円
国庫補助 起債 一般財源等	2,046,895 千円 5,538,800 千円 416,355 千円	473,656 千円 3,703,200 千円 1,175,222 千円
付帯設備等	粗大ごみ用粗破砕機 発電 1,500 kW リサイクルプラザと一体 啓発施設併設	H16.4.21より24h運転 粗大ごみ処理施設と一体 隣接する福祉施設へ給湯 H12、13排ガス対策工事実施

新潟市清掃事業概要

施設名	豊栄環境センター
所管	豊栄郷清掃施設処理組合
所在地	新潟市北区浦ノ入418番地 TEL 025-386-0909 FAX 025-386-1003
敷地面積	15,137 m ²
建築面積	2,910 m ²
延床面積	4,580 m ²
処理方式	ストーカ
処理能力	130t/16h (40t/16h×2炉+50t/16h)
工期	S54.10.27 ~ S55.12.30
施工会社	日立造船(株)
建設費	※ 3,548,077 千円
国庫補助 起債 一般財源等	980,040 千円 2,275,000 千円 293,037 千円
付帯設備等	可燃性粗大ごみ破碎設備 5t/5h ※建設費は3号炉(50t)増設費(H7、8)を含む H10、11排ガス対策工事実施(40t×2炉)

(3) 中間処理施設（破碎・選別等）

施設名	新田清掃センター (破碎施設)	亀田清掃センター (粗大ごみ処理施設)
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市西区笠木3644番地1 TEL 025-263-1416 FAX 025-263-1417	新潟市江南区亀田1835番地1 TEL 025-382-4371 FAX 025-382-4373
敷地面積	52,436 m ²	65,114 m ²
建築面積	4,932 m ²	10,207 m ²
延床面積	7,970 m ²	24,291 m ²
処理方式	縦型高速回転式細破碎機 二軸低速回転式粗破碎機	横型回転式破碎機 剪断式破碎機
処理能力	170t/5h (85t/5h×2系 縦型高速) (5t/5h×1系 二軸低速)	50t/5h (45t/5h×1系 横型) (5t/5h×1系 剪断)
工期	H9.7.3 ~ H12.3.15	H5.6.16 ~ H9.3.15
施工会社	(株)荏原製作所	(株)荏原製作所
建設費	8,097,000 千円	3,123,078 千円
国庫補助 起債	3,981,470 千円	704,149 千円
一般財源等	3,820,000 千円	1,944,600 千円
	295,530 千円	474,329 千円
付帯設備等		ごみ処理施設と一体

施設名	白根グリーンタワー (粗大ごみ処理施設)	鎧潟クリーンセンター (リサイクルプラザ)
所管	新田清掃センター	巻清掃センター
所在地	新潟市南区白井2135番地1 TEL 025-371-5070 FAX 025-372-3708	新潟市西蒲区鎧潟12618番地 TEL 0256-76-2831 FAX 0256-76-2832
敷地面積	34,405 m ²	22,678 m ²
建築面積	1,743 m ²	5,559 m ²
延床面積	3,174 m ²	12,298 m ²
処理方式	回転式衝撃剪断破碎機 油圧切断機	かん 機械選別・圧縮 びん 自動色選別 ペットボトル 圧縮梱包
処理能力	20t/5h×1系 回転式 5t/5h×1系 油圧切断	かん 7t/5h びん 7t/5h ペットボトル 2t/5h (休止中)
工期	H3.12.5 ~ H6.10.31	H11.7.1 ~ H14.3.20
施工会社	(株)クボタ	新日本製鐵(株)
建設費	787,950 千円	868,350 千円
国庫補助 起債	233,390 千円	236,590 千円
一般財源等	479,500 千円	596,700 千円
	75,060 千円	35,060 千円
付帯設備等		焼却施設と一体 啓発施設併設

新潟市清掃事業概要

施設名	新津クリーンセンター (粗大ごみ処理施設)	資源再生センター
所管	新津クリーンセンター	新田清掃センター
所在地	新潟市秋葉区小口1289番地1 TEL 0250-22-0917 FAX 0250-23-4641	新潟市東区下木戸3丁目4番2号 TEL 025-270-3009 FAX 025-270-3092
敷地面積	13,256 m ²	6,452 m ²
建築面積	2,368 m ²	2,292 m ²
延床面積	3,644 m ²	4,050 m ²
処理方式	横軸回転衝撃式破砕機 剪断式切断機	機械選別(スチール・アルミ缶)・圧縮
処理能力	20t/5h×1系 破砕機 1t/5h×1系 切断機	60t/5h (30t/5h×2系)
工期	H5.6.23 ~ H7.12.9	H6.10.3 ~ H8.3.15
施工会社	(株)神戸製鋼所	(株)新潟鐵工所
建設費	1,161,849 千円	2,403,085 千円
国庫補助 起債	147,871 千円	1,158,550 千円
一般財源等	767,600 千円	1,002,200 千円
	246,378 千円	242,335 千円
付帯設備等	焼却施設と一体 リサイクル館併設 (247m ²)	啓発施設併設 (廃棄物対策課所管)

施設名	豊栄環境センター (不燃物処理施設)
所管	豊栄郷清掃施設処理組合
所在地	新潟市北区浦ノ入418番地 TEL 025-386-0909 FAX 025-386-1003
敷地面積	15,137 m ²
建築面積	622 m ²
延床面積	722 m ²
処理方式	衝撃剪断式
処理能力	30t/5h
工期	S61.8.4 ~ S62.3.25
施工会社	(株)栗本鐵工所
建設費	363,000 千円
国庫補助 起債	181,500 千円
一般財源等	145,200 千円
	36,300 千円
付帯設備等	

(4) 埋立処分地

施設名	第4赤塚埋立処分地	太夫浜埋立処分地(第3期)
所管	新田清掃センター	亀田清掃センター
所在地	新潟市西区東山123番地1 TEL 025-239-2777 FAX 025-264-3838	新潟市北区島見町4592番地14 TEL 025-258-3533 FAX 025-258-3540
敷地面積	138,699 m ²	54,874 m ²
埋立面積	99,600 m ²	33,000 m ²
埋立容量	492,000 m ³	182,000 m ³
浸出水処理方式	流入調整+カルシウム除去+生物処理 +砂ろ過+消毒	接触酸化+凝集沈殿 +砂ろ過
処理能力	320 m ³ /日	260 m ³ /日
工期	H20.12.19 ~ H24.3.15	H10.7.2 ~ H13.3.15
施工水処理	大成・本間・五十嵐・近藤・荏原JV (株)荏原製作所 新潟支店	加賀田・皆川・吉川JV 日本鋼管(株)
建設費	4,348,620 千円	2,211,903 千円
国庫補助 起債 一般財源等	1,275,655 千円 2,554,700 千円 518,265 千円	957,653 千円 902,700 千円 351,550 千円
用地費	982,710 千円	1,648,117 千円
付帯設備等		

施設名	福井埋立処分地	一般廃棄物最終処分場江楓園
所管	巻清掃センター	豊栄郷清掃施設処理組合
所在地	新潟市西蒲区福井2653番地 TEL 0256-72-8868 FAX 0256-72-8868	新潟市北区前新田乙319番地1 TEL 025-386-0909(事務局) FAX 025-386-1003(事務局)
敷地面積	62,954 m ²	38,918 m ²
埋立面積	13,400 m ²	20,699 m ²
埋立容量	97,690 m ³	80,910 m ³
浸出水処理方式	接触酸化+凝集沈殿 +砂ろ過+活性炭	接触酸化+凝集沈殿 +砂ろ過+活性炭
処理能力	100 m ³ /日	230 m ³ /日
工期	S57.12.1 ~ S58.8.31	H2.8.2 ~ H4.3.15
施工水処理	福田・本間・水倉・久住JV 荏原エンジニアリングサービス(株)	(株)本間組 富士電機システムズ(株)
建設費	540,817 千円	1,410,070 千円
国庫補助 起債 一般財源等	126,469 千円 384,800 千円 29,548 千円	321,573 千円 886,000 千円 202,497 千円
用地費	204,767 千円	277,600 千円
付帯設備等	掘起し用振動ふるい設備 ※H13年度整備工事実施	

(5) し尿処理施設

施設名	舞平清掃センター	巻処理センター
所管	舞平清掃センター	巻清掃センター
所在地	新潟市江南区平賀161番地1 TEL 025-280-3131 FAX 025-280-3133	新潟市西蒲区福井79番地 TEL 0256-72-2835 FAX 0256-72-2837
敷地面積	35,408 m ²	12,686 m ²
建築面積	5,024 m ²	1,684 m ²
延床面積	9,199 m ²	2,235 m ²
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理 (浄化槽汚泥対応型) + 高度処理 汚泥再生 高温メタン発酵	膜分離高負荷脱窒素処理 (浄化槽汚泥対応型) + 高度処理
処理能力	149 k1/日	73 k1/日
し尿	58 k1/日	12 k1/日
浄化槽汚泥	91 k1/日	61 k1/日
その他	生ごみ 1.8 t/日	
工期	H12.8.4 ~ H15.12.22	H22.9.30 ~ H24.3.15
施工会社	アタカ工業(株)	クボタ環境サービス・福田・加賀田JV
建設費	5,528,970 千円	1,111,971 千円
国庫補助	1,431,390 千円	253,673 千円
起債	3,093,100 千円	662,600 千円
一般財源等	1,004,480 千円	195,698 千円
付帯設備等	汚泥再生メタンガスを熱源に利用した附属休憩所併設	H22~23大規模改造更新(改造前施設の建屋、水槽を改修し再利用)

施設名	東処理センター	し尿受入施設
所管	舞平清掃センター	新津クリーンセンター
所在地	新潟市東区下木戸3丁目4番1号 TEL 025-274-7691 FAX —	新潟市秋葉区古田ノ内大野開2番地 TEL — FAX —
敷地面積	14,309 m ²	流域下水道終末処理場(新潟県新津浄化センター)内に設置
建築面積	2,055 m ²	232 m ²
延床面積	3,216 m ²	432 m ²
処理方式	下水道投入施設	下水道投入施設
処理能力	56 k1/日	55 k1/日
し尿		
浄化槽汚泥	56 k1/日	
その他		
工期	S54.7.13 ~ S55.3.31	H15.1.23 ~ H15.12.24
施工会社	山田工業(株)、新潟ジンプロ(有)	(株)福田組、(株)大原鉄工所、 荏原実業(株)、神戸電機(株)
建設費	485,300 千円	178,949 千円
国庫補助	70,000 千円	0 千円
起債	321,700 千円	134,400 千円
一般財源等	93,600 千円	44,549 千円
付帯設備等	H14.4.1から施設の一部を使用し、 除渣、希釈後下水道投入	建設費は市負担分のみ。 全体工事費は345,305千円 除渣、希釈後下水道投入

施設名	阿賀北広域組合清掃センター	
所管	阿賀北広域組合	
所在地	阿賀野市船居496番地1 TEL 025-387-3798 FAX 025-387-3422	
敷地面積	27,004 m ²	
建築面積	1,836 m ²	
延床面積	3,378 m ²	
処理方式	膜分離高負荷脱窒素処理 +高度処理	
処理能力	99 k1/日	
	し尿	48 k1/日
	浄化槽汚泥	44 k1/日
	その他	コミュニティプラント汚泥 7 k1/日
工期	H12.9.4 ~ H14.12.25	
施工会社	栗田工業㈱	
建設費	1,399,260 千円	
	国庫補助	0 千円
	起債	1,104,300 千円
	一般財源等	294,960 千円
付帯設備等		

第3章 事業費・原価・手数料

1 平成27年度当初予算	
(1) 歳入	21
(2) 歳出	21
2 清掃事業費等の推移	
(1) 清掃事業費決算額の推移	22
(2) 清掃手数料決算額収入の推移(現年分)	22
3 原価	
(1) 市民1人及び1世帯あたりのごみ処理原価の推移	23
(2) 重量及び体積あたりのごみ処理原価の推移	24
4 手数料	
(1) 処理手数料	25
(2) その他手数料	26

1 平成27年度当初予算

(1) 歳入

(単位：千円)

科目	節又は付記	27年度	26年度	増減	主な増減理由
		a	b	(a-b)	
使用料及び手数料	廃棄物処理施設附属休憩所使用料	15,114	10,363	4,751	利用者の増
	衛生施設財産使用料	179	174	5	
	ごみ処理手数料	918,130	924,930	△ 6,800	指定袋販売枚数の減
	し尿処理手数料	159,010	167,695	△ 8,685	客体数の減
	廃棄物処分手数料	1,061,966	1,113,846	△ 51,880	事業系ごみ量の減
	その他衛生手数料	7,757	10,206	△ 2,449	許可更新予定数の減
国補助金	循環型社会形成推進交付金	1,185,868	936,972	248,896	亀田焼却施設基幹改良工事分の増
財産収入	財産貸付料	990	687	303	貸付収入の増
	物品売払収入	448,112	408,542	39,570	古紙、アルミ、鉄等単価の増
諸収入	過料	36	60	△ 24	
	清掃費受託事業収入	3,571	3,700	△ 129	処理量の減
	雑入	94,670	144,733	△ 50,063	亀田清掃センター電力売払料の減
市債	清掃債	1,798,200	1,570,900	227,300	亀田焼却施設基幹改良工事分などの増
計		5,693,603	5,292,808	400,795	

(2) 歳出

(単位：千円)

項	目	27年度	26年度	増減	主な増減理由
		a	b	(a-b)	
総務管理費	諸費	132	188	△ 56	
清掃費	清掃総務費	3,687,599	3,732,781	△ 45,182	人件費の減
	ごみ処理費	2,943,784	2,904,354	39,430	家庭ごみ収集運搬経費の増
	し尿処理費	316,265	329,000	△ 12,735	客体数の減
	清掃施設費	7,795,206	7,364,661	430,545	亀田焼却施設基幹改良工事費の増
計		14,742,986	14,330,984	412,002	

2 清掃事業費等の推移

(1) 清掃事業費決算額の推移

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
諸 費	608	311	68	1,386	504
清掃総務費	4,280,822	4,079,022	3,756,457	3,665,541	3,633,940
ごみ処理費	2,689,801	2,690,258	2,782,424	2,799,416	2,892,715
し尿処理費	346,420	329,578	344,214	337,690	326,587
清掃施設費	12,275,677	12,282,734	4,691,943	4,611,308	6,900,643
水害対策費	0	3,860	0	0	0
計	19,593,328	19,385,763	11,575,106	11,415,341	13,754,389

(2) 清掃手数料決算額収入の推移 (現年分)

(単位：千円)

区 分	ごみ処理手数料			し尿処理手数料			合計		
	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率	調定額	収納額	収納率
22年度	902,950	901,694	99.9%	211,398	200,423	94.8%	1,114,348	1,102,117	98.9%
23年度	894,649	894,423	100.0%	199,310	187,134	93.9%	1,093,959	1,081,557	98.9%
24年度	925,910	921,129	99.5%	184,556	173,682	94.1%	1,110,466	1,094,811	98.6%
25年度	960,104	956,882	99.7%	178,569	169,092	94.7%	1,138,673	1,125,974	98.9%
26年度	890,416	890,037	100.0%	162,839	155,656	95.6%	1,053,255	1,045,693	99.3%

(単位：千円)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
廃棄物処分手数料 (許可・自己搬入ごみ)	1,077,980	1,086,474	1,104,339	1,110,717	1,081,940

3 原価

(1) 市民1人及び1世帯あたりのごみ処理原価の推移

①ごみ

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
部門直接原価 (円)	収 集 運 搬	2,960,507,390	2,924,975,430	2,984,157,675	2,987,378,575	3,020,711,554
	処 理	7,232,513,391	6,840,962,939	7,106,563,806	7,433,138,978	7,103,997,308
	焼 却	4,715,845,815	4,420,518,098	4,448,582,174	4,626,615,324	4,424,344,764
	中 間 処 理	1,956,125,443	1,895,609,640	1,825,306,719	1,963,517,851	1,999,936,855
	埋 立	560,542,133	524,835,201	832,674,913	843,005,803	679,715,689
	計	10,193,020,781	9,765,938,369	10,090,721,481	10,420,517,553	10,124,708,862
年度末人口(人)		803,072	802,778	801,403	803,336	801,270
年度末世帯数(世帯)		313,308	316,483	319,385	324,633	327,723
市民1人あたり (円/人)	収 集 運 搬	3,686	3,644	3,724	3,719	3,770
	処 理	9,006	8,522	8,868	9,253	8,866
	焼 却	5,872	5,507	5,551	5,759	5,522
	中 間 処 理	2,436	2,361	2,278	2,444	2,496
	埋 立	698	654	1,039	1,049	848
	計	12,692	12,166	12,592	12,972	12,636
1世帯あたり (円/世帯)	収 集 運 搬	9,449	9,242	9,343	9,202	9,217
	処 理	23,085	21,616	22,251	22,897	21,677
	焼 却	15,052	13,968	13,929	14,252	13,500
	中 間 処 理	6,244	5,990	5,715	6,048	6,103
	埋 立	1,789	1,658	2,607	2,597	2,074
	計	32,534	30,858	31,594	32,099	30,894

・平成20年6月より、新ごみ減量制度開始(10種13分別)

ただし、巻・岩室・西川・潟東地区は8種11分別、平成24年度より9種12分別

・中間処理には枝葉・草、有害物の処理を含む

②し尿

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
収 集 運 搬 (円)	346,419,890	329,578,425	344,214,212	337,690,093	326,587,310
年度末人口(人)	803,072	802,778	801,403	803,336	801,270
年度末世帯数(世帯)	313,308	316,483	319,385	324,633	327,723
1人あたり(円/人)	431	411	430	420	408
1世帯あたり(円/世帯)	1,106	1,041	1,078	1,040	997

③し尿及び浄化槽汚泥

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
処 理 (円)	1,022,700,294	968,838,382	975,986,592	939,698,807	945,854,033
年度末人口(人)	803,072	802,778	801,403	803,336	801,270
年度末世帯数(世帯)	313,308	316,483	319,385	324,633	327,723
1人あたり(円/人)	1,273	1,207	1,218	1,170	1,180
1世帯あたり(円/世帯)	3,264	3,061	3,056	2,895	2,886

・人口及び世帯数は、平成24年度までは3月末日現在の普通交付税算定用住民基本台帳人口、平成25年度以降は3月末日現在の住民基本台帳人口

(2) 重量及び体積あたりのごみ処理原価の推移

①ごみ

区 分		2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度
部門直接原価 (円)	収 集 運 搬	2,960,507,390	2,924,975,430	2,984,157,675	2,987,378,575	3,020,711,554
	処 理	7,232,513,390	6,840,962,939	7,106,563,806	7,433,138,978	7,103,997,308
	焼 却	4,715,845,815	4,420,518,098	4,448,582,174	4,626,615,324	4,424,344,764
	中 間 処 理	1,956,125,443	1,895,609,640	1,825,306,719	1,963,517,851	1,999,936,855
	埋 立	560,542,132	524,835,201	832,674,913	843,005,803	679,715,689
収集・処理量 (t)	収 集 運 搬	186,094	186,243	187,572	184,660	181,942
	搬入(収集+直接搬入)	284,590	283,927	286,355	283,840	278,723
	処 理	228,510	230,611	230,855	227,179	224,997
	中 間 処 理	55,967	54,113	55,839	55,839	53,737
	埋 立	32,130	26,174	28,274	29,213	23,790
1 tあたり (円/t)	収 集 運 搬	15,909	15,705	15,909	16,178	16,603
	搬入(収集+直接搬入)	25,414	24,094	24,817	26,188	25,488
	処 理	20,637	19,169	19,270	20,366	19,664
	中 間 処 理	34,951	35,031	32,689	35,164	37,217
	埋 立	17,446	20,052	29,450	28,857	28,571

・平成20年6月より、新ごみ減量制度開始(10種13分別)

ただし、巻・岩室・西川・潟東地区は8種11分別、平成24年度より9種12分別

・中間処理には枝葉・草、有害物の処理を含む

②し尿

区 分	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度
収 集 運 搬 (円)	346,419,890	329,578,425	344,214,212	337,690,093	326,587,310
収 集 運 搬 量 (kl)	27,790	25,099	23,439	22,906	20,651
1 kl あたり (円/kl)	12,466	13,131	14,686	14,742	15,815

③し尿及び浄化槽汚泥

区 分	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	2 6 年度
処 理 (円)	1,022,700,294	968,838,382	975,986,592	939,698,807	945,854,033
処 理 量 (kl)	128,086	121,229	117,425	109,881	105,194
1 kl あたり (円/kl)	7,984	7,992	8,312	8,552	8,992

4 手数料

(1) 処理手数料

① ごみ

区 分		全市共通	
市が収集する 家庭系廃棄物 (※1)	燃やすごみ 燃やさないごみ 普通ごみ(※2)	指定袋・大(45ℓ)	45円/枚
		指定袋・中(30ℓ)	30円/枚
		指定袋・小(20ℓ)	20円/枚
		指定袋・極小(10ℓ)	10円/枚
		指定袋・超極小(5ℓ)	5円/枚
	粗大ごみ	500円券	500円
		300円券	300円
		200円券	200円
		100円券	100円
	資源物	無料	
施設に直接 搬入する場合	家庭系	10kgまでごとに	60円
	事業系	10kgまでごとに	130円

※1: 手数料収入は市民還元事業に活用(33ページ参照) ※2: 巻広域地区に限る

② し尿

ア 一般世帯(定額制)

人頭割額 1人につき月額 370円

回数料 月1回を超える場合 1回につき 515円

イ 定額制により難しいもの又は特別な事由があるもの(従量制) 18ℓにつき 155円

(2) その他手数料

① 一般廃棄物処理業の許可等に係る申請手数料

(新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例)

ア 法第7条第1項の規定による一般廃棄物収集運搬許可申請手数料	1件につき3,000円
イ 法第7条第2項の規定による一般廃棄物収集運搬許可更新申請手数料	1件につき3,000円
ウ 法第7条第6項の規定による一般廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき3,000円
エ 法第7条第7項の規定による一般廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき3,000円
オ 法第7条の2第1項の規定による一般廃棄物処理業事業範囲変更許可申請手数料	1件につき3,000円
カ 許可証再交付申請手数料	1件につき1,000円

② 一般廃棄物処理施設設置許可申請手数料

(以下、新潟市手数料条例)

ア 法第8条第4項に規定する一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき130,000円
イ その他の一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき110,000円

③ 一般廃棄物処理施設の変更許可申請手数料

ア 法第8条第4項に規定する一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき120,000円
イ その他の一般廃棄物処理施設に係るもの	1件につき100,000円

④ 一般廃棄物処理施設の譲受け(借受け)許可申請手数料

1件につき94,000円

⑤ 一般廃棄物処理施設設置法人合併(分割)許可申請手数料

1件につき94,000円

⑥ 産業廃棄物処理業の許可等に係る申請手数料

ア 産業廃棄物収集運搬業許可申請手数料	1件につき81,000円
イ 産業廃棄物収集運搬業許可更新申請手数料	1件につき73,000円
ウ 産業廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき100,000円
エ 産業廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき94,000円
オ 産業廃棄物収集運搬業の変更許可申請手数料	1件につき71,000円
カ 産業廃棄物処分業の変更許可申請手数料	1件につき92,000円
キ 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可申請手数料	1件につき81,000円
ク 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可更新申請手数料	1件につき74,000円
ケ 特別管理産業廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき100,000円

コ 特別管理産業廃棄物処分業許可更新申請手数料	1 件につき 95,000 円
サ 特別管理産業廃棄物収集運搬業の変更許可申請手数料	1 件につき 72,000 円
シ 特別管理産業廃棄物処分業の変更許可申請手数料	1 件につき 95,000 円
⑦ 産業廃棄物処理施設設置許可申請手数料	
ア 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条第 4 項に規定する産業廃棄物処理施設に係るもの	1 件につき 140,000 円
イ その他の産業廃棄物処理施設に係るもの	1 件につき 120,000 円
⑧ 産業廃棄物処理施設の変更許可申請手数料	
ア 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条第 4 項に規定する産業廃棄物処理施設に係るもの	1 件につき 130,000 円
イ その他の産業廃棄物処理施設に係るもの	1 件につき 110,000 円
⑨ 産業廃棄物処理施設の譲受け(借受け)許可申請手数料	
	1 件につき 94,000 円
⑩ 産業廃棄物処理施設設置法人合併(分割)認可申請手数料	
	1 件につき 94,000 円
⑪ 使用済自動車再資源化業許可申請等手数料	
ア 使用済自動車引取業者登録申請手数料	1 件につき 3,000 円
イ 使用済自動車引取業者登録更新申請手数料	1 件につき 3,000 円
ウ 使用済自動車フロン類回収業者登録申請手数料	1 件につき 5,000 円
エ 使用済自動車フロン類回収業者登録更新申請手数料	1 件につき 5,000 円
オ 使用済自動車解体業許可申請手数料	1 件につき 78,000 円
カ 使用済自動車解体業許可更新申請手数料	1 件につき 70,000 円
キ 使用済自動車破砕業許可申請手数料	1 件につき 84,000 円
ク 使用済自動車破砕業許可更新申請手数料	1 件につき 77,000 円
ケ 使用済自動車破砕業の変更許可申請手数料	1 件につき 75,000 円
⑫ 熱回収施設認定申請手数料	
ア 産業廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	1 件につき 33,000 円
イ 産業廃棄物の熱回収施設認定更新申請手数料	1 件につき 20,000 円
ウ 一般廃棄物の熱回収施設認定申請手数料	1 件につき 33,000 円
エ 一般廃棄物の熱回収施設認定更新申請手数料	1 件につき 20,000 円

第4章 ごみ処理事業

1 経緯及び現況	
(1) 経緯	29
(2) 平成27年度 処理計画フロー	29
2 新ごみ減量制度	
(1) 10種13分別による高品質なリサイクルの推進	30
(2) 有料指定袋導入によるごみ減量	32
(3) 手数料収入の市民還元	33
(4) 市民・事業者・市による協働の取り組み	34
3 「新潟市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」について	
(1) 概要	35
(2) 基本理念	35
(3) 数値目標	35
(4) 基本方針	35
4 ごみ収集処理実績	
(1) 平成26年度 ごみ処理実績フロー	36
(2) 収集ごみの推移	36
(3) 直接搬入ごみの推移	37
(4) 平成26年度 焼却施設搬入量内訳	37
(5) 平成26年度 埋立処分地搬入量内訳	38
(6) 平成26年度 中間処理(破碎・選別等)施設搬入量内訳	38
(7) 平成26年度 資源化量内訳	38
5 ごみ質分析	
(1) 平成26年度 可燃物の分析	39
(2) 平成26年度 粗大ごみの受付個数	40

1 経緯及び現況

(1) 経緯

本市のごみ処理事業は、昭和39年開催の「新潟国体」を1つの契機として「きれいなまちづくり運動」を展開するとともに、それまでの収集用共同箱を廃止し、現在のようなポリ袋による定期回収（週3回）を確立した。

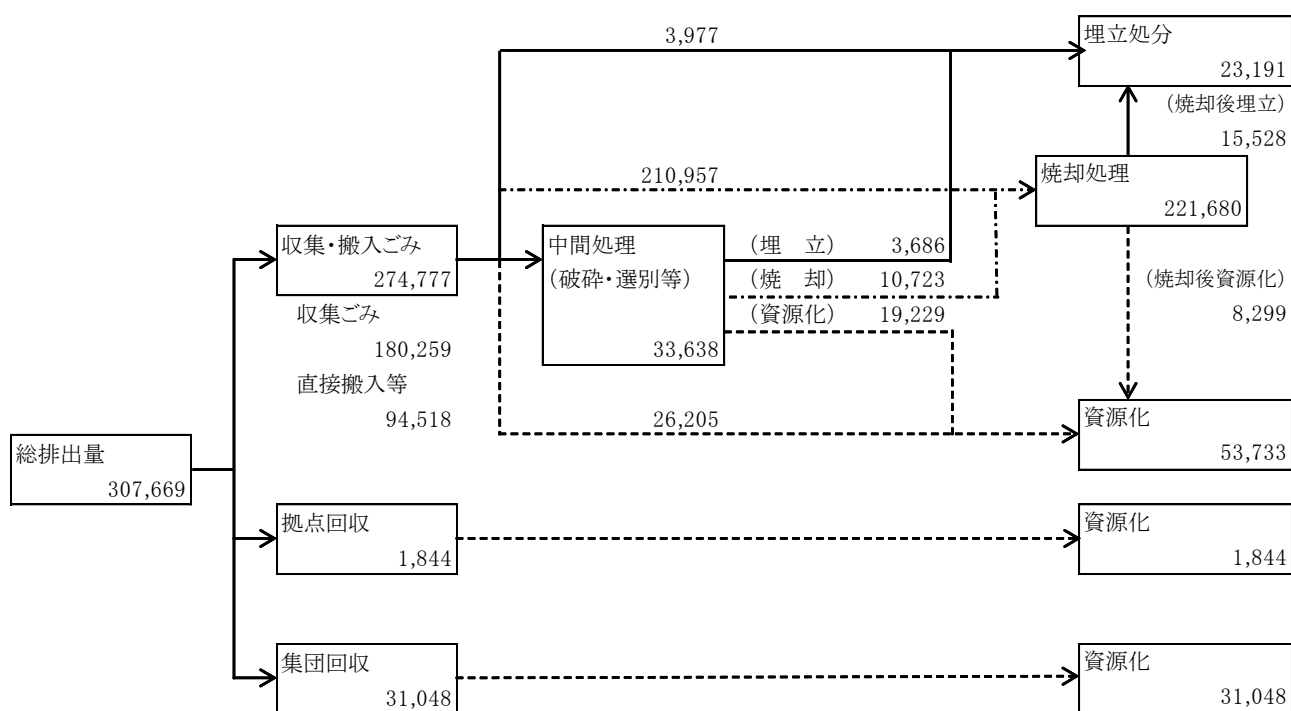
その後、プラスチック類が急増し、ごみの混合収集が焼却施設の管理面から困難となったため、昭和51年、プラスチック類を含む不燃ごみを「分別ごみ」として収集を開始した。また、廃乾電池等に起因する有害物質の影響が社会問題化したため、昭和60年度からこれらの分別収集を開始し、「普通ごみ」、「分別ごみ」、「粗大ごみ」と併せ4分別収集を行ってきた。

平成8年度には、埋立処分地の延命化、生活環境の保全と資源の有効活用の観点から、「びん・缶」と「プラスチック」を資源物として収集する6分別収集を西新潟地区で、平成9年度からは全市で開始するとともに、びん・缶の選別施設と啓発施設を併せ持つ資源再生センター（愛称：エコプラザ）と燃えないごみなどの資源化を図る新田清掃センター破碎施設を整備した。

平成12年度に黒埼町、平成16～17年度に新津市、白根市、豊栄市など近隣13市町村と合併し、ごみの収集・処理方法、手数料の金額等については、それぞれの合併前の制度を継続していたが、平成20年6月から新ごみ減量制度として、家庭系ごみについては、全市で10種13分別による分別区分の変更（巻広域は9種12分別）と有料指定袋制の導入を実施し、事業系ごみについては、10分別の指針の策定と処理手数料の全市統一を行い、市民・事業者・市が協働して、さらなるごみの減量とリサイクルの推進を図っている。


(2) 平成27年度 処理計画フロー

(単位：t)





2 新ごみ減量制度

(1) 10種13分別による高品質なりサイクルの推進

平成20年6月1日からの新ごみ減量制度では、従来より分別品目を拡充し、10種13分別を基本に、可能な限り資源化を図り、最終的に焼却・埋立処分されるごみを極力削減するとともに、分別の徹底により、高品質なりサイクルを確保することとし、分別区分や処理方法等の変更を行った。さらに、平成22年4月からは「飲食用びん」に「化粧品びん」も出せることとし、「飲食用・化粧品びん」として回収を開始した。なお、平成24年4月から巻広域においても「 プラマーク容器包装」の分別収集を開始している。

① 分別区分等

(平成27年4月1日現在)

区分		ごみの内容	収集回数	収集方法	手数料等	
全市 (北区 東区 中央区 江南区 秋葉区 南区 西区(四ツ郷屋地区を除く) 西蒲区(中之口地区に限る))	ごみ	燃やすごみ	厨芥・皮革類など	週3回	ごみ集積場方式	有料 (指定袋)
		燃やさないごみ	金属類・ガラス類など	月1回		
		粗大ごみ	家具など	申込制	戸別収集	有料 (シール)
	資源物	 プラマーク容器包装 ペットボトル 古紙類 飲食用・化粧品びん 飲食用缶 枝葉・草 特定5品目	カップ・バック類・トレイ類など	週1回	ごみ集積場方式	無料
			飲食用のペットボトル	月2回		
			新聞・雑誌・雑がみ・段ボール・紙バック			
			飲食用のびん・化粧品のびん			
			飲食用の缶			
			剪定した枝・木など	週1回		
			乾電池類・蛍光管・水銀体温計・ライター・スプレー缶類	月1回		
巻広域 ※岩室地区、巻地区、西川地区、潟東地区 (西区(四ツ郷屋地区に限る) 西蒲区(中之口地区を除く))	ごみ	普通ごみ	厨芥・皮革類・金属類・ガラス類	週3回	ごみ集積場方式	有料 (指定袋)
		粗大ごみ	家具など	申込制	戸別収集	有料 (シール)
	資源物	 プラマーク容器包装 ペットボトル 古紙類 飲食用・化粧品びん 飲食用缶 枝葉・草 特定5品目	カップ・バック類・トレイ類など	週1回	ごみ集積場方式	無料
			飲食用のペットボトル	月2回		
			新聞・雑誌・雑がみ・段ボール・紙バック			
			飲食用のびん・化粧品のびん			
			飲食用の缶			
			剪定した枝・木など	週1回		
乾電池類・蛍光管・水銀体温計・ライター・スプレー缶類	月1回					

② ごみ集積場数

(平成27年4月1日現在)

北 区	1,301ヶ所	東 区	2,324ヶ所	中 央 区	3,408ヶ所
江 南 区	796ヶ所	秋 葉 区	1,555ヶ所	南 区	1,353ヶ所
西 区	2,893ヶ所	西 蒲 区	1,195ヶ所	合 計	14,825ヶ所

③ 搬入施設

(平成27年4月1日現在)

区 分	収集主体	搬 入 先
燃やすごみ (巻広域は普通ごみ)	委託 直営	○ 新田清掃センター焼却施設 ○ 亀田清掃センター焼却施設 ○ 新津クリーンセンター焼却施設 ○ 鎧潟クリーンセンター焼却施設 ○ 豊栄郷清掃施設処理組合 豊栄環境センター焼却施設
燃やさないごみ (巻広域は除く)	委託	○ 新田清掃センター破砕施設 ○ 新津クリーンセンター粗大ごみ処理施設 ○ 白根グリーンタワー粗大ごみ処理施設 ○ 豊栄郷清掃施設処理組合 豊栄環境センター不燃物処理施設
粗大ごみ	委託	○ 新田清掃センター破砕施設 ○ 亀田清掃センター粗大ごみ処理施設 ○ 新津クリーンセンター粗大ごみ処理施設 ○ 白根グリーンタワー粗大ごみ処理施設 ○ 鎧潟クリーンセンター粗破砕設備
プラマーク容器包装	委託	○ 民間処理施設
ペットボトル	委託	○ 民間処理施設 ○ プラスチック選別施設(豊栄環境センター内)
飲食用・化粧品びん	委託	○ 民間処理施設 ○ 鎧潟クリーンセンターリサイクルプラザ
飲食用缶	委託	○ 資源再生センター ○ 新津クリーンセンター粗大ごみ処理施設 ○ 白根グリーンタワー粗大ごみ処理施設 ○ 鎧潟クリーンセンターリサイクルプラザ
特定5品目	委託	○ 新田清掃センター破砕施設(一時保管) ○ 亀田一般廃棄物処理場(一時保管) ○ 白根環境事業所(一時保管)
古紙類	委託	○ 民間処理施設
枝葉・草	委託	○ 第4赤塚埋立処分地(一時保管) ○ 亀田一般廃棄物処理場(一時保管) ○ 白根環境事務所(一時保管)

④ 自己搬入ごみの搬入先等区分

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

搬入先	対象地域	区 分
新田清掃センター	北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区(四ツ郷屋地区を除く)、西蒲区(中之口地区に限る)	燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ
亀田清掃センター	北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区(四ツ郷屋地区を除く)、西蒲区(中之口地区に限る)	燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ
新津クリーンセンター	北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区(四ツ郷屋地区を除く)、西蒲区(中之口地区に限る)	燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ
白根グリーンタワー	北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区(四ツ郷屋地区を除く)、西蒲区(中之口地区に限る)	燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ
鎧瀨クリーンセンター	西蒲区(中之口地区を除く)、西区(四ツ郷屋地区に限る)	普通ごみ、粗大ごみ
豊栄環境センター	北区(事業系ごみは、豊栄地区に限る)	燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ

(2) 有料指定袋導入によるごみ減量

従来、地域により異なっていたごみ処理手数料について統一を図り、ごみ減量とリサイクルの推進および分別の徹底の観点から、家庭系ごみは「燃やすごみ(巻広域は普通ごみ)」「燃やさないごみ」は指定袋により、「粗大ごみ」は処理券により、それぞれ有料とした。

また、事業系ごみは、事業者の自己処理責任に基づき、ごみ集積場への排出は禁止し、排出抑制・リサイクルの推進を図り、焼却場へ持ち込む場合は、重量に応じた単純従量制とした。

① ごみ処理手数料(平成 20 年 6 月 1 日から)

燃やすごみ	指定袋・大(450)	45 円/枚
	指定袋・中(300)	30 円/枚
	指定袋・小(200)	20 円/枚
	指定袋・極小(100)	10 円/枚
	指定袋・超極小(50)※	5 円/枚
燃やさないごみ	指定袋・大(450)	45 円/枚
	指定袋・中(300)	30 円/枚
	指定袋・小(200)	20 円/枚
	指定袋・極小(100)	10 円/枚
	指定袋・超極小(50)※	5 円/枚
粗大ごみ		500 円以内で品目ごとに規則で定める額
清掃工場等へ 自ら搬入する場合	家庭系	10kg までごとに 60 円
	事業系	10kg までごとに 130 円

※指定袋・超極小(50)は平成 20 年 10 月から取り扱い開始。

(3) 手数料収入の市民還元

新ごみ減量制度では、家庭系ごみ有料化の目的が「ごみ減量・リサイクルの推進」であることから、指定袋作製経費を差引いた手数料収入については、資源循環型社会促進策、地球温暖化対策及び地域コミュニティ活動の振興に資するよう市民に還元することとしている。

平成27年度 ごみ処理手数料の市民還元事業

事業名	事業概要
(1) 分別意識の向上と啓発	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンからごみの分別方法を検索できるアプリに新たな機能を追加 市民への3R意識の啓発強化としてリユース食器普及モデル事業を実施 資源とごみの情報紙（サイチョプレス）の発行、ごみ減量検定の実施 など
(2) クリーンにいがた推進員育成事業	<ul style="list-style-type: none"> クリーンにいがた推進員への研修会、施設見学会などを実施し、推進員を中心に、地域における廃棄物の適正な分別・排出、環境意識の普及啓発を図り、地域に密着した活動を推進
(3) ごみ集積場設置等補助金	<ul style="list-style-type: none"> ごみ集積場設置費用の助成：補助率3/4 上限額15万円/集積場 など カラス被害対策として自治会・町内会へ対策用ネットを譲与
(4) 地域清掃等への助成	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化活動費への助成：補助率 4/5(上限:補助基本額@250円×参加者数×4/5) 不法投棄処理費への助成：補助率10/10 特定廃家電、バッテリーなどの処理費実額を助成
(5) 不法投棄・違反ごみ対策	<ul style="list-style-type: none"> パトロール委託、監視カメラ等の設置、廃家電等不法投棄物の処理など
(6) 古紙資源化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> 集団資源回収：回収団体へ6円/kgの奨励金を交付 など 古紙行政収集：コミュニティ協議会へ3円/kgの支援金の交付
(7) 家庭系生ごみ減量化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 食品リサイクル地域活動の支援、段ボールコンポストの販売や講習会の開催 生ごみ堆肥化容器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成 乾燥生ごみ拠点回収の実施 など
(8) 古布・古着の拠点回収費	<ul style="list-style-type: none"> 拠点数：市内8ヶ所
(9) 環境教育・環境学習に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> 副読本の作成配布：ごみ減量化啓発（小学4年生用） 環境教育（小学4年生用及び中学生1年生用） 環境教育推進：実践協力校、推進校を選定し環境教育を実施 など
(10) バイオマス利活用	<ul style="list-style-type: none"> 家庭から排出される廃天ぷら油を回収・再生利用
(11) にいがた未来ポイント事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民の環境講座・イベントへの参加、省エネ取組みなどの環境配慮行動に対し、バスICカードを活用してポイントを交付することにより、市民のライフスタイルの低炭素化を推進
(12) 防犯灯設置補助金	<ul style="list-style-type: none"> LED灯などの環境配慮型防犯灯の導入促進のため、防犯灯設置補助率の上乗せ分を支援：環境配慮型補助率2/3（その他の補助率1/2）
(13) ごみ出し支援	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等で取り組む、ごみ出しが困難な高齢者や障害者などの世帯に対する支援活動費について助成
(14) 地域活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動補助金 地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などを支援 ※コミ協については重点事業枠を新設 事業性質別補助率：重点事業（A型）10/10 地域活性化（B型）3/4 地域交流（C型）1/2 限度額20万円/事業

(4) 市民・事業者・市による協働の取り組み

平成 20 年 6 月 1 日からの新ごみ減量制度の開始にあわせて、市民、事業者、市の協働による三者一体となった取り組みを推進している。

① クリーンにいがた推進員制度

平成 20 年 2 月から、3 R（発生抑制・再使用・再生利用）・適正な分別排出・環境美化の促進及び普及啓発について、地域のリーダーとしての役割を担うことを目的として活動を行っている。

ア 活動内容

- 地域住民に対するごみの分別、排出及び再生利用の促進に関する指導・助言
- 地域における美化活動の促進と環境意識の普及啓発
- 一般廃棄物の減量の推進及び生活環境の保全に関し、市と地域住民との連絡及び調整
- 市の環境事業に関する調査、情報収集等の協力

イ クリーンにいがた推進員数 5,622 人(平成 27 年 7 月末現在)

② 事業所におけるごみ減量・リサイクルの推進

事業所における事業系ごみの適正な処理や、ごみの減量やリサイクルの向上を自発的に推進する事を目的として、10 分別の指針等からなる「事業系ごみ・リサイクルガイドライン」を策定した。また、平成 20 年 6 月 1 日から事業系ごみの処理手数料について全市統一を行い、あわせて従来 2 焼却場で行われていた事業系古紙類の搬入規制について、市の全焼却施設に拡大して実施している。

ア 3 R 優良事業者認定制度

平成 25 年 6 月から事業所から出されるごみについて積極的に減量化・資源化に取り組む事業者を「3 R 優良事業者」として認定し、その活動を広く周知することにより、さらなる事業者のごみ減量・資源化意識の向上を図ることとしている。

イ 新事業系ごみ・リサイクルガイドライン

平成 25 年度に「事業系ごみ・リサイクルガイドライン」を改訂し、平成 26 年度から市ごみ処理施設に搬入できる事業系一般廃棄物の基準を明確化するとともに、資源等の搬入規制を強化した。新ガイドラインは、平成 26 年度を普及・周知期間とし、平成 27 年度から本格施行している。

3 「新潟市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」について

(1) 概要

本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づき、本市におけるごみ処理の現状や課題をふまえ学識経験者や市民代表からなる清掃審議会における議論を経て策定されるもので、長期的・総合的視点に立った計画的なごみ処理の基本方針となるものである。その内容は、ごみの発生から最終処分に至るまでの適切な処理を進めるために必要な基本的事項を定めるもので、現計画は平成19年6月に策定された前計画を平成24年2月に全面改定し、平成24年度から平成31年度まで8年間を計画期間としている。

(2) 基本理念

循環型社会と低炭素社会・自然共生社会を統合的に構築し、本市が、持続的に発展するため市民・事業者・市が一体となって「環境先進都市」の実現に向けた取り組みを加速させていくこととする。

(3) 数値目標

区分	平成22年度（実績）	平成28年度（中間目標）	平成31年度（最終目標）
①家庭系ごみ量（1人1日あたり）	494g	484g（Δ10g）	474g（Δ20g）
②事業系ごみ排出量	84,393t	79,300t（Δ5,093t）	74,500t（Δ9,893t）
③リサイクル率	27.0%	29.8%（+2.8%）	30.9%（+3.9%）
④最終処分量	32,092t	22,500t（Δ30%）	21,800t（Δ32%）
（参考指標）廃棄物分野のCO2排出量	81,957t-CO2/年	75,800t-CO2/年（Δ8%）	73,100t-CO2/年（Δ11%）

(4) 基本方針

基本方針1：家庭系ごみを減らす3R運動の推進と三者協働

さらなる分別の徹底に努め、資源となるごみについては可能な限り資源化を図る。また、三者協働の理念に基づき市民一人ひとりのごみ減量意識を高め、3Rの優先順位に即した取り組みを推進する。

基本方針2：事業系ごみの排出抑制と資源化の推進

市の事業系ごみに関する制度の周知徹底を図り、ごみの減量と資源化可能なものとの分別を推進する。また、資源物の搬入規制の強化など積極的な指導に取り組む。

基本方針3：違反ごみ対策ときれいなまちづくりの推進

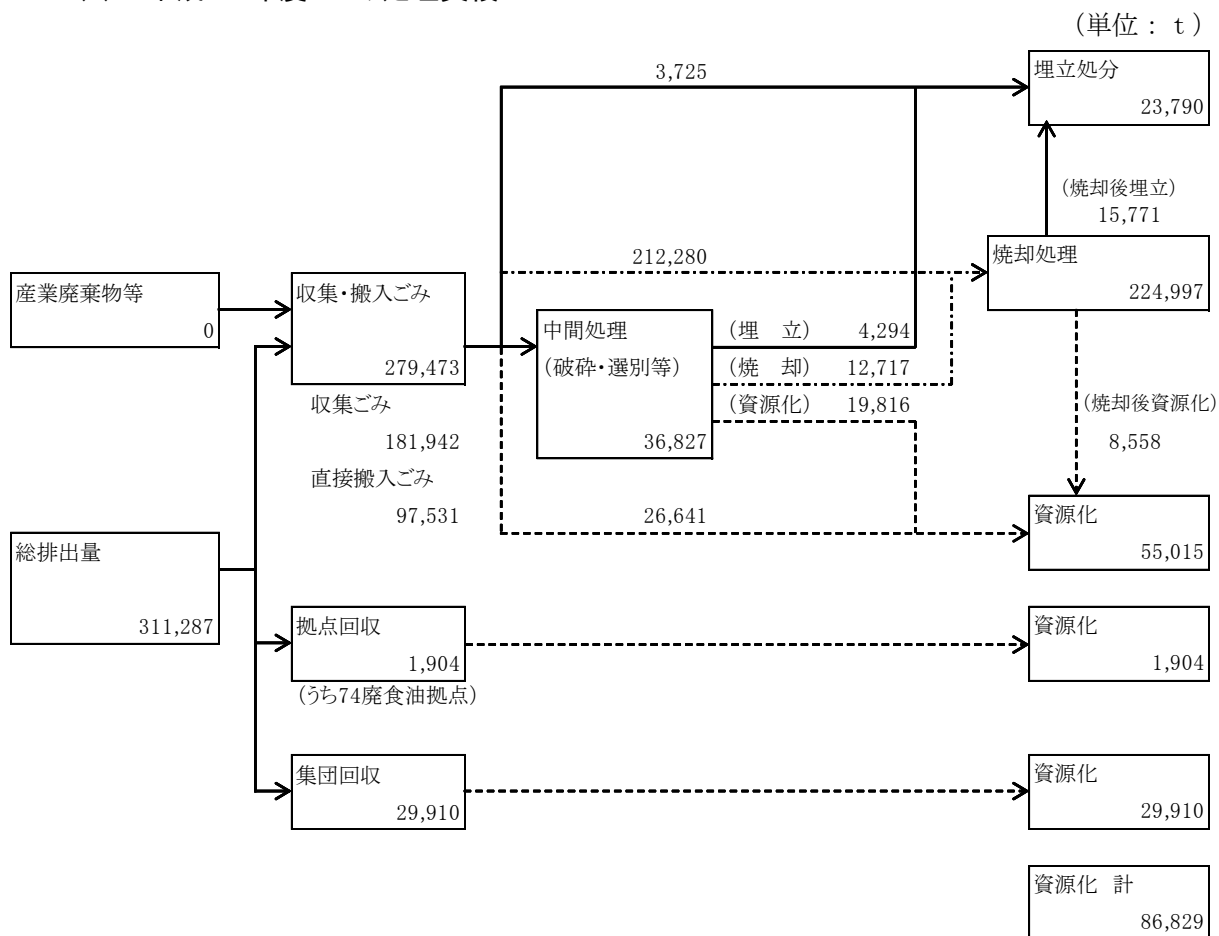
地域住民の良好な生活環境を保持し、安心・安全なごみ出し環境を維持するため、ごみ集積場における違反ごみや、ごみ・資源物の持ち去り行為などへの対策を強化する。併せて、一斉清掃等の地域の取り組みを支援・促進するとともに、ぽい捨て等及び路上喫煙の防止に関する条例のさらなる周知及び啓発を図る。

基本方針4：収集・処理体制の整備

市民・事業者のごみ減量化の努力と少子高齢社会の進展に伴い今後ごみ量が減少していく中で、安定的かつ効率的なごみの収集・処理体制を構築するとともに、廃棄物処理施設のあり方の検討を進める。また、大規模な災害が発生した場合においても十分に対応できるよう、真に実効性のある体制を整備する。

4 ごみ収集処理実績

(1) 平成26年度 ごみ処理実績フロー



(2) 収集ごみの推移

(単位：t)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度		26年度 収集台数 延稼働数(台)
						直営	委託	
燃やすごみ ※1	133,399	133,511	133,953	131,447	130,589	6,067	124,522	75,919
燃やさないごみ	3,510	3,856	4,211	4,009	3,731		3,731	3,711
粗大ごみ	3,267	3,265	3,463	3,530	3,123		3,123	7,090
プラマーク容器包装 ※2	9,667	9,413	9,126	8,960	8,707		8,707	13,327
ペットボトル	1,295	1,248	1,273	1,240	1,197		1,197	5,490
飲食用・化粧品びん ※3	6,816	6,835	6,891	6,884	6,737		6,737	6,701
飲食用缶	2,268	2,425	2,521	2,393	2,301		2,301	6,492
古紙類	10,117	10,119	10,158	10,074	8,882		8,882	
枝葉・草	15,263	15,090	15,500	15,674	16,245		16,245	10,004
特定5品目 ※4	492	481	476	449	430		430	2,688
計	186,094	186,243	187,572	184,660	181,942	6,067	175,875	131,422
指数 (19年度=100)	83	83	83	82	81			

※1 巻広域の「普通ごみ」を含む
 ※2 平成24年度まではプラスチック製容器包装
 ※3 化粧品びんの分別収集は平成22年度から開始
 ※4 平成24年度までは有害・危険物

(3) 直接搬入ごみの推移

(単位：t)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度 搬入台数 (台)
許可ごみ	80,018	80,535	81,109	82,277	80,623	50,958
可燃ごみ	71,514	73,010	74,268	75,706	74,970	43,289
不燃ごみ	8,214	7,328	6,566	6,282	5,410	7,669
資源	290	197	275	289	243	
家庭系直接搬入	8,107	7,544	8,733	9,733	10,196	
可燃ごみ	2,859	2,975	3,423	3,686	3,804	
不燃ごみ	4,867	4,251	4,961	5,668	5,967	
資源	381	318	349	379	425	
事業系直接搬入	10,333	9,583	8,938	7,170	6,712	
可燃ごみ	5,925	5,631	4,301	3,283	2,917	
不燃ごみ	3,827	3,450	4,116	3,391	3,288	
資源	581	502	521	496	507	
合 計	98,458	97,662	98,780	99,180	97,531	
可燃ごみ	80,298	81,616	81,992	82,675	81,691	
不燃ごみ	16,908	15,029	15,643	15,341	14,665	
資源	1,252	1,017	1,145	1,164	1,175	

(4) 平成26年度 焼却施設搬入量内訳

(単位：t)

区 分	処理計	焼却施設				
		新田清掃 センター	亀田清掃 センター	新津 クリーン センター	鎧潟 クリーン センター	豊栄環境 センター
収集	130,589	43,054	58,346	9,918	11,546	7,725
直接搬入	81,691	41,131	24,686	4,151	6,865	4,858
残渣等	12,717	5,338	4,827	1,315	1,072	165
計	224,997	89,523	87,859	15,384	19,483	12,748
産業廃棄物	0	0	0	0	0	0
他都市災害ごみ	0	0	0	0	0	0
合計	224,997	89,523	87,859	15,384	19,483	12,748

※白根グリーンタワーに搬入された直接搬入ごみは、新田清掃センターの直接搬入に含めている。

(5) 平成 26 年度 埋立処分地搬入量内訳

(単位：t)

区 分	処分計					
		赤塚 埋立地	太夫浜 埋立地	亀田第3 埋立	福井 埋立地	江楓園
収集	0	0	0	0	0	0
直接搬入	3,725	2,069	1,412	0	0	244
残渣等	20,065	6,649	9,349	960	1,035	2,072
計	23,790	8,718	10,761	960	1,035	2,316
産業廃棄物	0	0	0		0	0
他都市災害ごみ	0	0	0		0	0
合計	23,790	8,718	10,761	960	1,035	2,316

(6) 平成 26 年度 中間処理（破碎・選別等）施設搬入量内訳

(単位：t)

区 分	処理計									
		亀田清掃 センター (粗大)	新津ク リーンセ ンター (粗大)	白根グ リーンタ ワー (粗大)	豊栄環境 センター (粗大)	資源再生 センター (選別)	新田清掃 センター (破碎)	鎧淵ク リーンセ ンター (選別)	亀田一般 廃棄物処 理場 (選別)	その他
収 集	25,887	2,810	629	606	198	1,788	3,006	874	95	15,881
直 接 搬 入	10,940	2,233	1,341	417	362	0	5,590	0	0	997
他中間処理施設 ※1	0	60	△ 20	△ 107	1	4	102	4	5	△ 49
計	36,827	5,103	1,950	916	561	1,792	8,698	878	100	16,829
焼 却 残 渣	12,717	3,897	1,315	283	162	67	4,994	41	17	1,941
埋 立 残 渣	4,294	279	292	300	188	293	2,315	0	0	627
資 源 化	19,816	927	343	333	211	1,432	1,389	837	83	14,261

※1 マイナスの数値は、中間処理残渣を再中間処理した量を表す(中間処理量の二重計上をしないため)

(7) 平成 26 年度 資源化量内訳

(単位：t)

区 分	資源化計								
		プラス チック類	ペッ ト ボ トル	ガラ ス類 (びん等)	金属類 (缶等)	古紙類	枝葉・草	有害物	その他
焼却処理後資源化	8,558				655				7,903
中間処理後資源化	19,816	7,731	978	6,286	4,324				497
直接資源化	58,455		837	8	49	39,537	16,617	293	1,114
合計	86,829	7,731	1,815	6,294	5,028	39,537	16,617	293	9,514

5 ごみ質分析

(1) 平成26年度 可燃物の分析

試料採取場所		新田清掃センター	亀田清掃センター	新津クリーンセンター
ごみの種類組成	紙 (%)	47.9	41.3	49.9
	プラスチック (%)	11.9	20.7	19.2
	繊維(布類) (%)	9.4	16.2	(紙に含む)
	木・竹・わら類 (%)	5.3	8.9	9.7
	ちゅう芥類 (%)	17.7	7.1	16.0
	不燃物 (%)	2.6	3.0	1.2
	雑物 (%)	5.2	2.8	4.0
嵩比重 (t/m ³)	0.27	0.16	0.27	
3成分	水分 (%)	57.4	45.5	57.3
	灰分 (%)	5.2	6.3	4.5
	可燃分 (%)	37.4	48.2	38.2
低位発熱量(実測値) (kcal/kg)	1,276	2,364	1,377	
調査回数 (回)	12	12	6	

試料採取場所		鎧漕クリーンセンター	豊栄環境センター
ごみの種類組成	紙 (%)	42.0	52.5
	プラスチック (%)	8.9	23.5
	繊維(布類) (%)	(紙に含む)	(紙に含む)
	木・竹・わら類 (%)	15.2	12.3
	ちゅう芥類 (%)	18.7	8.6
	不燃物 (%)	7.7	2.1
	雑物 (%)	7.5	1.0
嵩比重 (t/m ³)	0.14	0.13	
3成分	水分 (%)	52.5	42.1
	灰分 (%)	11.0	6.0
	可燃分 (%)	36.6	52.0
低位発熱量(実測値) (kcal/kg)	1,330	2,088	
調査回数 (回)	4	4	

(2) 平成 26 年度 粗大ごみの受付個数

	品 目	24年度	25年度	26年度
家電類	オーディオ機器	2,132	2,036	1,565
	こたつ	4,314	4,352	4,072
	照明器具	2,056	2,476	1,958
	炊飯器	384	362	285
	扇風機	3,618	3,061	2,368
	掃除機	2,947	2,721	2,015
	電子レンジ	5,406	5,679	4,639
	その他家電	5,815	5,945	4,871
	小計	26,672	26,632	21,773
家具類	カーペット類	14,165	14,955	13,512
	カーテン・ブラインド等	3,185	3,356	3,203
	机・椅子	40,305	41,658	38,307
	たんす	7,356	7,600	6,786
	棚	5,379	5,600	5,241
	その他収納家具	25,813	27,159	25,287
	その他	21,098	21,024	19,314
	小計	117,301	121,352	111,650
寝具	スプリングマットレス	4,035	4,201	3,995
	ベッド類	5,588	5,838	5,439
	マットレス	5,405	6,008	5,747
	布団・毛布等	44,614	45,970	42,035
	座布団	1,794	1,973	1,743
	小計	61,436	63,990	58,959
スポーツ用品	自転車(電動含む)	17,691	16,054	12,298
	ゴルフ用具	1,758	1,751	1,568
	スキー用具	2,605	2,362	2,365
	その他	2,322	2,167	2,040
	小計	24,376	22,334	18,271
アウトドア用品		1,599	1,597	1,539
健康用具	マッサージ機等	1,995	2,070	1,746
ガス・石油器具	ガスコンロ・ストーブ等	18,442	17,913	13,556
子ども用品		5,134	5,039	4,673
ペット用品		1,661	1,693	1,574
園芸用品		1,343	1,262	1,438
楽器		949	912	832
その他		39,791	39,033	35,969
合 計		300,699	303,827	271,980

第5章 減量化・資源化・環境美化

1 減量化・資源化事業	
(1) 集団資源回収事業	41
(2) 資源物の拠点回収事業	41
(3) 家庭系生ごみのリサイクル	42
(4) 廃天ぷら油の拠点回収事業	42
(5) 学校給食残渣等再生処理事業	42
(6) 事業系ごみ減量化対策事業	43
2 啓発事業	
(1) 広報活動	43
(2) 副読本の作成及び出前講座等の実施	43
(3) 清掃ポスターの募集	44
(4) 環境フェアの開催	44
(5) ごみの出し方よろず相談所「ナジラテ屋」のイベント出展事業	44
(6) 環境美化奉仕活動表彰	44
3 リサイクルプラザ事業	
(1) 資源再生センター（エコプラザ）事業	44
(2) 新田清掃センター啓発事業	46
(3) 鎧淵クリーンセンター啓発事業	47
4 環境美化運動	
(1) きれいなまちづくり運動	48
(2) 海岸一斉清掃	48
(3) 各区における一斉清掃等	49
(4) 海水浴場臨時ごみ集積所の設置	49
(5) 環境美化整備等補助	49
5 余熱利用	
(1) ふれあい健康センター（アクアパークにいがた）	50
(2) 亀田清掃センター附属休憩所（田舟の里）	50
(3) 舞平清掃センター附属休憩所	50
(4) その他	51
6 施設見学	
(1) 新田清掃センター	51
(2) 亀田清掃センター	51
(3) 鎧淵クリーンセンター	51
(4) 新津クリーンセンター	51
(5) 舞平清掃センター	51
(6) 資源再生センター	51

1 減量化・資源化事業

(1) 集団資源回収事業

本市では、昭和53年4月から市民運動として自治会・婦人会等を対象にした集団資源回収運動を提唱し地域のリサイクル活動を推進してきたが、さらなる活動の拡大を図るため、平成5年6月に奨励金制度を創設し、回収量1kgあたり3円の奨励金交付を開始した。その後、平成7年4月からは4円、平成9年からは5円に奨励金を引き上げ、平成13年4月には、古紙を重点的に回収するため、6円に引き上げるとともに、びん・缶の奨励金交付を廃止した。また、回収に必要な用具の貸し出しや倉庫への補助等も実施している。

① 登録団体数

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
累計団体数	1,694	1,735	1,768	1,796	1,822

② 回収実績

(単位：t)

区 分		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
古紙類	新聞	17,566	17,073	17,598	17,357	16,882
	雑誌	7,313	7,522	7,732	7,694	7,528
	段ボール	5,251	5,273	5,372	5,319	5,338
	牛乳パック	3	4	6	3	4
	古繊維	29	27	7	51	101
	小計	30,162	29,899	30,715	30,424	29,853
その他	空きびん	12	12	11	12	8
	空き缶	43	41	42	44	49
	小計	55	53	53	56	57
奨 励 金 額		180,972千円	179,395千円	184,290千円	182,539千円	179,121千円

(2) 資源物の拠点回収事業

資源物の行政収集や集団回収を補完し、幅広くリサイクルの受け皿を確保するため、以下のとおり資源物の拠点回収を実施している。

① 古紙類

平成12年8月からエコプラザで古紙の拠点回収を開始し、平成26年度末現在、17ヶ所の公共施設等で拠点回収を実施している。

② ペットボトル

平成9年6月から公共施設等で拠点回収を開始し、平成26年度末現在、250ヶ所で実施している。

③ トレイ・透明パック

豊栄地区の区役所等25ヶ所で拠点回収を実施している。

④ 乾電池

平成20年6月からスーパーマーケット等で拠点回収を開始し、平成26年度末現在、119ヶ所で実施している。

⑤ 古布・古着

平成22年4月にモデル事業として、市内3ヶ所で拠点回収を開始し、平成26年度末現在、8ヶ所で実施している。

⑥ 使用済小型家電

平成 24 年 6 月にモデル事業として、市内 12 ヶ所で拠点回収を開始し、平成 27 年 6 月現在の拠点数は 52 ヶ所となっている。回収された小型家電は、民間リサイクル業者及び障がい者作業施設で選別・分解され、資源として有効活用されている。

拠点回収量の推移及び平成26年度末拠点数

(単位:t)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	拠点数	
全 市	古紙類	955	859	847	902	845	17ヶ所
	ペットボトル	785	776	797	737	733	250ヶ所
	トレイ・透明パック	9	8	5	3	3	25ヶ所
	乾電池	55	58	59	57	55	119ヶ所
	古布・古着	140	147	135	136	172	8ヶ所
	使用済小型家電			7	19	17	43ヶ所
	計	1,944	1,848	1,850	1,854	1,825	462ヶ所

(3) 家庭系生ごみのリサイクル(処理容器・電動処理機購入費補助)

可燃ごみで大きな比重を占める生ごみの堆肥化を推進するため、平成 3 年度に市民 50 人を対象としたコンポスト利用のモニターを行い、平成 4 年度から減額販売を開始した。平成 8 年度にはEMボカシ容器の減額販売、平成 15 年度には電動生ごみ処理機の補助制度をそれぞれ開始し、平成 17 年の合併にあわせて制度を統一した。

また、平成 25 年度からEMボカシ容器・コンポスト容器を補助制度へ移行した。

(単位:基)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	※累計
コンポスト容器	441	206	249	118	101	22,259
EMボカシ容器	492	290	322	76	79	19,077
電動生ごみ処理機	78	68	45	66	52	4,644

※制度開始時からの累計数を記載

(4) 廃天ぷら油の拠点回収事業

平成 19 年 6 月より、家庭から排出される廃天ぷら油の拠点回収を実施しており、回収した廃天ぷら油はバイオディーゼル燃料に精製し、公用車や温水ボイラーの燃料として使用している。

(単位:kl)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
家庭からの 廃天ぷら油回収量	37	35	35	37	36

(5) 学校給食残渣等再生処理事業

食品廃棄物の減量のため、市内の直営給食実施校及び給食センターから排出される学校給食残渣を資源として再利用している。収集された学校給食残渣は養豚業者により飼料原料として活用するほか、舞平清掃センターと民間施設に搬入され、堆肥へと製品化される。舞平清掃センターの堆肥は市民に配布され、民間施設の堆肥は直接取引や地元

農協を通じて農家へ販売されている。

また、学校給食残渣を収集、堆肥化・飼料化している学校以外に、自校で資源化している学校もあり、平成26年度末現在、給食実施校155校全ての学校が学校給食の資源化に取り組んでいる。

学校給食残渣の資源化の状況(平成26年度)

(単位：校・園)

	幼稚園	小学校	中学校	養護学校	合計
給食実施校	11	113	29	2	155
収集堆肥化	11	105	25	2	143
自校で資源化 (養豚の飼料含)	-	8	4	-	12
ごみとして処分	-	-	-	-	-

学校給食残渣の搬入量

(単位：t)

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
堆肥化	舞平清掃センター	209	155	224	209	230
	民間施設	284	294	227	225	228
飼料化	民間施設	-	-	62	61	48
合計		493	449	513	495	506

(6) 事業系ごみ減量化対策事業

平成17年10月から実施している古紙類等の搬入規制に関しては、搬入物検査を週2回に強化し実施してきた。

事業系ごみのさらなる減量・リサイクルの推進、及び適正処理の徹底を図るため、平成26年3月に「事業系廃棄物処理ガイドライン」を作成し、関係団体、事業者への訪問等により普及・啓発に努めた。

2 啓発事業

(1) 広報活動

ごみの減量化・資源化、分別の徹底、ごみ出しマナーの向上、不法投棄の防止等について、広報紙「サイチョプレス」、リーフレット、チラシ、家庭ごみ収集カレンダー等の配布によるPRを実施している。また、転入者に「ごみ分別百科事典(日本語版)」、「家庭ごみの分け方・出し方(日本語版・外国語版)」を渡している。

(2) 副読本の作成及び出前講座等の実施

未就学児や小学校低学年へのごみ減量・リサイクル意識の啓発を目的として、DVD教材「これってごみなの？」の視聴やごみ分別に関するクイズを行う出前授業を実施した。

社会科で廃棄物処理について学習する小学校4年生に、ごみの減量化やリサイクルについて理解を深めてもらうため、副読本「ごみってなあに？」を作成し配付した。

また、希望する学校に清掃事務所職員が収集車と出向き、収集車の構造や操作方法の説明、疑似ごみ投入体験などを行う出前講座「ごみ収集車体験」を実施した。

○未就学児及び小学校低学年向け出前授業実施数：51 施設 3,190 人（平成 26 年度実績）

○市内小学校：116 校に配布、合計 7,620 部配布（平成 26 年度実績）

○出前講座実施数：市内小学校 37 校 2,141 人（平成 26 年度実績）

(3) 清掃ポスターの募集

昭和 47 年度から、ごみマナー向上を呼びかける清掃ポスターを市内の小中学生から募集し、その中から選ばれた金賞作品を印刷して、自治会・町内会、小学校等で掲示している。

○応募校：10 校 応募総数：550 点（平成 26 年度実績）

(4) 環境フェアの開催

新潟市で開催される環境フェアにおいて、「ばい捨て・路上喫煙防止条例」の周知活動や、ごみ分別に関するゲームなどを実施し、環境問題に対する市民の意識高揚を図った。また、リサイクルに関する周知啓発を行った。

○平成 26 年度開催内容

○開催日時：10 月 5 日 午前 10 時～午後 4 時

○フェア来場者数：17,208 人

(5) ごみの出し方よろず相談所「ナジラテ屋」のイベント出展事業

平成 25 年度より啓発事業の一環として、東区山の下市場フリーマーケットなどにおいて、実際のごみや資源物をパネルに貼って展示し、市民に分別のわかりにくい「プラマーク容器包装」「特定 5 品目」「燃やさないごみ」の説明や不明な点などの相談を清掃事務所職員が実施した。平成 26 年度からは各区のイベントなどに参加して実施した。

○平成 26 年度開催回数 5 回

（主な出展先：にいがた西っ子ふゆまつり、北区環境まつりなど）

(6) 環境美化奉仕活動表彰

平成 4 年度から、地域の環境美化活動を積極的に行い、きれいなまちづくりの促進に努めている個人・団体を表彰し、その功績をたたえている。

○平成 26 年度表彰 個人：6 名 団体：4 団体

3 リサイクルプラザ事業

(1) 資源再生センター（エコプラザ）事業

資源再生センターは、ごみの減量やリサイクルについて学習したり、体験したりする事ができる啓発施設と「飲食用缶」の選別施設が一体となった施設である。なお、「エコプラザ」とは、一般公募により名付けられた愛称である。

① リサイクル提供事業

家庭で不要になった家具などを市民から無償で提供してもらい、清掃と簡単な補修を行ったのち、展示し抽選により提供している。なお、当選者には財団法人新潟市開発公社への寄付をお願いしている。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
展示回数(回)	12	12	12	12	12
展示点数(点)	1,343	1,376	1,403	1,410	1,260
申込者数(人)	9,789	10,242	10,793	10,762	11,396
募金額(円)	560,955	553,836	617,379	606,680	625,602

② リサイクル情報登録バンク

有償・無償を問わず「譲りたい」あるいは「譲ってもらいたい」物がある市民の情報を登録し、交換の仲立ちをしている。

(単位：件)

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
ゆずります	126	51	47	74	73
ゆずってください	149	95	62	51	92
成立数	31	19	17	13	18

③ 環境啓発講座・講習会の開催

ア 夏休み体験教室

夏休みの子どもたちを対象に、ペットボトル・牛乳パック等を使ったリサイクル工作を体験。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
回数(回)	6	9	11	12	14
参加者(人)	35	144	193	174	235

イ 環境啓発講座・講習会

おもちゃ病院・包丁とぎ、エコクッキング・EMボカシ容器やコンポスト容器で堆肥作りなど。開催数 132回 参加者 1,385人(平成26年度実績)

④ 環境フェスティバル

ごみの減量やリサイクルの普及・啓発を行うため、10月のごみ減量・リサイクル推進月間にあわせ開催している。

開催日		平成26年10月19日(日)
来館者数		2,648人
催し物	リサイクルマーケット	一般36店が参加
	2F 大研修室等	環境講座、木工工作教室、ペーパークラフト教室、おもちゃ病院、リサイクル工作教室
	展示コーナー	展示提供、エコプラザスタッフによる手作り作品展、パッチワーク展示、子どもエコ絵画展
	1F エコホール	オープンカフェ、災害食体験講座、貝殻でジュエリー皿作り、牛乳パックでポチ袋ケース作り・牛乳パックのしおり作り
	PRコーナー	ご当地ゆるキャラ握手会&撮影会、環境クイズラリー

⑤ 施設貸出

ごみの減量やリサイクル、環境問題に関係した活動に対し、施設を無料で貸出している。

室名	定員(人)	用途	利用者数(人)				
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
大研修室	100	講演会・催物会場等	90	852	932	956	1,471
研修室	10	少人数の打合せ等		7	67	29	
実習室	30	リサイクル体験学習等	3				
講座室1	20	講習会・リサイクル体験学習等	2				
講座室2	20		160	165	217	345	228

⑥ 図書・ビデオ・DVDの貸出

ごみ・環境問題についての図書・ビデオ・DVDの閲覧・貸出を行っている。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
図書貸出(冊)	51	70	42	69	86
ビデオ貸出(本)	2	12	5	6	
DVD貸出(本)			2	9	7

⑦ 施設見学案内

選別施設内の見学者通路からの施設案内に加え、ごみの減量やリサイクルについて啓発を行っている。

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者
	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)
団体見学	94	3,701	87	3,224	84	3,399	59	2,678	62	2,537
一般見学		15,935		15,817		17,260		16,569		18,977
計	94	19,636	87	19,041	84	20,659		19,247		21,514

(2) 新田清掃センター啓発事業

新田清掃センターの破砕施設には、再生工房と展示ホールが併設され、リサイクル提供事業及び図書・ビデオの貸出を行っている。

① リサイクル提供事業

資源再生センターで回収されたリサイクル可能な家具などについて、再生工房で清掃と簡単な補修を行い、ホールに展示後、抽選により無償で提供している。なお、当選者には資源再生センターと同様に寄付をお願いしている。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
展示回数(回)	8	1	4	3	0
展示点数(点)	560	70	280	195	0
申込者数(人)	2,210	207	932	573	0
募金額(円)	208,945	28,201	88,038	58,917	0

※旧焼却施設解体工事のため平成26年度は未実施

② 図書・ビデオの閲覧等

ごみ、リサイクル、環境問題に関する図書とビデオを備え、閲覧と貸出を行っている。

○ 蔵書数 624 冊、ビデオ数 16 本、DVD8 本(平成 27 年 3 月末現在)

③ 施設見学案内

小学校 4 年生の社会科授業の一環としての見学など、隣接の焼却施設とあわせて多くの市民が訪れ、その機会にリサイクル等についての啓発も行っている。

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者
	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)
団体見学	54	2,537	41	2,183	95	2,953	70	2,814	62	2,503
一般見学	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
計	54	2,543	41	2,183	95	2,953	70	2,814	62	2,503

(3) 鎧漕クリーンセンター啓発事業

鎧漕クリーンセンターには、展示ホール及びワークショップコーナーが併設され、リサイクル提供事業等を行っている。

① リサイクル品提供事業

資源再生センターで回収されたリサイクル可能な家具などについて、清掃と簡単な補修を行い、展示ホールに展示後、抽選により無償で提供している。なお、当選者には資源再生センターと同様に寄付をお願いしている。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
展示回数(回)	7	7	5	4	1
展示点数(点)	150	206	180	165	36
申込者数(人)	958	803	379	280	38
募金額(円)	77,100	80,500	45,800	39,000	6,800

② 施設見学案内

小学校 4 年生の社会科授業の一環としての見学など多くの市民が訪れ、その機会にリサイクル等についての啓発を行っている。

区分	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者	団体数	見学者
	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)	(団体)	(人)
団体見学	26	672	25	664	24	611	22	774	25	705
一般見学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	26	672	25	664	24	611	22	774	25	705

4 環境美化運動

(1) きれいなまちづくり運動

「自分たちの住むまちは自分たちの手できれいに」という趣旨のもとに各区役所で「捨てない、汚さない」を運動の基調として、ごみ袋の配布などによるPRや、海岸、道路、公園などでのクリーン作戦を展開している。運動を推進するため、用具の貸出等の支援を行っている。平成26年度については、次のとおり事業を行った。

① きれいなまちづくり運動(平成26年度実績)

活動内容	期日	参加者(人)	備考
新潟まつり花火大会会場におけるごみマナーPR	8月11日	44	ごみ袋 550枚
新潟まつり花火大会 早朝のごみ拾い	8月10日、 8月12日	207	
道路清掃・ばい捨てやめよう キャンペーン	9月27日	526	パレード及び清掃 ごみ収集量150kg

② ボランティア清掃(各区の一斉清掃含む：平成26年度実績)

	ボランティア清掃	一斉清掃	合計
北 区	12,187 人	1,660 人	13,847 人
東 区	17,145 人	6,752 人	23,897 人
中央区	16,820 人	2,810 人	19,630 人
江南区	4,121 人	9,834 人	13,955 人
秋葉区	4,217 人	9,092 人	13,309 人
南 区	9,296 人	3,763 人	13,059 人
西 区	23,009 人	7,695 人	30,704 人
西蒲区	3,302 人	15,026 人	18,328 人
計	90,097 人	56,632 人	146,729 人

(2) 海岸一斉清掃

海水浴シーズンに合わせて、快適な海水浴を楽しんでいただくため、昭和52年から地元自治・町内会などの関係団体の協力を得ながら、海岸一斉清掃を実施している。

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
期 日	7月19日	7月18日	7月16日	7月15日	7月21日
参加者(人)	4,800	4,600	4,800	4,000	4,900
ごみ収集量(t)	18	17	24	18	18

(3) 各区における一斉清掃等(平成26年度実績)

区	事業名	実績	
		実施日	ごみ収集量
北区	福島潟クリーン作戦	4月12日	4.0 t
東区	クリーン大作戦	8月31日他	11.5 t
中央区	鳥屋野潟一斉清掃	(春)5月6日	0.73 t
		(秋)10月19日	0.96 t
	関屋浜海岸清掃	9月6日	0.48 t
江南区	みんな集まれクリーン作戦	10月19日	2.4 t
	一斉空き缶回収(横越地区)	4月13日	2.1 t
	一斉クリーン作戦(亀田地区)	5月11日	1.8 t
秋葉区	一斉クリーン作戦(新津地区)	4月20日	9.5 t
南区	信濃川・中ノロ川クリーン作戦	7月13日	1.5 t
	一斉クリーン作戦(味方地区)	(春)4月6日 (秋)10月19日	(春)2.3 t (秋)1.0 t
西区	一斉クリーンデー	8月3日	不明
西蒲区	クリーン作戦(巻地区)	8月3日	3.4 t
	一斉クリーン作戦(西川地区)	(春)4月6日 (秋)10月18日	(春)1.2 t (秋)0.66 t
	クリーン作戦(潟東地区)	8月3日	2.2 t
	一斉清掃(岩室地区)	3月22日	3.5 t
	一斉清掃(中之口地区)	(春)3月22日 (秋)10月12日	(春)1.7 t (秋)1.5 t

(4) 海水浴場臨時ごみ集積所の設置

快適な海水浴を楽しんでいただくため、7月から8月の間、臨時ごみ集積所を設置し、ごみの散乱防止に努めている。

設置数(平成26年度実績)

設置海岸	設置数(基)	設置海岸	設置数(基)
島見町浜	2	日和山浜	2
船江町浜	2	五十嵐三の町浜	2
		計	8

(5) 環境美化整備等補助

地域の環境の保全や環境美化を図ることを目的とし、地域清掃等の活動に対し助成を行った。

①環境美化活動費への助成

- ・自治会、地域コミュニティ協議会等が行う一斉清掃(清掃用具・軍手・ジュースなど)への助成

②不法投棄処理費への助成

- ・自治会、地域コミュニティ協議会等が行う特定廃家電などの不法投棄物処理費への助成

5 余熱利用

(1) ふれあい健康センター（アクアパークにいがた）

新田清掃センター焼却施設の余熱を利用した施設として、環境保全やごみ処理事業の市民理解とイメージアップを図るため、平成12年7月にオープンした。多様な温浴機能を使って有酸素運動やマッサージなどをすることができ、健康増進に役立つ施設として広く利用されている。

① 主な設備

(1階)

- ・流水アクア（1周60mの流れるプール）
- ・健康アクア（気泡や噴流のあるプール）
- ・温浴アクア（ジャグジー、座湯、寝湯）
- ・子供アクア（すべり台付き幼児用プール）など

(2階)

- ・浴室
- ・サウナ
- ・レストラン
- ・スタジオ（健康教室）など

② 利用者実績

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者数(人)	246,878	257,686	260,365	256,082	267,378

(2) 亀田清掃センター附属休憩所（田舟の里）

亀田清掃センター焼却施設の余熱を利用した施設として、平成15年12月にオープンした。男女別の浴室、85畳の休憩室、各種研修会などに利用できる多目的ホールのほか、ごみのリサイクル推進・資源循環型社会の啓発に向けた展示コーナーを設けており、市民に広く利用されている。

① 主な設備

- ・男女別浴室
- ・休憩室（和室85畳）
- ・多目的ホール

② 利用者実績

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者数(人)	54,174	57,093	50,422	52,942	46,619

(3) 舞平清掃センター附属休憩所

舞平清掃センターの汚泥再生処理工程で発生するメタンガスを有効活用した施設として、平成16年1月にオープンした。浴室、休憩室のほかに卓球やバドミントンが可能な多目的ホールを併設しており、市民の憩いの場として広く利用されている。

① 主な設備

- ・男女別浴室
- ・休憩室（21+18畳）
- ・多目的ホール

③ 利用者実績

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
利用者数(人)	21,249	22,449	20,901	20,731	21,959

(4) その他

① 発電

焼却余熱から回収した蒸気で発電を行い、施設内外で活用されている。

(平成26年度発電量)

ア 新田清掃センター焼却施設	41,145MWh
イ 亀田清掃センター焼却施設	25,936MWh
ウ 鎧漕クリーンセンター	5,392MWh

② その他

新津クリーンセンターでは焼却余熱を活用し、隣接する福祉施設に余熱を供給している。

6 施設見学

減量化・リサイクルなど、ごみに対する意識の高揚を図るため、施設の見学を受け付けている。(資源再生センター等は「リサイクルプラザ事業」参照)

(1) 新田清掃センター ※再掲

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	54	41	95	70	62
見学者数(人)	2,543	2,183	2,953	2,814	2,503

(2) 亀田清掃センター

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	54	51	50	43	44
見学者数(人)	3,481	3,687	3,307	3,770	3,029

(3) 鎧漕クリーンセンター ※再掲

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	26	25	24	22	25
見学者数(人)	672	664	611	774	705

(4) 新津クリーンセンター

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	13	13	9	12	13
見学者数(人)	623	673	644	681	686

(5) 舞平清掃センター

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	9	6	3	9	3
見学者数(人)	37	86	22	126	32

(6) 資源再生センター ※再掲

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
団体数(団体)	94	87	84	59	62
見学者数(人)	3701	3,224	3,399	2,678	2,537

第6章 し尿・浄化槽汚泥処理事業

1 経緯及び現況	
(1)経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
(2)平成27年度処理計画フロー・・・・・・・・	53
2 し尿及び浄化槽汚泥処理実績	
(1)処理方法別人口・・・・・・・・・・・・・・・・	54
(2)平成26年度処理実績フロー・・・・・・・・	54
(3)収集処理実績・・・・・・・・・・・・・・・・	55

1 経緯及び現況

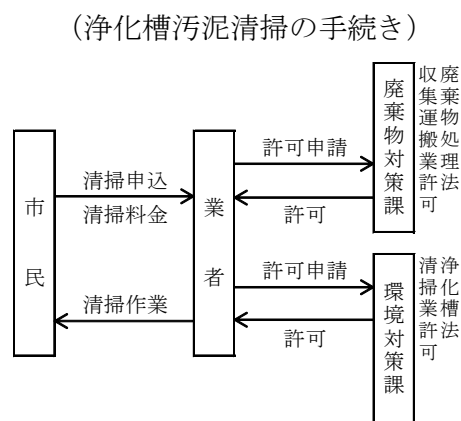
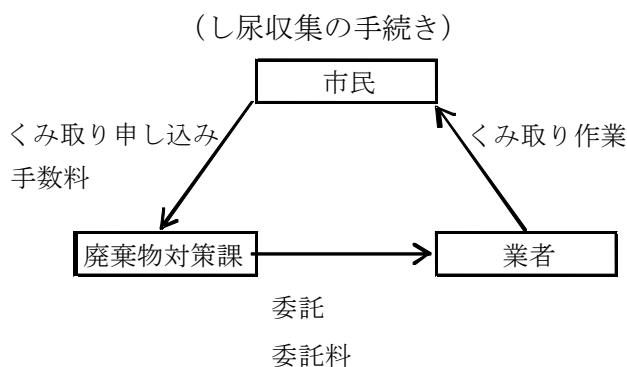
(1) 経緯

本市のし尿処理事業は、昭和32年の船見町し尿処理場の完成によって、いわゆる陸上処理が開始された。その後、し尿は農村需要の大幅な減少と人口増加により増加傾向にあったことから、東・西にそれぞれし尿処理施設を整備するとともに、新潟地区広域清掃事務組合において、舞平処理場を整備し処理を行ってきた。

しかし、昭和50年代以降は下水道の普及に伴い、し尿の減少は著しいものとなっている。そのため、順次施設の縮小を行いながら、平成11年度には西清掃センターの処理を停止するとともに、平成14年度には東処理センターでの処理を、工業用水希釈後の下水道投入に切り替えた。一方、老朽化した施設の更新にも着手しており、平成14年度に舞平処理場（現：舞平清掃センター）で、平成24年度に巻し尿処理場（現：巻処理センター）でそれぞれ新施設での処理を開始した。また、白根し尿処理場は平成24年度に廃止した。

し尿収集については、従来より市内全域を処理計画区域としており、し尿については下表のとおり定額制と従量制を区分し、委託業者別に収集区域を定めている。浄化槽汚泥については、浄化槽法に基づく許可および廃棄物処理法に基づく収集運搬許可業者が清掃しており、収集に関して業者別の区域指定がある。

区分	対象	収集回数
定額制	一般家庭	月1回収集（それ以外は別料金）
従量制	一般家庭・事業所・アパート・店舗等	申込みの都度収集

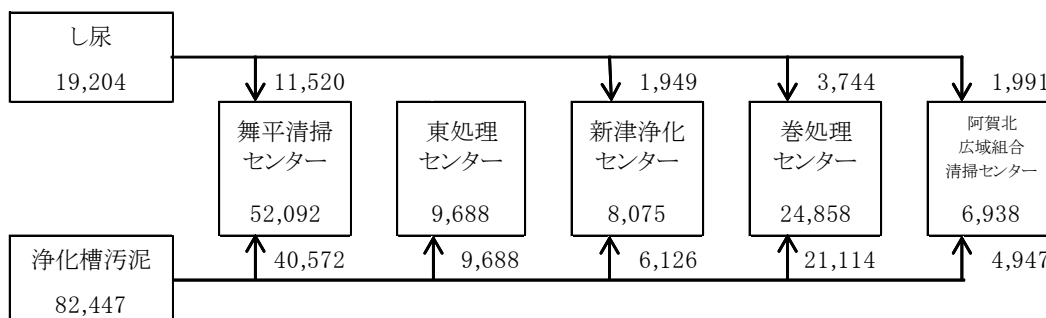


※ 手数料は条例で定める額

※ 清掃料金は各業者による額

(2) 平成27年度 処理計画フロー

(単位：kℓ)



※ 東清掃センター、新津浄化センターにおいては、希釈後、下水道へ投入

2 し尿及び浄化槽汚泥処理実績

(1) 処理方法別人口

(平成27年3月31日現在)

区 分		人 口	世 帯
く み 取 り	定 額 制	4,485人	2,254世帯
	従 量 制	25,566人	9,155世帯
	計	30,051人	11,409世帯
浄 化 槽 水 洗		175,936人	72,160世帯
下 水 道 水 洗		595,283人	244,154世帯
合 計		801,270人	327,723世帯

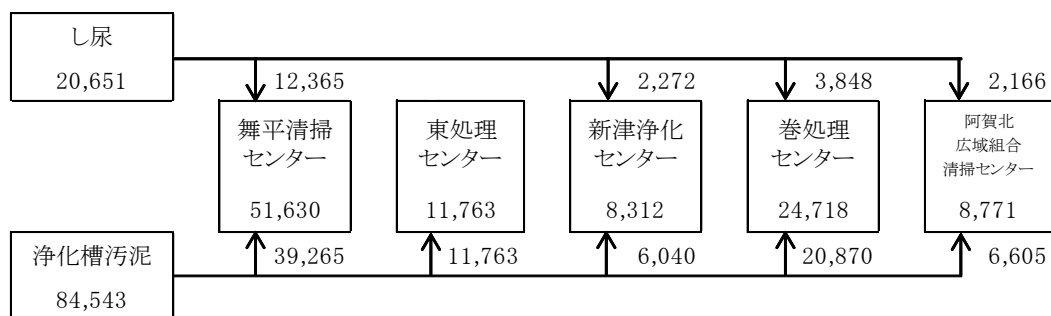
※人口・世帯数は住民基本台帳より

[参考] 年度別処理対象人口推移 (各年度末)



(2) 平成26年度 処理実績フロー

(単位：kℓ)



※ 東清掃センター、新津浄化センターにおいては、希釈後、下水道へ投入

(3) 収集処理実績

～収集量下段斜体は22年度を100とした指数

(単位：kℓ)

区分		22年度					26年度処理施設 内訳				
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	舞平清掃センター	東処理センター	新津浄化センター	巻処理センター	阿賀北清掃センター
新潟広域※	し尿	12,853	11,912	10,836	10,452	9,306	9,306				
		<i>100</i>	<i>93</i>	<i>84</i>	<i>81</i>	<i>72</i>					
	浄化槽汚泥	49,614	47,129	45,218	39,750	37,477	25,714	11,763			
		<i>100</i>	<i>95</i>	<i>91</i>	<i>80</i>	<i>76</i>					
計	62,467	59,041	56,054	50,202	46,783	35,020	11,763				
	<i>100</i>	<i>95</i>	<i>90</i>	<i>80</i>	<i>75</i>						
新津地区	し尿	2,772	2,515	2,218	2,183	1,991			1,991		
		<i>100</i>	<i>91</i>	<i>80</i>	<i>79</i>	<i>72</i>					
	浄化槽汚泥	7,318	6,700	6,327	5,981	5,642			5,642		
		<i>100</i>	<i>92</i>	<i>86</i>	<i>82</i>	<i>77</i>					
計	10,090	9,215	8,545	8,164	7,633			7,633			
	<i>100</i>	<i>91</i>	<i>85</i>	<i>81</i>	<i>76</i>						
白根広域※	し尿	5,449	5,335	4,436	4,425	3,957	3,059		281	617	
		<i>100</i>	<i>98</i>	<i>81</i>	<i>81</i>	<i>73</i>					
	浄化槽汚泥	17,001	16,787	16,184	15,885	15,944	13,551		398	1,995	
		<i>100</i>	<i>99</i>	<i>95</i>	<i>93</i>	<i>94</i>					
計	22,450	22,122	20,620	20,310	19,901	16,610		679	2,612		
	<i>100</i>	<i>99</i>	<i>92</i>	<i>90</i>	<i>89</i>						
豊栄地区	し尿	2,717	2,669	2,387	2,302	2,166				2,166	
		<i>100</i>	<i>98</i>	<i>88</i>	<i>85</i>	<i>80</i>					
	浄化槽汚泥	6,349	6,602	6,853	6,803	6,605				6,605	
		<i>100</i>	<i>104</i>	<i>108</i>	<i>107</i>	<i>104</i>					
計	9,066	9,271	9,240	9,105	8,771				8,771		
	<i>100</i>	<i>102</i>	<i>102</i>	<i>100</i>	<i>97</i>						
巻広域※	し尿	3,999	3,808	3,565	3,544	3,231				3,231	
		<i>100</i>	<i>95</i>	<i>89</i>	<i>89</i>	<i>81</i>					
	浄化槽汚泥	20,014	18,954	19,405	18,556	18,875				18,875	
		<i>100</i>	<i>95</i>	<i>97</i>	<i>93</i>	<i>94</i>					
計	24,013	22,762	22,970	22,100	22,106				22,106		
	<i>100</i>	<i>95</i>	<i>96</i>	<i>92</i>	<i>92</i>						
計	し尿	27,790	26,239	23,442	22,906	20,651	12,365	0	2,272	3,848	2,166
		<i>100</i>	<i>94</i>	<i>84</i>	<i>82</i>	<i>74</i>					
	浄化槽汚泥	100,296	96,172	93,987	86,975	84,543	39,265	11,763	6,040	20,870	6,605
		<i>100</i>	<i>96</i>	<i>94</i>	<i>87</i>	<i>84</i>					
計	128,086	122,411	117,429	109,881	105,194	51,630	11,763	8,312	24,718	8,771	
	<i>100</i>	<i>96</i>	<i>92</i>	<i>86</i>	<i>82</i>						

※新潟広域：新潟地区、黒埼地区、亀田地区、横越地区

※白根広域：白根地区、小須戸地区、味方地区、月潟地区、中之口地区

※巻広域：巻地区、岩室地区、西川地区、潟東地区

第7章 産業廃棄物の現状と対策

1 概説	57
2 産業廃棄物の排出状況と処理状況	57
3 産業廃棄物処理施設の設置状況と処理状況	58
4 産業廃棄物処理業者の許可と処理状況	58
5 自動車リサイクル法に基づく許可・登録状況	60
6 廃PCB等の保管状況	60
7 産業廃棄物の適正処理対策	60

1 概 説

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生ずる燃え殻、汚泥、がれき類等の廃棄物をいい、法律で20種類が指定され、排出事業者による適正処理が義務づけられている。

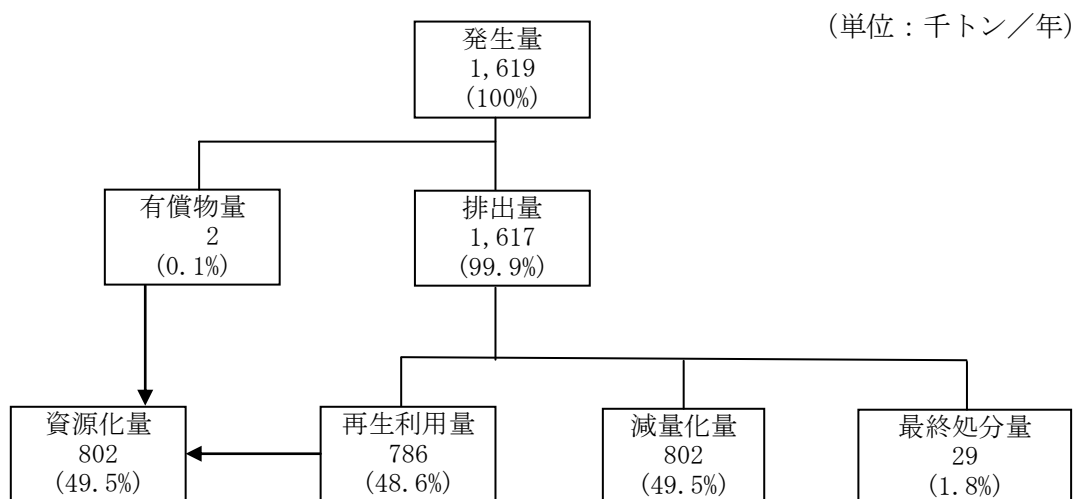
これらは、人間の生活を支える産業活動から不可避免的に発生するもので、多量に排出され、有害物質を含むものや処理困難なものが多いことから、市民の健康や生活環境の保全のため適正な処理が必要となっている。

焼却場や最終処分場等の設置にあたっては、建設コストの高騰や、住民合意が得られないことなどから、発生の抑制とリサイクルの推進が急務となっている。

2 産業廃棄物の排出状況と処理状況

平成26年度の排出量は、発生量1,619千トンから有償物量2千トンを除いた1,617千トンであり、前年度(1,695千トン)から微減となった。

排出量1,617千トンの産業廃棄物は、中間処理により1,588千トンが減量化又は再生利用されたため、最終処分の対象として残った29千トンは最終処分業者等で処分されている。



○主な廃棄物の種類別排出状況

排出量を種類別にみると、汚泥が941千トン(全体の58.2%)で最も多く、次いでがれき類が438千トン(27.1%)で、排出量全体の85.3%を占めている。

なお、汚泥は排出時点においては多量であるが、排出事業者等による脱水、乾燥等の処理により大幅に減量されている。

(単位：千トン／年)

種 類	排出量 (構成比)	再生利用量 (再生利用率)
汚 泥	941 (58.2%)	180 (19.2%)
がれき類	438 (27.1%)	395 (90.3%)

3 産業廃棄物処理施設の設置状況と処理状況

産業廃棄物処理施設には、焼却炉や脱水機等の中間処理施設と埋立地の最終処分場とがあり、政令で17施設を規定している。以下の表は、平成27年3月31日現在の本市で許可している施設の設置数と、その施設で平成26年度中に処理した廃棄物量を示している。

中間処理施設の種類	設置施設数				年間処理量 (t/年)			
	事業	処理業	公共	合計	事業者	処理業者	公共	合計
汚泥の脱水施設	12	6	2	20	89,812	15,848	26,189	131,849
汚泥の乾燥施設 (機械)	1	4		5	246	30,970		31,216
〃 (天日)		2	1	3		27,463		27,463
廃油の油水分離施設		4		4		5,024		5,024
廃プラの破砕施設		30		30		42,932		42,932
木くず、がれき類の破砕施設	3	68		71	687	794,172		794,859
シヤンの分解施設	2			2	20,192			20,192
小 計	18	114	3	135	110,938	916,409	26,189	1,053,536
汚泥の焼却施設	2	1		3	56,524	5,054		61,578
廃油の焼却施設	2	2		4	4,512	4,468		8,980
廃プラの焼却施設		5		5		12,801		12,801
その他の焼却施設	4	7		11	41,205	6,597		47,801
小 計	8	15	0	23	102,241	28,919	0	131,160
合 計	26	129	3	158	213,178	945,329	26,189	1,184,696

最終処分場の種類		埋立地 設置数	処分量 (m ²)		処分容積 (m ³)		年間処分量 (t/年)
			届出面積	残存面積	届出容積	残存容積	
安定型最 終処分場	事業者	1	9,780	1,700	78,240	6,135	0
	処理業者	2	6,077	998	17,614	2,268	193
	小 計	3	15,857	2,698	95,854	8,403	193
管理型最 終処分場	事業者						
	処理業者						
	小 計	0	0	0	0	0	0
合 計		3	15,857	2,698	95,854	8,403	193

(法第15条の許可施設)

4 産業廃棄物処理業者の許可と処理状況

産業廃棄物処理業者とは、他人が排出した産業廃棄物を排出者にかわって適正処理を行うことを業とするものである。以下の表は、平成27年3月31日現在の本市が許可した件数を示している。

業 の 区 分	許可件数
産業廃棄物収集運搬業	165 件
産業廃棄物処分業 (中間処理)	98 件
産業廃棄物処分業 (最終処分)	3 件
特別管理産業廃棄物収集運搬業	27 件
特別管理産業廃棄物処分業 (中間処理)	11 件

○平成26年度の許可業者の処分量

(単位：トン/年)

種 類		処 分 量	
		中 間 処理量	埋 立 処分量
産 業 廃 棄 物	燃え殻	527	
	汚泥	182,252	
	廃油	10,104	
	廃酸	3,383	
	廃アルカリ	6,535	
	廃プラスチック類	66,423	15
	紙くず	5,314	
	木くず	78,051	
	繊維くず	1,342	
	動植物性残渣	1,742	
	動物系固形不要物	1	
	ゴムくず	2	
	金属くず	10,740	3
	ガラスコンクリート陶磁器くず	55,216	172
	鉱さい	678	
	がれき類	734,530	7
	動物のふん尿		
	動物の死体		
	ばいじん	9,624	
小 計	1,166,464	197	
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物	危険物廃油	1,839	
	強廃酸	697	
	強廃アルカリ	346	
	感染性産業廃棄物	924	
	廃PCB等		
	廃石綿等		
	有害金属含有産業廃棄物	242	
	小 計	4,048	0
合 計	1,170,512	197	

5 自動車リサイクル法に基づく許可・登録状況

業 の 種 類	許可・登録件数
使用済自動車引取業	193 件
使用済自動車フロン類回収業	80 件
使用済自動車解体業	49 件
使用済自動車破砕業	13 件

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

6 廃 PCB 等の保管状況

	高圧トランス	低圧トランス	柱上トランス	高圧コンデンサ	低圧コンデンサ
台数等	14 個/台	6 個/台	2 個/台	611 個/台	2,189 個/台
事業所数	7	2	2	196	30

	安定器	PCB	PCBを含む油	感圧複写紙
台数等	23,238 個/台	1.15Kg	1,446.91Kg	230.60Kg
事業所数	113	2	20	4

	ウエス	その他機器等	汚泥	その他
台数等	1,379.72Kg	861 個/台	109.52Kg	208L
事業所数	16	181	2	24

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

7 産業廃棄物の適正処理対策

本年度実施する産業廃棄物の主な適正処理対策は、以下のとおりである。

(1) 監視指導の強化

- ① 処理施設、処理業者、廃棄物保管場所などに対する立入指導の実施
- ② 排出事業者への産業廃棄物適正処理の普及活動
- ③ 不法投棄・不適正処理監視のための監視カメラ設置・パトロール実施
- ④ PCB 廃棄物保管事業者等への適正管理、適正処理指導の実施

(2) 不法投棄原状回復

不法投棄事案については、法に基づく厳正な対応を行うと共に原因者による原状回復の指導

第8章 一部事務組合

1 豊栄郷清掃施設処理組合

(1)概説	61
(2)組織・人員	61
(3)事業費	62
(4)平成 26 年度処理実績	62

2 阿賀北広域組合

(1)概説	63
(2)組織・人員	63
(3)事業費	64
(4)平成 26 年度処理実績(し尿・浄化槽汚泥)	64

1 豊栄郷清掃施設処理組合

(1) 概 説

昭和45年5月に、豊栄町（現在の新潟市北区豊栄地区）と聖籠村（現在の聖籠町）のごみ処理施設の設置及び維持管理を行うために設置された。

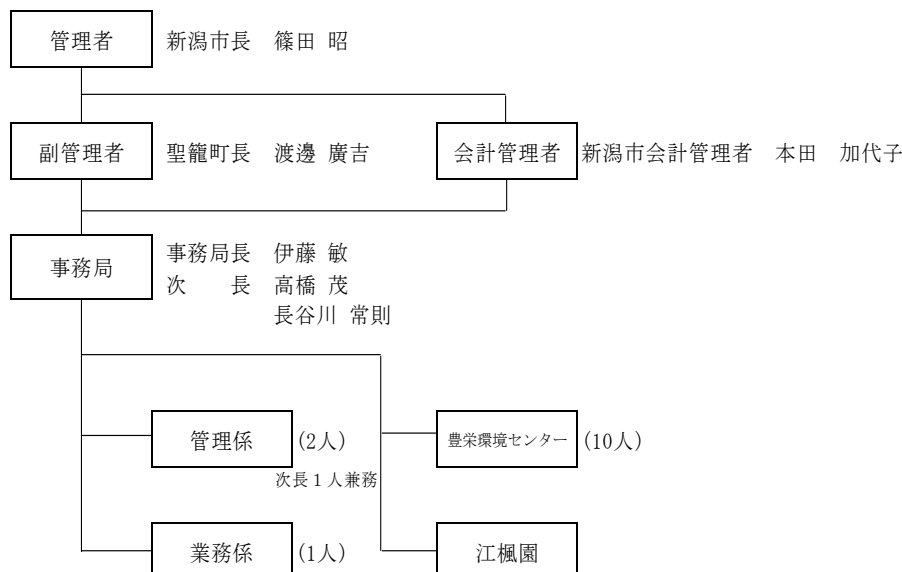
平成17年3月の豊栄市と新潟市外11市町村の合併に伴い、旧豊栄市分の事務が新潟市に引き継がれたことにより、新潟市北区と聖籠町のごみの適正処理を行っている。

[事務局] 新潟市北区浦ノ入418番地（豊栄環境センター内） TEL025-386-0909

[沿革]

S45. 5月	・豊栄郷清掃施設処理組合設立
S46. 5月	・黒山じん芥センター（焼却施設）の稼動開始 ～処理能力：15t/8h×2炉=30t/日
S56. 4月	・豊栄環境センター（焼却施設）1・2号炉の稼動開始 ～処理能力：40t/16h×2炉=80t/日
S62. 4月	・不燃ごみ処理施設稼動開始 ～処理能力：30t/5h
H 1. 4月	・小動物処理施設稼動開始
H 4. 4月	・江楓園（最終処分場）埋立開始 ～埋立面積：20,699 m ² 、埋立容量：80,910 m ³
H 9. 1月	・豊栄環境センター（焼却施設）3号炉（50t/16h）の稼動開始
H12. 1月	・豊栄環境センター（焼却施設）1・2号炉排ガス高度処理施設整備 工事終了
H15. 4月	・プラスチック製容器包装処理開始
H17. 3月	・豊栄市が新潟市と編入合併し、構成団体が新潟市と聖籠町となる。
H21. 4月	・新潟市の家庭ごみを搬入できる区域を豊栄地区から北区に拡大

(2) 組織・人員



(3) 事業費

① 平成 26 年度決算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	負担金	492,935	新潟市:367,101千円(74.47%)、聖籠町:125,834千円(25.53%)
	使用料及び手数料	86,680	目的外使用料、ごみ処理手数料
	その他	33,718	繰越金・諸収入
	計	613,333	
歳出	議会費	389	組合議会に係る経費
	総務費	47,807	組合事務局に係る経費
	衛生費	531,634	ごみ処理・埋立・プラスチック処理に係る経費
	公債費	14,593	
	計	594,423	

② 平成 27 年度予算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	負担金	536,443	新潟市:397,764千円(74.15%)、聖籠町:138,679千円(25.85%)
	使用料及び手数料	85,983	目的外使用料、ごみ処理手数料
	その他	12,574	繰越金・諸収入
	計	635,000	
歳出	議会費	720	組合議会に係る経費
	総務費	49,771	組合事務局に係る経費
	衛生費	568,914	ごみ処理・埋立・プラスチック処理に係る経費
	公債費	14,595	
	予備費	1,000	
	計	635,000	

(4) 平成 26 年度処理実績

区 分	処理量(t)	内 訳
豊栄環境センター(焼却)	16,961	新潟市:12,748t、聖籠町:4,213t
豊栄環境センター(破碎)	797	新潟市:561t、聖籠町:236t
プラスチック処理施設	202	新潟市:60t、聖籠町:142t
江楓園(最終処分場)	3,026	新潟市:2,316t、聖籠町:710t

2 阿賀北広域組合

(1) 概 説

昭和54年4月に北蒲西南部清掃センター組合外4つの組合を統合して設立され、ごみ処理施設（旧豊栄市を除く）、し尿処理施設や斎場施設等の設置及び維持管理を行ってきた。

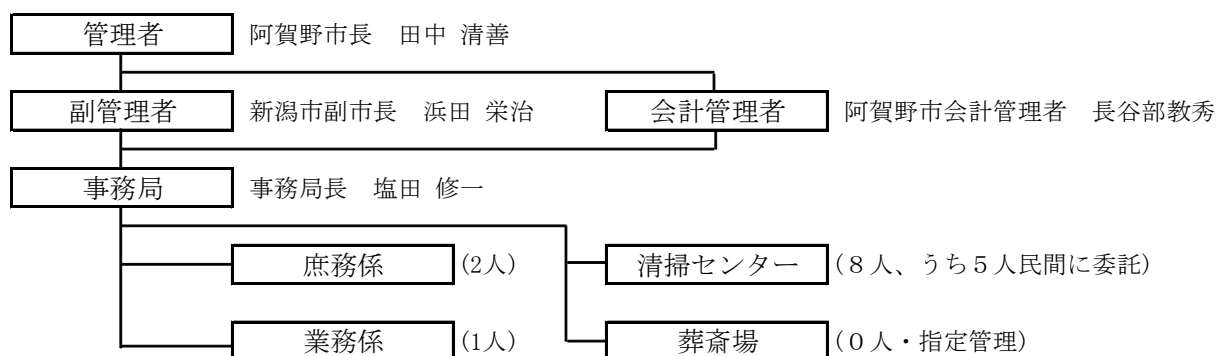
平成16年4月の水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村の合併に伴い、ごみ処理、消防等の事務を廃止（阿賀野市へ継承）した。また、平成17年3月の豊栄市と新潟市外11市町村の合併により、旧豊栄市分の事務が新潟市に引き継がれ、現在、阿賀野市と新潟市豊栄地区分のし尿処理施設、斎場の維持・管理を行っている。

[事務局] 阿賀野市船居字権九郎新田 496 番地 1 TEL025-387-2000

[沿革]

S41. 1月	・北蒲西南部清掃センター組合設立 （豊栄市、水原町、笹神村、京ヶ瀬村）
S43. 4月	・水原郷ごみ処理組合設立 （水原町、笹神村、京ヶ瀬村）
S48. 4月	・水原郷消防組合設立 （水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村）
S49. 4月	・阿賀北郷葬斎組合設立 （豊栄市、水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村） ・五頭連峰少年自然の家組合設立 （豊栄市、水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村）
S54. 4月	・上記5つの組合を引き継ぎ、阿賀北広域組合設立
H12. 7月	・少年自然の家に関する事務を廃止（笹神村に移管）
H16. 4月	・水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村による阿賀野市の新設合併により、構成団体が阿賀野市、豊栄市に変更 ・ごみ処理、消防、総合運動場に関する事務を廃止（阿賀野市へ継承）
H17. 3月	・豊栄市が新潟市と編入合併し、構成団体が新潟市と阿賀野市に変更

(2) 組織・人員



(3) 事業費

① 平成 26 年度決算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	分担金及び負担金	347,671	新潟市:139,952千円(40.3%)、阿賀野市:207,719千円(59.7%)
	使用料及び手数料	18,130	葬斎場使用料
	その他	31,855	繰越金・諸収入
	計	397,656	
歳出	議会費	716	組合議会に係る経費
	総務費	24,176	組合事務局に係る経費
	衛生費	235,858	し尿処理施設・葬斎施設に係る経費
	公債費	100,063	
	計	360,813	

② 平成 27 年度予算額

区 分		金額(千円)	備 考
歳入	分担金及び負担金	345,538	新潟市:141,444千円(40.9%)、阿賀野市:204,094千円(59.1%)
	使用料及び手数料	15,500	葬斎場使用料
	その他	20,503	繰越金・諸収入
	計	381,541	
歳出	議会費	883	組合議会に係る経費
	総務費	24,800	組合事務局に係る経費
	衛生費	252,795	し尿処理施設・葬斎施設に係る経費
	公債費	100,063	
	予備費	3,000	
	計	381,541	

(4) 平成 26 年度処理実績 (し尿・浄化槽汚泥)

区 分	処理量(kℓ)	備 考
し 尿	4,803	新潟市:2,166kℓ、阿賀野市:2,637kℓ
浄化槽汚泥	13,367	新潟市:6,605kℓ、阿賀野市:6,762kℓ

第9章 資料

1	車両	65
2	一般廃棄物処理業許可業者	66
3	清掃審議会審議事項及び日程	69
4	安全衛生等	74
5	廃止及び休止清掃施設	75
6	ごみ・し尿処理手数料の推移	82
7	組織の変遷	83
8	廃棄物・リサイクルに関する法改正	85
9	清掃事業の沿革	87
10	新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	100
11	新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の 施行及び一般廃棄物処理業の許可等に関する規則	115

1 車両

(平成27年4月1日現在)

区分		廃棄物 政策課	廃棄物 対策課	廃棄物 施設課	清掃 事務所	新田清掃 センター	亀田清掃 センター	巻清掃 センター	新津クリー ンセンター	舞平清掃 センター	計
共通	トラック		1		5	2		1	1		10
	ダンプトラック					2	1	1			4
	清掃パトロール車				3						3
	その他	2	6	2	2	6	1	1	1	1	22
	計	2	7	2	10	10	2	3	2	1	39
ごみ 収集	中型機械車				6						6
	小型機械車				7						7
	中型深あおりダンプ (クレーン車)				1						1
	小型深あおりダンプ				1						1
	犬猫収集車				2						2
	計				17						17
中間 処理	ホイールローダー					5		1	1		7
	ショベルローダー						1				1
	フォークリフト					4	2	3	2		11
	フックロール					4					4
	バックホー					2	2	1			5
	計					15	5	5	3		28
し尿	バキューム車										
	トラック										
	ダンプトラック							1		1	2
	油圧ショベル							1		1	2
	フォークリフト									1	1
	その他							1			1
	計							3		3	6
最終 処分場	ブルドーザー						1				1
	ホイールローダー					1					1
	ダンプトラック					1	2	2			5
	コンパクター										
	フォークリフト						2				2
	バックホー										
	動力噴霧機					1					1
	バキューム車					1					1
	油圧ショベル					1	2				3
	その他					1	2				3
	計					6	9	2			17
合計	2	7	2	27	31	16	13	5	4	107	

2 一般廃棄物処理業許可業者 (平成27年8月1日現在)

(1) 収集運搬業(浄化槽汚泥を除く) ~73業者

通し番号	名称	取扱廃棄物	郵便番号	所在地	電話番号	備考
1	新潟興産 株式会社	一般ごみ、木くず類	950-3134	新潟市北区新崎字毘沙門4 7 0番地	025-259-6977	
2	新和清掃 株式会社	一般ごみ、木くず類、感染性廃棄物	950-0811	新潟市東区材木町1番4 5号	025-273-1045	
3	株式会社 北地区清総	一般ごみ	950-3127	新潟市北区松浜みなと2 9番5号	025-259-6363	処分業兼
4	株式会社 新潟市環境事業公社	一般ごみ、木くず類、感染性廃棄物	950-2022	新潟市西区小針七丁目1 3番1 3号	025-265-1291	浄化槽汚泥兼
5	株式会社 新潟ビルサービス	一般ごみ、木くず類	951-8068	新潟市中央区上大川前通九番町1 2 6 8番地2	025-228-3477	
6	新潟交友事業 株式会社	一般ごみ、木くず類、感染性廃棄物	950-0811	新潟市東区材木町1番4 6号	025-270-3400	
7	株式会社 新鉄工業所	一般ごみ、木くず類	951-8162	新潟市中央区関屋本村町一丁目1 4 9番地9	025-271-6683	
8	株式会社 NKSコーポレーション	一般ごみ、感染性廃棄物	950-0914	新潟市中央区紫竹山二丁目5番4 0号	025-290-5800	
9	三好運送 株式会社	一般ごみ	950-0911	新潟市中央区笹口三丁目8番地5	025-244-5734	
10	株式会社 トートク	一般ごみ、木くず類	950-0811	新潟市東区材木町1番2 7号	025-271-7511	
11	有限会社 東北事業	一般ごみ、木くず類	950-0054	新潟市東区秋葉一丁目5番地	025-273-5918	
12	中野清掃 有限会社	一般ごみ	951-8062	新潟市中央区西堀前通2番町7 1 6番地	025-223-2901	浄化槽汚泥兼
13	北陸保全工業 株式会社	一般ごみ、木くず類、感染性廃棄物	950-0855	新潟市東区江南三丁目1番地2	025-286-1181	
14	J R新潟鉄道サービス 株式会社	一般ごみ	950-0086	新潟市中央区花園一丁目1番5号	025-244-0590	
15	北越環境 株式会社	一般ごみ、木くず類、畳	950-0871	新潟市東区山木戸1 3 2 3番地1	025-273-0366	処分業兼
16	株式会社 ネクスコ・メンテナンス新潟	一般ごみ	940-2121	長岡市喜多町字金輪1 3 8番1	0258-46-7231	
17	有限会社 ムネケン	一般ごみ、木くず類	950-1113	新潟市西区鳥原新田4 2 7番地	025-377-5146	
18	株式会社 ケー・エス工業	一般ごみ	950-1122	新潟市西区木場3 4 0 2番地1	025-378-7345	
19	株式会社 不二産業	木くず類、食品系廃棄物	950-0801	新潟市東区津島屋七丁目5 0番地2	025-271-3838	注①処分業兼
20	株式会社 ホーネンアグリ	木くず類	949-5414	長岡市飯塚1 9 8 6番地	0258-21-3890	注②
21	有限会社 ワークアポリー新津	一般ごみ	956-0817	新潟市秋葉区古田ノ内大野開1 4 2番地2	0250-23-1401	
22	株式会社 新津ウエイストサービス	一般ごみ、木くず類、廃プラスチック類	956-0817	新潟市秋葉区古田ノ内大野開1 4 3番地3	0250-23-1235	処分業兼
23	株式会社 ひまわり清掃サービス	一般ごみ	956-0825	新潟市秋葉区下新1 7 0番地	0250-22-8161	
24	有限会社 ひまわり	家電	956-0825	新潟市秋葉区下新1 7 0番地	0250-25-3970	浄化槽汚泥兼
25	有限会社 ニイツクリンテック	家電	956-0817	新潟市秋葉区古田ノ内大野開1 4 2番地2	0250-24-5395	
26	有限会社 菅井産興	一般ごみ	950-3313	新潟市北区太田甲5 8 3 4番地1	025-386-8816	
27	アイビス技建 株式会社	一般ごみ、木くず類	950-3327	新潟市北区石動一丁目1 5番地4号	025-386-1520	
28	J R Aファシリティーズ 株式会社	馬ふん、敷き藁	105-0004	東京都港区新橋四丁目5番4号	025-259-7026	
29	有限会社 クボタクリーン	一般ごみ	950-0134	新潟市江南区曙町三丁目1 2番1 2号	025-381-4475	浄化槽汚泥兼
30	有限会社 郷土衛生社	一般ごみ	950-0123	新潟市江南区亀田水道町四丁目6番3 5号	025-381-5161	浄化槽汚泥兼
31	有限会社 亀田横越衛生工業社	一般ごみ	950-0134	新潟市江南区曙町一丁目1番4 6号	025-382-5418	浄化槽汚泥兼
32	クラウン建設 株式会社	一般ごみ	950-0855	新潟市東区江南一丁目5番地2 0	025-286-6641	
33	日統土木工業 株式会社	一般ごみ	950-0211	新潟市江南区横越川根町一丁目2番1 4号	025-385-3364	
34	金政建設 株式会社	一般ごみ	950-0153	新潟市江南区船戸山四丁目9番3 6号	025-382-3341	
35	有限会社 ヤマヒコ輸送	一般ごみ	953-0133	新潟市西蒲区夏井7 4 7番地	0256-82-5211	
36	株式会社 クリーン公社	一般ごみ	953-0115	新潟市西蒲区横曽根1 4 4 0番地	0256-82-2591	
37	株式会社 柿島清掃	一般ごみ	953-0125	新潟市西蒲区和納6 9 7 3番地1	0256-82-3415	
38	株式会社 西川クリーナー	一般ごみ	959-0423	新潟市西蒲区旗屋4 8 0番地	0256-88-3366	浄化槽汚泥兼
39	早川 浩行	家電	959-0426	新潟市西蒲区矢島1 1 0番地甲	0256-88-3735	
40	新潟エコサイクル工業 株式会社	木くず類	959-0504	新潟市西蒲区横戸字新川前3 4 4 5番地3	0256-70-5210	処分業兼
41	ふじ環境保全 株式会社	一般ごみ、木くず類	959-1228	燕市佐渡3 3 6番地	0256-62-2428	木くず類は注①
42	有限会社 キープクリーン	一般ごみ、木くず類	950-1416	新潟市南区西笠巻2 1 1 4番地	025-362-6045	
43	有限会社 潟東環境保全工業	一般ごみ	959-0506	新潟市西蒲区遠藤4 3番地	0256-86-3050	浄化槽汚泥兼
44	有限会社 アースレンジャー	一般ごみ、木くず類	950-1403	新潟市南区犬鼻新田6 5 1 1番地	025-280-7003	
45	有限会社 佐藤衛生工業	一般ごみ	950-1445	新潟市南区菱潟新田2 0 9番地	025-372-2964	浄化槽汚泥兼
46	有限会社 白根クリーンサービス	一般ごみ	950-1217	新潟市南区白根4 0 1番地9	025-373-4681	
47	株式会社 白根清掃社	一般ごみ	950-1202	新潟市南区鍋湯1 6 0 8番1	025-373-4643	
48	有限会社 ヌノカワクリーンサービス	一般ごみ	950-1213	新潟市南区能登一丁目8番1 2号	025-372-2747	浄化槽汚泥
49	株式会社 アクアクリーン	一般ごみ	950-1413	新潟市南区朝捲7 6 6番地	025-373-5520	
50	有限会社 下越環境開発	一般ごみ	956-0112	新潟市秋葉区新保1 2 7 9番地1	0250-38-4323	
51	滝沢ミドリ	一般ごみ	950-1253	新潟市南区大倉新田2 5 0番地	025-372-3922	
52	株式会社 ニッケン	一般ごみ	950-1305	新潟市南区大別當1 3番地	025-375-2634	
53	有限会社 スーパージャングル	一般ごみ、木くず類	950-1301	新潟市南区下曲通3 2 0番地1	025-375-5405	処分業兼
54	株式会社 本田工業	一般ごみ	950-1342	新潟市西蒲区河間1 2 5番地2	025-375-3399	
55	株式会社 石山商店	一般ごみ	953-0022	新潟市西蒲区仁箇5 3 6番地	0256-72-3670	
56	高橋 民男	一般ごみ	953-0035	新潟市西蒲区割前9 7番地4	0256-72-8184	
57	株式会社 ミツワクリーナー	一般ごみ	953-0041	新潟市西蒲区巻甲3 0 4 4番地3	0256-72-6063	
58	北進重機 株式会社	木くず類	377-0025	群馬県渋川市川島1 8 3 9番地1	0279-25-0815	注③
59	有限会社 高倉産業	一般ごみ、木くず類	950-2251	新潟市西区中権寺2 3 9 7番地1	025-261-1223	処分業兼

通し番号	名称	取扱廃棄物	郵便番号	所在地	電話番号	備考
60	株式会社 帆苺商店	ペットボトル	950-0064	新潟市東区松島一丁目6番1号	025-273-4672	注②処分業兼
61	株式会社 互惠商会	魚腸骨	104-0045	東京都中央区築地五丁目2番1号	03-3541-0082	注④
62	株式会社 大橋商会	木くず類	950-3102	新潟市北区島見町3399番地37	025-257-4580	処分業兼
63	藤和興産 株式会社	木くず類	950-0072	新潟市中央区竜が島一丁目7番11号	025-241-6881	処分業兼
64	新潟県オートリサイクル 株式会社	木くず類	953-0112	新潟市西蒲区高畑2426番地	0256-73-7018	処分業兼
65	株式会社 新蒲原総業	木くず類	959-1284	燕市杣木3092番地2	0256-62-5537	注①
66	株式会社 三和環境	一般ごみ	950-1203	新潟市南区大通黄金三丁目1番地18	025-362-7706	
67	西蒲原土地改良区	一般ごみ	953-0041	新潟市西蒲区巻甲5481番地1	0256-72-3164	注⑤
68	有限会社 吉田商事	木くず類	950-3101	新潟市北区太郎代680番地1	025-255-3614	処分業兼
69	有限会社 ケイ・エス環境興業	木くず類	956-0045	新潟市秋葉区子成場271番地2	0250-25-3171	処分業兼
70	青木環境事業 株式会社	汚泥	950-3102	新潟市北区島見町3268番地15	025-255-3360	注⑥処分業兼
71	株式会社 リンコーコーポレーション	木くず類	950-8540	新潟市中央区万代五丁目11番30号	025-271-8100	処分業兼
72	株式会社 佐藤建設	一般ごみ	950-3325	新潟市北区白新町二丁目1番2号	025-386-2811	
73	グリーンリサイクル 株式会社	木くず類	981-3341	宮城県黒川郡富谷町成田九丁目3番地5	022-351-5904	注⑧

※一般ごみの収集区域は、平成17年3月20日現在の許可区域とする。

- 注①【許可条件】 新潟市一般廃棄物処理業（処分業）許可業者の事業場までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注②【許可条件】 自社処分場までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注③【許可条件】 指定処分場（長岡市不動沢1719番地 株式会社ホーネンアグリ）までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注④【許可条件】 指定処分場（住所：新潟市西区曾和391番地1 三幾飼料工業株式会社）までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注⑤【許可条件】 西蒲原土地改良区管内の新潟市内の排水機場から排出される河川ごみの指定された積替保管場所までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注⑥【許可条件】 汚泥はディスポーザー汚泥に限定する。
 注⑦【許可条件】 食品系廃棄物については、指定された事業所から指定処分場（設置場所：新潟市西区内野上新町12823番外 株式会社不二産業）までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。
 注⑧【許可条件】 配電線の支障木伐採作業に伴い生じた木くずに限る。自社処分場（福島県二本松市小沢字原115番地）までの運搬とそこでの荷下ろしに限る。

(2) 収集運搬許可業者（浄化槽汚泥に限る）～28業者

通し番号	名称	区域	郵便番号	所在地	電話番号	備考
1	株式会社 新潟市環境事業公社	新潟広域	950-2022	新潟市西区小針7丁目13番13号	265-1291	浄化槽汚泥以外兼
2	稲田清掃工業 株式会社	新潟広域	951-8131	新潟市中央区白山浦1丁目630番地	231-7181	
3	株式会社 エヌエスケイ	新潟広域	950-2022	新潟市西区小針5丁目1番43号	231-9420	
4	株式会社 伏見清掃	新潟広域	951-8005	新潟市中央区室町1丁目18番地8	222-8895	
5	金子清掃 有限会社	新潟広域	950-0057	新潟市東区山の下町4番19号	273-5022	
6	中野清掃 有限会社	新潟広域	951-8062	新潟市中央区西堀前通2番町716番地	223-2901	浄化槽汚泥以外兼
7	有限会社 積新商会	新潟広域	950-0926	新潟市中央区高志2丁目16番24号	286-6401	
8	株式会社 横山	新潟広域・白根広域	950-1112	新潟市西区金巻1142番地1	377-2483	
9	株式会社 ライフサポート渡辺	新潟広域	950-1103	新潟市西区立込27番地	377-2435	
10	有限会社 ひまわり	新津地区	956-0825	新潟市秋葉区下新170番地	(0250)25-3970	浄化槽汚泥以外兼
11	有限会社 田中衛生センター	新津地区	956-0854	新潟市秋葉区滝谷町1番21号	(0250)22-0758	
12	株式会社 浄化槽技術センター	新津地区	956-0834	新潟市秋葉区小口878番地2	(0250)22-2530	
13	有限会社 協立衛生工業	豊栄地区	950-3321	新潟市北区葛塚4123番地	387-3135	
14	環境整備 株式会社	豊栄地区	950-3321	新潟市北区葛塚4677番地	386-6611	
15	有限会社 クボタクリーン	新潟広域	950-0134	新潟市江南区曙町3丁目12番12号	381-4475	浄化槽汚泥以外兼
16	有限会社 郷土衛生社	新潟広域	950-0123	新潟市江南区亀田水道町4丁目6番35号	381-5161	浄化槽汚泥以外兼
17	有限会社 亀田横越衛生工業社	新潟広域	950-0134	新潟市江南区曙町1丁目1番46号	382-5418	浄化槽汚泥以外兼
18	有限会社 岩室清掃社	巻広域	953-0115	新潟市西蒲区横曽根1440番地	(0256)82-2591	
19	株式会社 西川クリーナー	巻広域	959-0423	新潟市西蒲区旗屋480番地	(0256)88-3366	浄化槽汚泥以外兼
20	武田 明	巻広域	959-0422	新潟市西蒲区曾根3番地3	(0256)88-2455	
21	有限会社 潟東環境保全工業	巻広域	959-0506	新潟市西蒲区遠藤43番地	(0256)86-3050	浄化槽汚泥以外兼
22	有限会社 佐藤衛生工業	白根広域	950-1445	新潟市南区菱潟新田209番地	372-2964	浄化槽汚泥以外兼
23	有限会社 ヌノカワクリーンサービス	白根広域	950-1213	新潟市南区能登1丁目8番12号	372-2747	浄化槽汚泥以外兼
24	有限会社 とがわ	白根広域	950-1214	新潟市南区上下諏訪木763番地1	372-2054	
25	長谷川 隆之	白根広域	950-1471	新潟市南区和泉393番地21	372-2953	
26	越後清掃 株式会社	白根広域	950-1325	新潟市西蒲区小吉1390番地	375-2202	
27	有限会社 西蒲衛生社	巻広域	953-0041	新潟市西蒲区巻甲3043番地1	(0256)72-2437	
28	株式会社 巻衛生社	巻広域	953-0044	新潟市西蒲区巻乙1710番地	(0256)72-2276	

※ 新潟広域・・・旧新潟市、旧黒埼町、旧横越町、旧亀田町

※ 白根広域・・・旧白根市、旧小須戸町、旧味方村、旧月潟村、旧中之口村

※ 巻広域・・・旧岩室村、旧西川町、旧潟東村、旧巻町

(3) 処分業 ～19 業者

通し 番号	名称	種類 (取扱廃棄物)	郵便番号	所在地	電話番号
1	株式会社 北地区清総	破碎 (廃タイヤ等)	950-3127	新潟市北区松浜みなと29番5号	025-259-6363
2	青木環境事業 株式会社	焼却 (感染性廃棄物、輸入携 行品、輸入不許可となった食 品廃棄物、汚泥)	950-3102	新潟市北区島見町3268番地15	025-255-3360
3	株式会社 リンコーコーポレーション	破碎 (木くず類)	950-0088	新潟市中央区万代五丁目11番30号	025-271-8100
4	北越環境 株式会社	破碎 (木くず類、畳)	950-0871	新潟市東区山木戸1323番地1	025-273-0366
5	株式会社 不二産業	破碎 (木くず類)、堆肥化 (木くず類・食品系廃棄物・ 動物のふん尿)	950-0801	新潟市東区津島屋七丁目50番地2	025-271-3838
6	新潟エコサイクル工業 株式会社	破碎 (木くず類)	959-0504	新潟市西蒲区横戸字新川前3445番地3	0256-70-5210
7	有限会社 スーパージャングル	破碎 (木くず類)	950-1301	新潟市南区下曲通320番地1	025-375-5405
8	有限会社 高倉産業	圧縮梱包・破碎 (紙くず、木 くず類、繊維くず、廃プラス チック)	950-2251	新潟市西区中権寺2397番地1	025-261-1223
9	株式会社 帆苺商店	圧縮梱包 (ペットボトル)	950-0064	新潟市東区松島一丁目6番1号	025-273-4672
10	小柳建設 株式会社	破碎 (木くず類)	955-0047	三条市東三条一丁目21番5号	0256-32-0006
11	藤和興産 株式会社	破碎 (木くず類)	950-0072	新潟市中央区竜が島一丁目7番11号	025-241-6881
12	株式会社 大橋商会	破碎 (木くず類)	950-3102	新潟市北区島見町3399番地37	025-257-4580
13	有限会社 新津清掃社	溶融 (廃プラスチック)	956-0817	新潟市秋葉区川口字乙580番地23	0250-23-1401
14	株式会社 新津ウエイストサービス	溶融 (廃プラスチック)	956-0817	新潟市秋葉区古田ノ内大野開143番地3	0250-23-1235
15	新潟県オートリサイクル 株式会社	破碎 (木くず類)	953-0112	新潟市西蒲区高畑2426番地	0256-73-7018
16	有限会社 バイオマスJUN	堆肥化 (食品系廃棄物)	956-0862	新潟市秋葉区新町一丁目2番37号	0250-22-6140
17	有限会社 吉田商事	破碎 (木くず類)	950-3101	新潟市北区太郎代680番地1	025-255-3614
18	株式会社 フジ・エンバイロ	破碎・減容 (木くず類、畳)	950-0801	新潟市東区津島屋七丁目50番地2	025-271-2002
19	有限会社 ケイ・エス環境興業	破碎 (木くず類)	956-0045	新潟市秋葉区子成場271番地2	0250-25-3171

(4) 収集運搬業者 (特定家庭用機器廃棄物) ～17 業者

通し 番号	名称	郵便番号	所在地	電話番号	積込市町村
1	小柳産業 株式会社	957-0032	新発田市八幡新田4 1 6 番地	0254-22-7010	新発田市・胎内市
2	有限会社 住吉産業	957-0061	新発田市住吉町二丁目3 番 3 1 号	0254-24-1527	新発田市
3	株式会社 新発田廃棄物センター	957-0051	新発田市城北町二丁目1 2 番 1 8 号	0254-23-5533	新発田市
4	有限会社 武藤清掃工業	959-1601	五泉市一本杉字鏡 2 3 2 9 番地 1	0250-42-5000	五泉市
5	有限会社 川口商店	959-1853	五泉市土深 6 3 6 番地	0250-42-3563	五泉市
6	有限会社 鶴木産業	959-1834	五泉市木越 1 9 4 1 番地 1	0250-42-0887	五泉市
7	有限会社 安田清掃社	959-2221	阿賀野市保田 3 8 6 5 番地の 4	0250-68-2081	阿賀野市
8	有限会社 水原衛生社	959-2005	阿賀野市山口町一丁目 6 番 5 5 号	0250-62-2295	阿賀野市
9	株式会社 早東商店	959-2021	阿賀野市天神堂 3 6 番	0250-62-2116	阿賀野市
10	東高建機作業 株式会社	957-0101	北蒲原郡聖籠町東港七丁目 6 1 番地 1 6	025-256-2560	新発田市・聖籠町
11	株式会社 高岡商店	959-1705	五泉市村松乙 2 9 0 番地 5 7	0250-58-3443	五泉市
12	有限会社 松尾清掃	959-1704	五泉市番坂甲 4 5 6 8 番地 6	0250-58-2813	五泉市
13	有限会社 愛宕クリーンサービス	959-1755	五泉市青橋字新田 2 2 5 7 番地	0250-58-1155	五泉市
14	株式会社 中野組	959-4402	東蒲原郡阿賀町津川 2 3 5 9 番地 1	0254-92-3345	阿賀町
15	株式会社 昭和組	959-4301	東蒲原郡阿賀町向鹿瀬 1 9 3 5 番地	0254-92-2442	阿賀町
16	有限会社 小嶋組	959-4501	東蒲原郡阿賀町九島 5 3 6 2 番地 1	0254-95-2759	阿賀町
17	有限会社 三川興産	959-4618	東蒲原郡阿賀町川口 2 0 3 4 番地	0254-99-2587	阿賀町

3 清掃審議会審議事項及び日程

開催日	審議事項	摘要
昭和 41. 11. 4	第 1 回清掃審議会開催 事務局清掃事業の概要と問題点説明	
昭和 42. 6. 28	諮問 し尿行政改善の方策について	
昭和 42. 9. 29	金沢衛生公社、多摩清掃公社調査結果報告書に基づき 諮問事項討議	
昭和 42. 10. 9	諮問事項討議	
昭和 43. 3. 28	諮問事項討議 定額制調査中間報告	
昭和 43. 5. 24	定額制の調査結果を報告 企業合同について業者が行ったアンケートの結果を報告 答申案の基本事項について討議	
昭和 43. 9. 19	答申 し尿行政改善の方策について	44. 4. 1(株)新潟市 清掃公社設立
昭和 44. 2. 15	諮問 し尿処理手数料定額制について	
昭和 44. 2. 15	答申 し尿処理手数料定額制について	44. 4. 1 定額制を 実施
昭和 45. 2. 27	清掃事業に関する現況と問題点	
昭和 45. 4. 10	諮問 1 耐久消費財および不燃焼物の収集およびその処 分について 2 ごみの早朝または夜間収集について	
昭和 45. 6. 15	先進地調査報告	
昭和 45. 8. 3	耐久消費財および不燃焼物の収集について	
昭和 45. 9. 3	耐久消費財および不燃焼物の収集についての答申案審議	
昭和 45. 9. 4	答申 耐久消費財および不燃焼物の収集および処分につ いて	45. 11. 25 耐久消 費財および不燃 焼物の収集開始
昭和 46. 2. 23	ごみの早朝または夜間収集に関する基礎調査について	
昭和 46. 8. 27	諮問 清掃手数料（し尿処理分）の改定について	
昭和 46. 8. 27	ごみの早朝または夜間収集について	
昭和 46. 9. 10	し尿処理手数料について	
昭和 46. 9. 16	し尿処理手数料について	
昭和 46. 10. 5	し尿処理手数料について	
昭和 46. 10. 23	諮問 事業活動に伴って生じた廃棄物の処分費用の徴収 額及び徴収方法等について し尿処理手数料について	
昭和 46. 11. 1	答申 清掃手数料（し尿処理分）改定について	
昭和 46. 12. 2	事業活動に伴って生じた廃棄物の処分費用の徴収額及び 徴収方法等について	
昭和 46. 12. 9	事業活動に伴って生じた廃棄物の処分費用の徴収額及び 徴収方法等について	47. 2. 1 し尿処理 手数料を改定
昭和 47. 2. 4	諮問 ごみの処理手数料の改正について	
昭和 47. 2. 10	1. 事業活動に伴って生じた廃棄物の処分費用の徴収額及 び徴収方法等について 2. ごみ処理手数料の改正について	

開催日	審議事項	摘要
昭和 47. 2. 21	答申 1 事業活動に伴って生じた廃棄物の処分費用の徴収額及び徴収方法等について 2 ごみ処理手数料の改正について	47. 6. 1 廃棄物処理手数料を実施
昭和 47. 4. 28	昭和 47 年度事業計画について	
昭和 49. 3. 13	清掃事業の概要と新年度主要事業について	
昭和 50. 1. 24	諮問 廃棄物（不燃物・焼却不適物）の分別収集・処理処分について	
昭和 50. 2. 13	廃棄物の分別収集・処理処分について	
昭和 50. 2. 20	廃棄物の分別収集・処理処分について	
昭和 50. 3. 1	答申 廃棄物の分別収集・処理処分について	50. 7. 10 分別収集を実施
昭和 51. 10. 27	諮問 清掃手数料の改定について 1. し尿処理手数料の改定について 2. ごみ処理手数料及び廃棄物処分費用の改定について	
昭和 51. 11. 2	清掃手数料改定について	
昭和 51. 11. 25	答申 清掃手数料の改定について	52. 4. 1 し尿及びごみ処理手数料を改定
昭和 52. 8. 25	清掃事業の概要について	
昭和 52. 10. 5	ごみの早朝、夜間収集について調査報告	
昭和 53. 3. 30	昭和 53 年度清掃部主要事業について	
昭和 53. 10. 17	清掃事業計画について	
昭和 54. 8. 28	昭和 54 年度清掃事業について	
昭和 54. 11. 14	諮問 清掃手数料（し尿、ごみ）改定について	
昭和 54. 11. 16	清掃手数料（し尿、ごみ）改定について	
昭和 54. 11. 21	答申 清掃手数料の改定について	55. 4. 1 し尿及びごみ処理手数料を改定
昭和 55. 9. 16	清掃事業の概要について 清掃施設の現状及び視察	
昭和 55. 11. 21	清掃事業全般について	
昭和 56. 9. 17	清掃事業の概要について	
昭和 57. 11. 10	清掃事業の概要について 新焼却場の建設用地及び赤塚第二埋立用地について	
昭和 58. 9. 20	昭和 58 年度清掃関係主要事業について 新焼却場建設計画について	
昭和 59. 1. 31	諮問 清掃手数料（し尿、動物の死体）の改定について	
昭和 59. 2. 3	清掃手数料（し尿、動物の死体）の改定について	
昭和 59. 2. 14	答申 清掃手数料（し尿、動物の死体）	59. 4. 1 し尿及び動物の死体処理手数料を改定
昭和 59. 11. 22	乾電池等の収集処理について	
昭和 60. 9. 12	昭和 60 年度清掃関係主要事業について	
昭和 61. 6. 17	諮問 し尿処理施設の整備について	
昭和 61. 6. 26	し尿処理施設の視察	
昭和 61. 7. 9	し尿処理施設の整備について	
昭和 61. 8. 5	し尿処理施設の整備について	
昭和 61. 8. 19	答申 し尿処理施設の整備について	
昭和 62. 9. 8	清掃事業の課題及び昭和 62 年度清掃関係事業概要について	

開催日	審議事項	摘要	
昭和 62. 10. 19	諮問 清掃手数料（し尿、動物の死体）の改定について	63. 4. 1 し尿及び動物の死体処理手数料を改定	
昭和 62. 10. 30	清掃手数料（し尿、動物の死体）の改定について		
昭和 62. 11. 12	答申 清掃手数料（し尿、動物の死体）の改定について		
昭和 63. 7. 29	昭和 63 年度清掃関係主要事業について		
平成 1. 1. 25	昭和 63 年度清掃関係主要事業の実績報告について		
平成 1. 3. 30	平成元年度清掃関係主要事業について		
平成 1. 9. 11	昭和 63 年度及び平成元年度の清掃事業概要について		
平成 2. 1. 25	平成元年度清掃部主要事業実績について		
平成 2. 8. 20	平成 2 年度清掃事業概要について		
平成 3. 4. 25	平成 3 年度清掃事業概要について		
平成 4. 2. 5	諮問 清掃手数料（し尿、ごみ、動物の死体）の改定について	4. 4. 1 し尿処理手数料を改定 4. 10. 1 ごみ、動物の死体処理手数料を改定	
平成 4. 2. 12	清掃手数料（し尿、ごみ、動物の死体）の改定について （平成 4 年 2 月 17 日答申）		
平成 4. 5. 7	平成 4 年度清掃事業概要について		
平成 5. 9. 28	平成 5 年度清掃事業概要について		
平成 6. 7. 8	平成 6 年度清掃関係主要事業について		
平成 7. 3. 23	ごみ処理基本計画の概要について		
平成 7. 8. 30	ごみ処理基本計画について		
平成 8. 2. 14	諮問 新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正の基本的事項について		
平成 8. 2. 27	諮問事項討議		
平成 8. 3. 21	諮問事項討議		
平成 8. 3. 29	諮問事項討議	8. 7. 2 条例全面改正	
平成 8. 4. 16	答申案について討議		
平成 8. 4. 30	答申 新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例改正の基本的事項について		
平成 9. 11. 19	平成 9 年度清掃事業概要について		
平成 10. 12. 2	平成 10 年度清掃事業概要について		
平成 11. 9. 28	平成 11 年度清掃事業概要について		
平成 11. 10. 26	諮問 清掃手数料（し尿、ごみ）の改定について		
平成 11. 11. 2	清掃手数料（し尿、ごみ）の改定について		
平成 11. 11. 8	清掃手数料（し尿、ごみ）の改定について （平成 11 年 11 月 10 日答申）		
平成 12. 11. 29	平成 12 年度清掃事業概要について		
平成 13. 10. 15	平成 13 年度清掃事業概要について	12. 4. 1 し尿及びごみ手数料を改定（ごみ処理手数料従量制を実施）	
平成 13. 10. 23	諮問 清掃手数料（ごみ）の改定について		
平成 13. 10. 30	清掃手数料（ごみ）の改定について （平成 13 年 11 月 2 日答申）		
平成 14. 11. 26	平成 14 年度清掃事業概要について		
平成 15. 6. 13	市民委員の公募について		
平成 15. 10. 8	諮問 清掃手数料（ごみ）の改定について		
			14. 4. 1 ごみ処理手数料を改定

開催日	審議事項	摘要
平成 15. 10. 21	清掃手数料（ごみ）の改定について	16. 4. 1 ごみ処理 手数料を改定
平成 15. 10. 28	清掃手数料（ごみ）の改定について （平成 15 年 10 月 31 日答申）	
平成 15. 12. 1	一般廃棄物処理基本計画について	
平成 16. 1. 13	一般廃棄物処理基本計画について	
平成 16. 1. 28	一般廃棄物処理基本計画について	
平成 16. 2. 4	委員研修会	
平成 16. 3. 24	一般廃棄物処理基本計画について	
平成 17. 3. 15	1 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況について 2 家庭系古紙リサイクルの推進について 3 事業系古紙リサイクルの推進について 4 合併市町村の状況について 5 新焼却場焼却方式の選定について	
平成 17. 10. 18	諮問 政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 17. 11. 8	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 17. 11. 24	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について （ごみ処理施設視察）	
平成 17. 12. 20	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 1. 12	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 2. 7	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 2. 15	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 3. 28	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 4. 26	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 5. 16	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 6. 1	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 6. 12	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 11. 17	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 18. 12. 19	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 19. 1. 16	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 19. 1. 31	政令市移行後のごみ減量施策のあり方について （平成 19 年 2 月 16 日答申）	
平成 19. 4. 11	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について	20. 6. 1 全市制度 統一・ごみ処理手 数料を改定
平成 19. 5. 23	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について 政令市移行後のごみ減量施策のあり方について	
平成 19. 10. 31	新ごみ減量制度について	
平成 21. 3. 26	新ごみ減量制度の経過報告について	
平成 21. 11. 18	新ごみ減量制度の実施状況について	
平成 22. 10. 15	ごみを施設等に搬入した場合の処理手数料の改定につ いて（諮問）	
平成 22. 10. 29	ごみを施設等に搬入した場合の処理手数料の改定につ いて（答申）	
平成 23. 5. 23	諮問 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定について	
平成 23. 6. 8	諮問事項討議	
平成 23. 7. 20	諮問事項討議	
平成 23. 8. 24	諮問事項討議	
		ごみ処理手数料 は現行維持とし た

開催日	審議事項	摘要
平成 23. 9. 27	答申 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の改定について	24. 2. 24 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を全面改定し告示
平成 23. 11. 7	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(素案)について	
平成 24. 1. 31	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)について	
平成 24. 10. 3	新しい一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づく施策の進捗状況について	
平成 24. 10. 31	ごみ処理施設の見学(新田清掃センター、赤塚第4埋立処分地)の見学	
平成 25. 7. 31	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づく施策の進捗状況及び焼却飛灰中の水銀・鉛の基準値超過について 諮問 ごみを処理施設に搬入した場合の処理手数料の改定について	
平成 25. 8. 28	答申 ごみを処理施設に搬入した場合の処理手数料の改定について	
平成 25. 10. 16	事業系ごみ ごみ減量・リサイクルガイドラインの改定について	
平成 26. 5. 14	ごみ処理手数料収入による市民還元事業について	
平成 26. 6. 5	市民還元事業検証による評価の報告について	
平成 26. 7. 3	し尿・浄化槽汚泥収集の現状と課題について	
平成 26. 8. 4	市民還元事業検証に関するとりまとめについて	
平成 26. 9. 4	諮問 し尿・浄化槽汚泥収集の今後のあり方について	
平成 26. 11. 26	答申 し尿・浄化槽汚泥収集の今後のあり方について	

4 安全衛生等

(1) 安全衛生委員会等の設置

清掃センター作業に従事する職員の安全の確保と健康の保持増進を図ることを目的に、昭和 59 年 7 月 1 日新潟市職員安全衛生要綱に基づき、「清掃センター安全衛生委員会」が設置され、平成 13 年 4 月 1 日には、各清掃センターの安全衛生委員会が分離独立した。また、各センター等の調整、協議のため「清掃センター総括安全衛生会議」が設置された。

① 活動内容

- ア ごみ収集及びし尿処理についての作業方法、作業環境基準作成の検討
- イ ごみ収集運転手、作業員を対象に警察署職員を講師に交通安全についての研修会実施
- ウ 内部職員を講師に、ごみ収集作業の安全とし尿処理作業の安全について研修会実施

② 委員 ～計 28 人

- ア 議長（環境部長）
- イ 副議長（廃棄物施設課長）
- ウ 統括安全衛生管理者（4 人）
（新田・亀田・舞平清掃センター所長、清掃事務所長）
- エ 関係所属長（3 人）
（廃棄物対策課長、巻清掃センター所長、新津クリーンセンター所長）
- オ 産業医（3 人）
- カ 安全管理者（3 人）、衛生推進者（1 人）
- キ 職員労働組合推薦委員（12 人）

(2) 自動車事故防止対策

安全運転管理者、整備担当者を清掃事務所に置き、安全運転に必要な業務、車両検査、点検整備を行い、自動車事故防止に努めている。

(3) 健康管理

定期健康診断のほか、精密健康診断としてごみ焼却・埋立業務従事職員を対象に年 1 回じん肺の健康診断を実施している。

(4) 福利厚生

清掃作業員の健康管理、清潔の保持等現業職員の職場環境の向上には常に努力しており、福利厚生施設として各清掃センターには次の施設もある。

- 作業員詰所
- 洗面、洗身設備
- 洗濯場

5 廃止及び休止清掃施設

(1) 焼却施設

施設名	東清掃工場ごみ焼却場	15t焼却場 旧白根衛生センター組合施設	西清掃センターごみ焼却場
所在地	新潟市東区下木戸3-4-1 (現東処理センター内)	新潟市南区臼井2135-1 (現白根環境事業所内)	新潟市西区小新2028-1 (現清掃事務所内)
敷地面積	20,762 m ²	6,442 m ²	—
方式・能力	バッチ燃焼式 100t/日	固定バッチ燃焼式 15t/8h	ストーカ 300t/24h(150t/24h×2炉)
工期	S33. 4. 22 ~ S33. 11. 20	S42. 8. 22 ~ S43. 3. 31	S41. 10. 6 ~ S44. 3. 31
施工会社	三機工業(株)	進弘企業(株)	新潟ジンプロ(有)
建設費	58,774 千円	22,313 千円	307,479 千円
国庫補助	0 千円	2,000 千円	4,000 千円
起債	20,000 千円	14,000 千円	218,000 千円
一般財源	38,774 千円	6,313 千円	85,479 千円
廃止・休止 解体年月	廃止 S50. 12. 30 解体 S53. 8. 14	廃止 S59. 9. 5 解体 H8. 12. 6	廃止 S61. 8. 8 解体 S62. 10. 1
解体費	27,000 千円	14,832 千円	57,700 千円
備考	用地費7,671千円		
施設名	45t焼却場 旧白根衛生センター組合施設	清掃センター第一工場 旧新津市施設	亀田焼却場 旧新潟地区広域清掃事務組合施設
所在地	新潟市南区臼井2135-1 (現白根環境事業所内)	新潟市秋葉区古田ノ内大野開 135	新潟市江南区亀田1835-1 (現亀田清掃センター内)
敷地面積	15t焼却場と同一敷地	5,671 m ²	6,906 m ²
方式・能力	機械バッチ燃焼式 45t/8h	機械バッチ燃焼式 40t/8h	ストーカ 390t/24h(130t/24h×3炉)
工期	S46. 12. 28 ~ S47. 9. 30	S48. 10. 20 ~ S49. 7. 31	S48. 12. 5 ~ S50. 11. 30
施工会社	三機工業(株)	守住工業(株)	日本鋼管(株)
建設費	147,230 千円	144,700 千円	4,182,643 千円
国庫補助	8,775 千円	25,560 千円	286,383 千円
起債	101,200 千円	91,100 千円	3,180,500 千円
一般財源	37,255 千円	28,040 千円	715,760 千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H7. 3. 31 解体 H10. 12. 18	廃止 H7. 12. 8 解体 ———	廃止 H9. 3. 31 解体 H12. 3. 24
解体費	27,510 千円	—	323,843 千円
備考			
施設名	鎧潟清掃工場 旧巻町外三ヶ町村衛生組合施設	新田清掃センター焼却施設	白根グリーンタワー (焼却施設)
所在地	新潟市西蒲区鎧潟12618 (現巻清掃センター内)	新潟市西区笠木3644-1 (現新田清掃センター内)	新潟市南区臼井2135-1 (現白根環境事業所内)
敷地面積	22,678 m ²	52,436 m ²	34,405 m ²
方式・能力	ストーカ 120t/16h(60t/16h×2炉)	流動床 360t/24h(120t/24h×3炉)	ストーカ 150t/24h(75t/24h×2炉)
工期	S55. 9. 1 ~ S57. 3. 31	S58. 10. 12 ~ S61. 10. 31	H3. 12. 5 ~ H6. 10. 31
施工会社	荏原インフェルコ(株)	(株)荏原製作所	(株)クボタ
建設費	2,084,177 千円	6,459,845 千円	3,693,325 千円
国庫補助	920,385 千円	2,754,000 千円	727,273 千円
起債	956,000 千円	3,090,440 千円	2,547,500 千円
一般財源	207,792 千円	615,405 千円	418,552 千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H14. 3. 20 解体 H18. 3. 20	廃止 H24. 3. 31 解体 H27. 3. 9	廃止 H24. 3. 31 解体 ———
解体費	357,000 千円	431,471 千円	—
備考	粗大ごみ処理施設 (剪断, 破砕)含む		廃止は焼却設備のみ

(2) 中間処理施設（破碎・選別等）

施設名	西清掃工場コンポストプラント	粗大ごみ処理施設 旧新潟地区広域清掃事務組合施設	高分子系廃棄物減容化施設 旧亀田町施設
所在地	新潟市西区小新2028-1 (現清掃事務所内)	新潟市江南区亀田1835-1 (現亀田清掃センター内)	新潟市江南区亀田1870番地1 (現亀田一般廃棄物処理場内)
敷地面積	—	—	3,455 m ²
方式・能力	デンマーク・ダノ式 50t/日	垂直型ハンマ式 75t/5h	圧縮+ホットバインド方式 5t/5h
工期	S39.12.21 ~ S40.10.18	S49.10.17 ~ S50.10.30	H1. 8.21 ~ H2. 3.20
施工会社	東洋コンポスト(株)	極東開発工業(株)	富士電機総設(株)
建設費	108,783 千円	401,450 千円	197,000 千円
国庫補助 起債	0 千円	21,600 千円	0 千円
一般財源	52,000 千円	303,400 千円	157,600 千円
解体費	56,783 千円	76,450 千円	39,400 千円
廃止・休止 解体年月	休止 S51. 3.31 解体 S63. 1.30	廃止 H9. 3.31 解体 H10. 11.30	廃止 H13. 3.31 解体 H13. 10.15
解体費	33,800 千円	59,169 千円	8,925 千円
備考			建屋は現減容化施設に利用

施設名	小平方減容化処理施設	亀田一般廃棄物処理場 (減容化施設)
所在地	新潟市西区小平方548番地1 (小平方埋立処分地敷地内)	新潟市江南区亀田1870番地1 (現亀田一般廃棄物処理場内)
敷地面積	587.91 m ² (建物面積)	3,455 m ²
方式・能力	2軸スクリーによる押出成形 6t/5h	手選別+圧縮梱包 (プラスチック類) 4.5t/5h
工期	H10. 9.20 ~ H11. 3. 8	H13. 6.22 ~ H14. 2. 1
施工会社	三菱マテリアル(株)	施設工業(株)
建設費	277,029 千円	113,400 千円
国庫補助 起債	0 千円	0 千円
一般財源	213,500 千円	77,500 千円
解体費	63,529 千円	35,900 千円
廃止・休止 解体年月	休止 H19. 4. 1 解体 —	休止 H20. 6. 1 解体 —
解体費	—	—
備考		

(3) し尿処理施設

施設名	船見町し尿処理場	東清掃センター 湿式酸化処理施設	巻町外三ヶ町村衛生センター 旧巻町外三ヶ町村衛生組合施設
所在地	新潟市中央区船見町1-3980	新潟市東区下木戸3-4-1 (現東処理センター内)	新潟市西蒲区福井字宮前79番地 (現巻処理センター内)
敷地面積	1,600 m ²	——	6,631 m ²
方式・能力	加湿消化式 36k1/日	湿式酸化方式(1次処理のみ) 200k1/日	嫌気性消化処理方式 72k1/日
工期	S30. 2. 1 ~ S32. 1. 30	S44. 10. 15 ~ S46. 3. 20	新設S39. 8. 1 ~ S41. 3. 31 増設S49. 10. 1 ~ S50. 11. 6
施工会社	三機工業(株)	新潟ジンプロ(有)	新設 三機工業(株) 増設 富士建設工業(株)
建設費	29,925千円	410,163千円	71,419千円 295,153千円
国庫補助 起債	7,002千円 8,000千円	84,400千円 243,200千円	15,835千円 44,062千円
一般財源	14,923千円	82,563千円	
廃止・休止 解体年月	廃止 S55. 3. 31 解体 S55. 8. 30	廃止 S62. 3. 31 解体 H6. 1. 14	廃止 解体 H3. 3. 28
解体費	9,700千円	51,500千円	38,110千円
備考			S50に36k1増設 36k1→72k1
施設名	白根し尿処理場 旧白根衛生センター組合施設	東清掃センターし尿処理施設	西清掃センターし尿処理施設
所在地	新潟市南区白井2135-1 (現白根環境事業所内)	新潟市東区下木戸3-4-2 (現資源再生センター内)	新潟市西区小新2028-1 (現清掃事務所内)
敷地面積	4,862 m ²	——	——
方式・能力	高速化学処理方式 84k1/日	加温消化方式+活性汚泥法 162k1/日	加温消化方式 +下水道放流 100k1/日
工期	新設S39. 9. 2 ~ S40. 11. 30 増設S49. 8. 14 ~ S50. 8. 31	S34. 10. 25 ~ S36. 11. 20	S39. 12. 21 ~ S41. 3. 31
施工会社	大原鉄工所(株)	(株)新潟鐵工所	荏原インフェルコ(株)
建設費	101,086千円 137,981千円	141,806千円	214,844千円
国庫補助 起債	18,603千円 39,256千円 31,000千円 78,700千円	30,811千円 64,000千円	34,485千円 107,200千円
一般財源	51,483千円 20,025千円	46,995千円	73,159千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H3. 2. 1 解体 H3. 3. 21	廃止 H4. 3. 31 解体 H5. 9. 29	廃止 H12. 3. 31 解体 H14. 3. 29
解体費	16,995千円	193,753千円	78,063千円
備考	S50に30k1増設 54k1→84k1		下水道放流H5. 11. 1~
施設名	舞平処理場 旧新潟地区広域清掃事務所組合施設	東清掃センター 浄化槽汚泥処理施設	環境センター(第一期) 旧新津市施設
所在地	新潟市江南区平賀161-1 (現舞平清掃センター内)	新潟市東区下木戸3-4-1 (現東処理センター内)	新潟市秋葉区古田ノ内大野開 93
敷地面積	37,581 m ²	——	7,942 m ²
方式・能力	重力沈降濃縮分離方式+加温消 化方式+活性汚泥法 200k1/日	重力沈降濃縮分離方式 +活性汚泥法 220k1/日	加温式多段嫌気性消化方式 36k1/日
工期	新設S47. 1. 25 ~ S48. 3. 20 改造H2. 7. 23 ~ H3. 3. 20	S54. 7. 13 ~ S55. 3. 31	S37. 10. 25 ~ S38. 12. 31
施工会社	安宅建設工業(株) アタカ工業(株)	山田工業(株), 新潟ジンプロ(有)	(株)荏原製作所
建設費	972,404千円 564,440千円	485,300千円	58,739千円
国庫補助 起債	93,000千円 0千円 608,100千円 398,100千円	70,000千円 321,700千円	14,953千円 21,500千円
一般財源	271,304千円 166,340千円	93,600千円	22,286千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H14. 11. 21 解体 H15. 10. 15	廃止 H14. 3. 31 解体 ——	廃止 H16. 3. 31 解体 ——
解体費	83,024千円	——	——
備考	H3に浄化槽汚泥対応改造 し尿200k1→し尿100k1+浄化槽	除渣希釈後下水道投入中 H14. 4. 1~	県新津浄化センター投入中 H16. 1. 15~

施設名	環境センター(第二期) 旧新津市施設	環境センター(第三期) 旧新津市施設	巻し尿処理場
所在地	新潟市秋葉区古田ノ内大野開 93	新潟市秋葉区古田ノ内大野開 93	新潟市西蒲区福井79番地 (現巻処理センター内)
敷地面積	第一期と同一敷地	第一期と同一敷地	12,138 m ²
方式・能力	守住式し尿処理装置 消化処理方式 35kl/日	加温式多段嫌気性消化方式 20kl/日	低希釈二段活性汚泥処理 +高度処理 100kl/日
工期	S43.11.05 ~ S44.11.24	S51.10.7 ~ S53.2.28	S59.1.21 ~ S60.12.24
施工会社	守住工業(株)	アタカ工業(株)	久保田鉄工(株)
建設費	59,850 千円	230,558 千円	1,062,369 千円
国庫補助 起債	17,900 千円	46,842 千円	415,470 千円
一般財源	33,140 千円	178,100 千円	523,100 千円
	8,810 千円	5,616 千円	123,799 千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H16.3.31 解体 _____	廃止 H16.3.31 解体 _____	廃止 H24.3.31 解体 _____
解体費	_____	_____	_____
備考	県新津浄化センター投入中 H16.1.15~	県新津浄化センター投入中 H16.1.15~	

施設名	白根し尿処理場
所在地	新潟市南区臼井2135-1 (現白根環境事業所内)
敷地面積	3,450 m ²
方式・能力	攪拌遠心分離式高負荷処理 +高度処理 100kl/日
工期	S59.2.9 ~ S61.3.25
施工会社	荅原インフェルコ(株)
建設費	1,271,723 千円
国庫補助 起債	549,125 千円
一般財源	666,100 千円
	56,498 千円
廃止・休止 解体年月	廃止 H24.8.3 解体 _____
解体費	_____
備考	

(4) 埋立処分地

施設名 設置場所	敷地面積 用地費	埋立面積 埋立容量	埋立期間	備考
鳥屋野潟周辺	借地		-S34	
寄居浜	借地		S34-S34	
上沼	借地		S35-S35	
船江町	借地		S36-S36	
小針	借地		S37-S41.8	
姥ヶ山	借地		S39-S41.3	
須賀	借地		S41.9-S42.7	
五十嵐浜	借地		S42.8-S42.11	
			S43.4-S43.10	
坂井	借地		S42.12-S43.3	
小新	借地		S43.11-S44.4	
紫竹	借地		S44.5-S44.6	

施設名 設置場所	敷地面積 用地費	埋立面積 埋立容量	埋立期間	備考
三枚潟	借地		S44. 3-S45. 4	
一日市	借地		S44. 7-S44. 9	
女池	借地		S44. 7-S44. 9	
中権寺	借地		S44.10-S45. 3	
上新栄町	借地		S45. 4-S46.10	
青山海岸	借地		S45. 8-S45. 9	
山二ツ	借地		S46. 9-S47. 3	
長潟 中央区長潟626-4他	27,969 m ² 88,755千円		S46.11 ~S48. 6	造成 13,750千円
黒埼北場 (旧黒埼町施設) 西区北場586-1	借地	5,610 m ²	S46.11 ~S58. 3	終了廃止S58. 3
鶯の子	48,738m ² 借地		S48. 6 ~S50. 2	造成 18,266千円
岩室 (旧岩室村施設) 西蒲区和納6644-1		6,503 m ²	S48.10 ~S57. 2	終了廃止S58. 3
津島屋 東区津島屋6	33,907 m ² 246,305千円		S48.12 ~S51. 3	造成 31,410千円
内沼沖 (旧豊栄市施設) 北区大月丙611-1	借地	40,432 m ² 80,432 m ³	S49. 3 ~H4. 3	終了廃止H7.3
第1赤塚 西区赤塚181	110,951 m ² 525,041千円	94,000 m ² 564,000 m ³	S50. 4 ~S60. 3	破碎 197,698千円 川田工業(株) 破碎 30t/5h、切断 18t/5h 焼却 44,720千円 富士建設工業(株) バッチ式 10t/日 水処理 136,181千円 三機工業(株) 活性汚泥方式 1,000m ³ /日
松郷屋埋立処分地 (旧巻町外三ヶ町村衛 生組合施設) 西蒲区松郷屋320	借地	4,207 m ² 10,510 m ³	S52 ~S57. 7	終了廃止 S57. 7.15
第1濁川 北区濁川3947-1他	33,083 m ² 286,500千円		S52. 5 ~S55. 1	造成 21,474千円 水処理 5,811千円
八反田不燃ごみ埋立地 (旧亀田町施設) 中央区鶯ノ子820	5,720 m ²	5,680 m ² 5,680 m ³	S53. 6 ~S57. 8	造成 4,429千円 古泉組(株) 終了廃止 S57. 8
白根第1 (旧白根衛生センター組合 施設) 南区白井2135-1	6,471 m ² 26,561千円	6,400 m ² 29,600 m ³	S53.12 ~S63. 3	造成 48,560千円 安達建設興業(株) 水処理 199,037千円 大原鉄工所(株) 活性汚泥+沈殿 131m ³ /日 【財源内訳】 補112,055千円、起131,099千円、一 般4,443千円 S57嵩上げ工事4,555千円 終了S63. 3.31, 廃止H17. 3.18
茗荷谷	26,247 m ² 借地		S55. 2 ~S56. 9	水処理 45,000千円 (株)ナカムラ 活性汚泥方式 360m ³ /日、工期S54.12~S55. 3 廃止H10. 5. 7

新潟市清掃事業概要

施設名 設置場所	敷地面積 用地費	埋立面積 埋立容量	埋立期間	備考
舞平焼却灰処分場 (旧新潟地区広域清掃 事務組合施設) 江南区平賀259-1	17,800 m ²	12,000 m ² 67,200 m ³	S55.12 ～H2.11	造成 丸連建設(株)、水処理 新明和工業(株)、工期 S55.1～S63.12 【財源内訳】補11,186千円、起29,700千円、一般 117,220千円 終了H2.11.15 廃止 -
横越第1 (旧横越町施設) 江南区駒込662-1	11,875 m ²	8,647 m ² 25,941 m ³	S56.4 ～H8.12	造成 4,254千円 (株)遠藤組 終了廃止H8.12.16
第1次市之瀬 (旧新津市施設) 秋葉区市之瀬746	11,798 m ²	9,641 m ² 34,775 m ³	S56.4 ～H1.6	造成 石川組・松本組JV、水処理 ユニチカ(株) 活性 汚泥+凝集沈殿 30m ³ /日 【財源内訳】補40,646千円、起97,600千円、一般 32,635千円 終了H1.6 廃止H19.3.9
鑑潟埋立処分地 (旧巻町外三ヶ町村衛生組 合施設) 西蒲区鑑潟11973		8,798 m ² 22,000 m ³	S56.5 ～S58.9	終了廃止 S58.9.30
亀田第1(1・2期) (旧亀田町施設) 江南区亀田1870-1	8,230 m ²	37,000 m ³	S57.4 ～H5.3	造成 39,600千円 亀田建設(株)他 終了廃止H5.3.31
第2濁川 北区濁川681-1	56,798 m ² 527,505千円	46,865 m ² 170,000 m ³	S57.7 ～S62.8	造成 406,000千円 (株)加賀田組、水処理 94,600千 円 オルガノ(株) 接触酸化方式 250m ³ /日 管理棟 5,825千円、その他 34,961千円 【財源内訳】補253,212千円、起235,600千円、一 般52,574千円 廃止H10.5.21
第1小平方 西区小平方548	28,995 m ² 第1、2減容施設 合わせて 251,950千円	7,325 m ² 24,700 m ³	S59.4 ～H14.6	造成工事 112,000千円 加賀田・笠井JV 水処理 35,800千円 富士電気総設(株) 接触酸化方式 30m ³ /日 水道管布設 5,550千円 (有)鈴木配管工業 【財源内訳】補67,542千円、起77,500千円、一般 8,308千円 H6嵩上げ工事 47,897千円 (株)笠井組 終了H19.9.19 廃止H22.3.23
第2赤塚 西区赤塚181	118,974 m ² 991,779千円	103,000 m ² 805,000 m ³	S60.4 ～H11.3	造成費 146,250千円 水処理施設第1赤塚建設時整備 終了H16.8.11 廃止H18.3.20
白根第2 南区白井2135-1	6,669 m ² 57,133千円	6,448 m ² 21,613 m ³	S62.4 ～H14.3	造成工事 97,150千円 安達建設興業(株) 水処理施設は第1と共用 【財源内訳】補34,273千円、起50,067千円、一般 12,810千円 終了H18.7.10 廃止H25.5.28
太夫浜(第1期) 北区太夫浜4020-4	54,352 m ² 1期、2期合わせ て 888,116千円	39,114 m ² 198,438 m ³	S62.8 ～H5.6	造成 373,201千円 第一建設工業(株) 水処理 155,000千円 荏原インフィルコ(株) 接触酸化 方式 200m ³ /日、橋梁工事 30,239千円 (株)皆川組、 管理棟 5,175千円、その他 36,502千円 【財源内訳】補282,167千円、起225,700千円、一 般92,250千円 終了H6.4.15 廃止H10.5.14
舞平残渣処分場 (旧新潟地区広域清掃 事務組合施設) 江南区平賀157	2,048 m ²	1,765 m ² 1,631 m ³	H1.1 ～H13.7	造成 (株)櫛谷組、水処理 アタカ工業(株) 凝集沈殿 【財源内訳】起33,200千円、一般4,784千円 終了H13.7.27 廃止H15.6.13

施設名 設置場所	敷地面積 用地費	埋立面積 埋立容量	埋立期間	備考
第2次市之瀬 秋葉区市之瀬746	12,154 m ²	11,000 m ² 32,788 m ³	H1. 7 ～H16. 3	造成 石川組・松本組・昆建設JV、水処理 ユニチカ(株) 活性汚泥＋凝集沈殿 56m ³ /日 【財源内訳】 補24,048千円、起64,000千円、一般21,462千円 終了H18. 3.31 廃止H19. 3.12
太夫浜(第2期) 北区太夫浜4020-4	44,978 m ² 1期、2期合わせて 888,116千円	38,417 m ² 213,900 m ³	H5. 7 ～H13. 8	造成 427,986千円 第一建設工業(株) 水処理 246,268千円 荏原インフィルコ(株) 接触酸化＋凝集沈殿 180m ³ /日 【財源内訳】 補224,564千円、起359,600千円、一般90,090千円 終了H16. 3.19 廃止H18. 5.19
亀田第2 江南区亀田1870-1	11,000 m ² 345,270千円	9,338 m ² 36,800 m ³	H05.12 ～H18. 6	造成353,805千円 (株)加賀田組、水処理252,350千円 荏原インフィルコ(株) 接触酸化＋凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭 90m ³ /日、施工監理10,887千円 【財源内訳】 補204,932千円、起332,300千円、一般79,810千円 終了H22. 7.21 廃止H24.12. 6
第2小平方 西区小平方548番地1	28,995 m ² 第1、2減容施設 合わせて 251,950千円	5,200 m ² 19,300 m ³	H10. 4 ～H19. 3	造成346,500千円 加賀田・新潟廣瀬組JV、水処理318,906千円 アタカ工業(株) 接触酸化＋凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭 37m ³ /日、施工監理13,186千円 (株)総合エンジニアリング 【財源内訳】 補265,250千円、起392,400千円、一般20,942千円 終了H19. 9.19 廃止H22. 3.23
横越第2 江南区うぐいす2-1-1	19,752 m ² 79,597千円	7,845 m ² 17,594 m ³	H8.12 ～H20. 3	造成 484,100千円 田中・大橋・高木JV、水処理247,200千円 日立プラント建設(株) 接触酸化＋凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭 21m ³ /日、事務費その他31,135千円 【財源内訳】 補263,156千円、起473,700千円、一般25,579千円 終了H21. 1.15 廃止H23.10.13
第三赤塚 西区赤塚181	103,107 m ² 1,495,521千円	82,343 m ² 267,355 m ³	H9. 9 ～H24. 3	造成 1,705,300千円 福田・本間・水倉・久住JV、水処理 772,500千円 荏原インフィルコ(株) 接触酸化＋凝集沈殿＋砂ろ過 380m ³ /日 【財源内訳】 補867,910千円、起968,000千円、一般641,890千円 終了H24.12.26 廃止H27.6.8
白根第3 南区白井2135-1	4,458 m ²	3,605 m ² 15,401 m ³	H14. 4 ～H23. 5	造成 203,995千円 安達・宮川・臼井JV、水処理155,400千円 東エンジニアリング(株) 活性汚泥＋沈殿＋膜処理＋活性炭 120m ³ /日、事務費その他19,103千円 【財源内訳】 補51,409千円、起310,500千円、一般16,589千円 終了H25. 4.22 廃止 —
亀田第3 江南区亀田1870-1	16,800 m ² 397,975千円	11,300 m ² 33,000 m ³	H18.6 ～H26. 5	造成 737,520千円 加賀田・亀田・小木JV、浸出水調整槽 141,645千円 第一・五十嵐・古泉JV、水処理施設 152,250千円 (株)荏原製作所 接触酸化＋凝集沈殿＋砂ろ過＋活性炭 45m ³ /日、事務費その他 47,967千円 【財源内訳】 補 219,544千円、起 735,900千円、一般 123,938千円 終了H26. 10.23 廃止 —

6 ごみ・し尿処理手数料の推移

(1) ごみ

区分	家庭系	事業系			自ら搬入する場合	動物の死体(個)		
		市に収集・運搬, 処分を依頼						
		1ヶ月(月額)	10kg~20kg(月額)	20kg~30kg(月額)				
昭和32年 6月	30~80円(月額)	110~680円				100円		
昭和36年 6月	20~70円(月額)	100~600円						
昭和46年 4月	10~35円(月額)							
昭和47年 6月	無料		2,300円	3,800円	搬入車両により 料金設定 (1~1.5t車)		1,200円	
昭和52年 4月			2,700円	4,500円			3,000円	
昭和55年 4月							4,000円	
昭和59年 4月								1,000円
昭和63年 4月							1,500円	
平成4年 10月			4,000円	6,700円			6,000円	2,200円
平成12年 4月			6,000円	10,100円	従量制 (10kgまでごと)		90円	
平成14年 4月			6,700円	11,200円			100円	
平成16年 4月			8,000円	13,400円			120円	
平成17年 3月								
平成20年 6月	指定袋による 有料化				従量制(10kgまでごと) 130円(事業系) 60円(家庭系)	2,200円		

※ 平成20年6月以前の手数料金額は合併市町村地域を含まない旧新潟市の区分による。

※ 平成17年3月21日および平成17年10月10日合併市町村地域(旧新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・岩室村・西川町・味方村・潟東村・月潟村・中之口村、巻町)では、合併後も旧市町村の処理手数料を継続し、平成20年6月に全市統一した。

※ 事業系収集は平成20年5月末に廃止した。

(2) し尿

区分	定額制	回数料	従量制			
	(1人・月)	月1回を超える場合 1回につき	14ℓ	18ℓ	27ℓ	36ℓ
昭和28年 1月				4円		8円
昭和29年 2月				6円		12円
昭和32年 2月			8円		15円	
昭和36年 1月			11円		21円	
昭和40年 4月				21円		
昭和44年 4月	50円	50円				
昭和47年 2月	70円	100円		30円		
昭和52年 4月	100円	140円		43円		
昭和55年 4月	140円	195円		60円		
昭和59年 4月	190円	265円		80円		
昭和63年 4月	240円	335円		100円		
平成4年 4月	320円	445円		135円		
平成12年 4月	370円	515円		155円		
平成17年 3月	370円	515円		155円		
平成21年 4月	370円	515円		155円		

※ 手数料金額は合併市町村地域を含まない旧新潟市の区分による。

※ 平成17年3月21日および平成17年10月10日合併市町村地域(旧新津市・白根市・豊栄市・小須戸町・横越町・亀田町・岩室村・西川町・味方村・潟東村・月潟村・中之口村、巻町)の従量制金額は、旧市町村の手数料から段階的に引き上げ、平成21年度に全市統一した。

7 組織の変遷

年	月	内 容
明治 22 年		庶務課衛生係として発足
大正 13 年		衛生課として独立（衛生係、清掃係）
昭和 28 年	12 月	部制を採用 厚生部衛生課となる。（庶務係、清掃第一係、清掃第二係）
昭和 33 年	1 月	新潟市保健所を分離し東保健所・西保健所とした。
昭和 34 年		衛生部とする。（衛生課、清掃課）
昭和 35 年	9 月	東清掃センター設置
昭和 41 年	4 月	西清掃センター設置
昭和 44 年	4 月	清掃課を清掃業務課と清掃施設課に分離し、東・西清掃センターを清掃事務所と清掃工場に分ける。
昭和 46 年	1 月	衛生部から清掃部門を分離し、清掃部を新設する。
昭和 57 年	4 月	清掃部を廃止し、保健環境部へ移管（組織は、清掃課・東清掃センター・西清掃センターとする。）
昭和 58 年		衛生課が環境対策課と保健衛生課に分離し、浄化槽対策部門は環境対策課に移る。
昭和 61 年	4 月	保健環境部から清掃部門を分離し、清掃部を新設するとともに、清掃課に浄化槽部門を移管し、浄化槽対策係を新設
	8 月	新田清掃センターが組織として独立
昭和 62 年	4 月	東・西清掃センターに、それぞれ太夫浜処分地管理事務所・赤塚処分地管理事務所を設置
昭和 63 年	4 月	東・西清掃センター組織改正（指導係を管理係に名称変更、清掃指導員を指導係から清掃係へ所属替え）
平成 2 年	4 月	保健環境部公害対策課より産業廃棄物部門を移管し、指導普及係を廃棄物対策係に名称変更
平成 3 年	4 月	清掃課廃棄物対策係を、ごみ対策係と産業廃棄物対策係に分ける。
平成 4 年	4 月	局制による組織改正により清掃部から市民局環境部（環境対策課、清掃課、東・西・新田清掃センターの 2 課 3 センター）に名称変更
平成 7 年	4 月	清掃課に減量推進室を新設
平成 8 年	4 月	浄化槽対策係が環境対策課へ移管
平成 12 年	4 月	西・新田清掃センター組織改正（西清掃センター施設係廃止、新田清掃センター施設係が施設第 1 係に変更、施設第 2 係新設）
平成 14 年	4 月	小平方埋立処分地を西清掃センター（赤塚処分地管理事務所）に移管
平成 15 年	4 月	清掃課に新焼却場建設準備室を新設

年	月	内 容
平成 17 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃課を廃棄物政策課(管理係・企画係・施設係・新焼却場建設準備室)と廃棄物対策課(業務係・適正処理推進係・産業廃棄物対策室・資源再生センター)の 2 課に分離 ○ 新潟地区広域清掃事務組合の解散に伴い、舞平清掃センター(管理係・施設係)・亀田清掃センター(管理係・環境対策係・施設係・運転係・太夫浜処分地管理事務所)を、白根地域広域事務組合の解散に伴い、白根環境事業所(環境企画係・事業推進・施設第 1 係・施設第 2 係)を新設 ○ 赤塚処分地管理事務所を新田清掃センターに、太夫浜処分地管理事務所を亀田清掃センターへ移管
	10 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻・新潟衛生組合の解散に伴い、巻清掃センター(管理係・施設第 1 係・施設第 2 係)を新設
平成 18 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物政策課新焼却場建設準備室を新焼却場建設室に変更
平成 19 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政令市へ移行とともに、部局制を廃止(市民局環境部から環境部へ) ○ 廃棄物政策課の施設部門を分離し、廃棄物施設課を新設(施設管理係、技術係、新焼却場建設係) ○ 資源再生センター・東清掃センター及び西清掃センターを廃棄物対策課の所管へ移す ○ 新田清掃センター・亀田清掃センター・白根環境事業所・巻清掃センター・新津クリーンセンター及び舞平清掃センターを廃棄物施設課の所管へ移す
平成 20 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東清掃センターを東清掃事務所に、また西清掃センターを西清掃事務所に変更 ○ 廃棄物施設課に東処理センターを設置(東清掃センター施設係を移管) ○ 廃棄物対策課美化推進係を新設し、適正処理推進係をリサイクル推進係に変更
平成 22 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新田清掃センター施設第 2 係を施設第 3 係に変更し、廃棄物処理施設(破碎施設を除く。)を運営する施設第 2 係を新設した ○ 東処理センターを舞平清掃センターの所管へ移す
平成 23 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新田清掃センター施設第 3 係を廃止し、第 1 係を焼却担当、第 2 係を破碎担当とし、第 2 係に資源再生センター(啓発部門除く)を附属した ○ 産業廃棄物対策室を廃棄物指導室に名称変更
平成 24 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物施設課新焼却場建設係を廃止 ○ 白根環境事業所を新田清掃センターの所管へ移す ○ 新津クリーンセンター施設第 2 係を廃止
平成 25 年	4 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東清掃事務所と西清掃事務所を統合し、清掃事務所とした。

8 廃棄物・リサイクルに関する法改正

公布年	月	内 容
明治 33 年	3 月	汚物掃除法公布(汚物処理に関する最初の法律。汚物(し尿、ごみ)を行政サービスとして市、特定の町村が処理、明治 33 年 4 月施行)
昭和 5 年	5 月	汚物掃除法改定(市町村に対するし尿の収集・処分の義務化)
昭和 29 年	4 月	清掃法公布(汚物掃除法が廃止され、し尿浄化槽の維持管理基準が規定される、昭和 29 年 7 月施行)
昭和 38 年	12 月	生活環境施設整備緊急措置法公布、施行(5 か年計画の策定、汚水・し尿およびごみ処理整備の緊急かつ計画的な整備を行う)
昭和 43 年	5 月	清掃施設整備緊急措置法公布、施行(第 2 次 5 か年計画の策定、清掃施設の緊急かつ計画的な整備を促進する)
昭和 45 年	12 月	廃棄物の処理および清掃に関する法律(廃棄物処理法)公布(清掃法を改定、昭和 46 年 9 月施行)
昭和 47 年	6 月	廃棄物処理施設整備緊急措置法公布、施行(廃棄物処理施設整備計画の策定、清掃施設整備緊急措置法廃止)
昭和 51 年	6 月	廃棄物処理法及び廃棄物処理施設整備緊急措置法の一部改正(施設設置の届け出義務)
昭和 53 年	8 月	廃棄物処理法に基づく省令の一部改正が施行
昭和 56 年	6 月	廃棄物処理施設整備緊急措置法改正、施行
昭和 58 年	5 月	浄化槽法公布(廃棄物処理法から浄化槽関係が分離、昭和 60 年 10 月施行)
昭和 61 年	4 月	廃棄物処理施設整備緊急措置法改正、施行
平成 3 年	4 月	再生資源の利用の促進に関する法律(再生資源利用促進法)公布(平成 3 年 10 月施行)
	10 月	廃棄物処理法及び同法に基づく政省令の一部改正(発生抑制・分別・リサイクルの位置づけ明示。平成 4 年 7 月施行)
平成 4 年	5 月	産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律公布(平成 4 年 9 月施行)
	12 月	廃棄物処理法の一部改正(廃棄物の輸出入規制) 特定有害廃棄物の輸出入の規制に関する法律(バーゼル法)公布、施行
平成 5 年	11 月	環境基本法公布、施行
平成 6 年	3 月	廃棄物処理法施行規則の一部改正(平成 6 年 4 月施行、一部平成 7 年 3 月施行)
平成 7 年	6 月	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)公布(平成 9 年 4 月再商品化義務規定部分施行、平成 12 年 4 月全面施行)
平成 8 年	6 月	廃棄物処理設備緊急措置法改正
平成 9 年	6 月	廃棄物処理法一部改正(焼却施設及び最終処分場の許可基準の見直し等、平成 9 年 12 月施行)(一廃処理業の許可更新時期等、平成 10 年 4 月施行、施設の設置手続き等、平成 10 年 6 月施行)
平成 10 年	6 月	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)公布 (平成 10 年 12 月 1 次施行、平成 13 年 4 月実施)
平成 11 年	7 月	ダイオキシン類対策特別措置法(ダイオキシン特措法)公布(平成 12 年 1 月施行)
平成 12 年	5 月	国等による環境物品の調達の推進に関する法律(グリーン購入法)公布(平成 13 年 4 月施行)
		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)公布(平成 14 年 5 月施行)
	6 月	循環型社会形成推進基本法公布(平成 12 年 6 月一部施行、平成 13 年 1 月全面施行)
		廃棄物処理法の一部改正(産廃のマニフェスト制度の強化等、平成 13 年 4 月施行)
		資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)公布(再生資源利用促進法を改正、リサイクルの強化、廃棄物の発生抑制等、平成 13 年 4 月施行)
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)公布(平成 13 年 5 月施行)		
浄化槽法の一部改正(平成 13 年 4 月施行)		
平成 13 年	6 月	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB 特措法)公布(平成 13 年 7 月施行)
		浄化槽法の一部改正(単独処理浄化槽の新設禁止、平成 13 年 10 月施行)

新潟市清掃事業概要

年	月	内 容
平成 14 年	7 月	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)公布(平成 17 年 1 月施行)
平成 15 年	6 月	特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法(産廃特措法)公布、施行
		廃棄物処理法の一部改正公布、施行(不法投棄の未然防止等の措置、リサイクルの促進等の措置、廃棄物処理施設整備緊急措置法廃止)
平成 16 年	1 月	家電リサイクル法施行令の一部改正(平成 16 年 4 月施行)
	4 月	廃棄物処理法の一部改正公布(指定有害廃棄物及び事故時の措置を届け出なければならない特定処理施設に関する部分、平成 16 年 10 月施行、廃棄物が地下にある土地の形質の変更の届出に関する部分、平成 17 年 4 月施行)
平成 17 年	5 月	廃棄物処理法の一部改正(不法投棄、無確認輸出等に関する罰則強化等、平成 17 年 10 月施行、一部平成 18 年 4 月施行)
		浄化槽法の一部改正(平成 18 年 2 月施行)
平成 18 年	2 月	廃棄物処理法の一部改正(アスベスト廃棄物の無害化処理促進等)
	6 月	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律の一部改正(平成 19 年 4 月施行)
平成 19 年	6 月	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)の一部改正(食品小売業、外食産業に害する指導監督の強化と再生利用の円滑化措置等、平成 19 年 12 月施行)
	9 月	廃棄物処理法施行令の一部改正(産業廃棄物である「木くず」の範囲変更)
平成 20 年	12 月	家電リサイクル法施行令の一部改正(液晶・プラズマ式テレビ、衣類乾燥機の追加等)(平成 21 年 4 月施行)
平成 21 年	11 月	廃棄物処理法施行規則の一部改正(微量 PCB 汚染廃電子機器等を無害化処理に係る特例の対象に追加)
平成 22 年	5 月	廃棄物処理法の一部改正公布(廃棄物を排出する事業者による適正な処理を確保するための対策の強化、廃棄物処理施設の維持管理対策の強化、廃棄物処理業の優良化の推進、排出抑制の徹底、適正な循環的利用の確保、焼却時の熱利用の促進)(平成 23 年 4 月施行)
平成 23 年	8 月	東日本大震災により生じた災害廃棄物の処理に関する特別措置法の公布・施行(災害廃棄物に係る仮置場及び最終処分場の早急な確保のための広域的協力の要請等、再生利用の推進等、災害廃棄物処理に係る契約の内容に関する統一的指針の策定等、アスベストによる健康被害の防止等、海に流出した災害廃棄物の処理指針の策定とその早期処理等、津波堆積物等の災害廃棄物に係る感染症・悪臭の発生の予防・防止等)
平成 24 年	8 月	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の公布(小型家電リサイクル法)
平成 25 年	4 月	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律の施行(小型家電リサイクル法)
平成 27 年	7 月	廃棄物処理法の一部改正(都道府県廃棄物処理計画に規定する事項の追加、市町村による非常災害に係る一般廃棄物処理施設の届出の特例、非常災害時における一般廃棄物の収集・運搬・処分等の委託の基準等の改正など)

9 清掃事業の沿革

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
明治22年	○4月 新潟市施行 (面積 12.22 km ² ・ 人口 43,911 人)		
明治23年		○天秤収集を手車収集に変更し、特選請負を競争請負入札に改める	
明治27年		○ごみ処理を市営事業(請負制)とする。処理方法は、信濃川洲での露天焼却、ついで、海岸投棄、池沼等の埋め立てへと移行	
明治33年		○掃除監視吏員7人をおく	
明治34年			○し尿汲取業者取締規則(県令)が発布され、業者は警察に届け出ることになり、ここに、はじめてし尿の衛生的取り締まりの統制を見る
明治42年		○野天焼却を廃し、砂防造林施行地に散布	
明治43年		○請負制を市直営とする	
大正2年		○15か年継続事業として、塵芥汚泥散布の方法により造林施行の結果、好成績を収める	
大正3年	○沼垂、山の下を編入 (面積 20.52 km ² ・ 人口 91,604 人)	○再度砂防造林 15か年継続事業計画を立てる	
大正8年	○馬越、鴉又を編入 (面積 20.65 km ² ・ 人口 99,144 人)		
大正11年			○くみ取りし尿の農村需要が減少の一途をたどる ○業者連署して市費補助を請願し、ついで、市営処理を請願
大正12年			○鴉又に7百石入し尿貯留槽3個を建設し、180石タンク船4艘を買入れる
大正13年		○塵芥自動車(2台)をはじめて購入する	○8月 し尿処理を市営事業とする
大正14年			○3月「し尿処分に關する条例」公布
昭和4年			○市営事業をくみ取り業者の請負処理制に切り替え、毎年3万円の補助金を公布
昭和18年	○大形、石山、鳥屋野を編入(面積 72.55 km ² ・ 人口 191,663 人)	○戦時中の人手不足から共同箱を設置	
昭和23年		○収集したごみの半分を日和山海岸に、残る半分を関屋浜に投入し、海岸決壊の防止対策の一つとする	
昭和26年			○し尿業者への補助金を100万円に増額
昭和27年			○し尿業者への補助金を300万円に増額

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
昭和28年	○ 散水事業を開始		○ 「し尿処理手数料条例」を公布1月1日 市営処理を断行し、業者の登録指定を行い、くみ取り券(2斗入り1桶8円)制度をはじめる ○ はじめてバキューム車を購入し、一部直営収集を行う
昭和29年	○ 8月11日「清掃条例」公布 10月1日から施行 ○ 松浜、南浜、濁川、坂井輪を編入 (面積 122.64 km ² ・ 人口 262,002 人)	○ 旧市域を特別清掃地域に指定し、それにともない日和山等での処理を止め鳥屋野潟周辺に埋立場を設定	○ 指定くみ取業を許可制度に改める。 ○ くみ取り区域を整理統合し、し尿舟を撤去して逐次バキューム車に切り替え、作業形態も各個作業から共同作業に改める
昭和30年	○ 新潟大火		
昭和31年		○ 3月 船江町海岸に埋立場を開設する。この年住民の反対激しく、9か所の埋立場を転々とする	
昭和32年	○ 6月1日「清掃条例」改正 7月1日施行 ○ 大江山、曾野木、両川を編入(面積 161.47 km ² ・ 人口 295,225 人)	○ ごみ処理手数料問題 5月に解決し、6月から新設する。 営業者月額 110～680円 一般世帯月額 30～80円 ○ ごみ収集のための最初の機械車(スクリュードラム)を購入	○ 1月30日 船見町し尿浄化槽完成 ○ し尿処理手数料改正
昭和33年		○ 11月20日 下木戸ごみ焼却炉完成	
昭和35年	○ 内野町、豊栄町の一部を合併編入 (面積 180.23 km ² ・ 人口 314,528 人)		
昭和36年	○ 「清掃条例」改正(改正 3月1日、施行 4月1日) ○ 赤塚、中野小屋を編入 (面積 208.34 km ² ・ 人口 326,632 人)	○ ごみ処理手数料改正 ○ ごみ収集用共同箱からポリ袋による定時収集への移行開始	○ し尿処理手数料改正 ○ 11月20日 下木戸し尿消化槽完成
昭和38年	○ 【巻広域】12月 巻町外三ヶ町村伝染病院組合から巻町外三ヶ町村衛生組合に名称変更	○ 新市域のごみ収集を業者に委託	
昭和39年	○ 【白根広域】5月 白根市外四ヶ町村清掃組合が設立 ○ 6月6日 新潟国体開催「きれいなまちづくり運動」の効果により「清掃国体」と好評をえる ○ 6月16日 新潟地震発生全清掃施設損害を受ける	○ 4月 ごみ収集全車両に「赤トンボ」のオルゴールを装備し、ポリ袋無償配布をはじめる ○ 5月 市内のごみ収集用共同箱のうち95%を廃止し、ポリ袋による週3回の定時収集を確立 ○ 施設が復旧するまで、ごみは東西海岸へ、し尿は有明町および船江町海岸へ仮貯留槽を掘ってそこへ投棄処理する。それとともに施設の復旧工事に着手し、東清掃センターごみ焼却炉は8月8日、し尿消化槽は11月2日、船見し尿消化槽は12月1日にそれぞれ復旧運転する	
昭和40年		○ 従来の年2回の「大掃除月間」を「特別清掃月間」と改める ○ 10月18日 小新のコンポストプラントが完成	○ し尿処理手数料改正 条例改正 3月31日 施行 4月1日

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
昭和41年	<ul style="list-style-type: none"> ○「新潟市清掃審議会規則」施行 ○11月1日 清掃審議会委員15名を任命し、同月4日第1回清掃審議会を開催 		<ul style="list-style-type: none"> ○3月29日 小新し尿消化槽完成 ○【巻広域】4月 巻町外三ヶ町村衛生センター(し尿処理場)稼動 ○12月2日 従来の許可業者が委託業者に改められる(委託業者36)
昭和42年	<ul style="list-style-type: none"> ○7月 開港百年新潟大博覧会を開催する。 ○亀田町の一部を編入(面積208.42km²・人口371,085人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○約100個のごみ容器を古町、西堀、東堀に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○6月28日 第2回清掃審議会を開催、市長から「し尿行政改善の方策について」諮問
昭和43年			<ul style="list-style-type: none"> ○9月19日 「し尿行政改善の方策について」審議会から答申 ○くみ取り業者を28に統合
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ○4月1日 清掃手数料にコンピュータを導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○3月31日 西清掃センターごみ焼却炉完成 ○5月 紫竹埋立地開設 ○6月 完了 ○7月 一日市埋立地開設 ○8月 完了 ○7月 女池埋立地開設 ○9月 完了 ○10月 中権寺埋立地開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○3月10日 株式会社新潟市清掃公社を設立する。(56.2.21 社名変更、現株式会社新潟市環境事業公社) ○4月1日 株式会社新潟市清掃公社が業務を開始 ○くみ取り業者13となる ○し尿処理手数料改正 条例改正 3月7日 施行 4月1日 ○くみ取り券制度を廃止し定額制を採用
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ○【白根広域】4月 白根市外四ヶ町村清掃組合を白根衛生センター組合に名称変更 ○【豊栄】5月 豊栄郷清掃施設処理組合が設立 	<ul style="list-style-type: none"> ○2月 内野ごみ焼却場の廃止 ○3月 中権寺埋立地完了 ○4月 上新栄町埋立地開設 ○8月 青山海岸埋立地開設 ○9月 完了 ○11月 清掃審議会の答申に基づき、耐久消費財および不燃物の収集を開始 	
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ○4月1日 新潟地区広域清掃事務組合を発足させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ処理手数料改正 条例改正 3月3日 施行 4月1日 ○一世帯分を2分の1に減額 ○10月 上新栄町埋立地完了 ○長潟地内にごみ埋立て用地として水田27,969m²を購入し、11月から埋立を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○3月20日 東清掃工場湿式酸化処理方式し尿処理施設(200kℓ/日)完成 ○4月1日 し尿の直営収集をやめる
昭和47年	<ul style="list-style-type: none"> ○3月29日 「廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を公布し4月1日から施行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポリ袋無償配布をやめる ○6月よりごみ処理手数料改正(一般家庭分無料) ○廃棄物処分手数を徴収 	<ul style="list-style-type: none"> ○し尿処理手数料改正 条例改正 46年12月8日 施行 2月1日

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
昭和48年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 従来の年2回の「特別清掃月間」を「町を美しくする清掃旬間」とあらためる ○ 3月31日 津島屋にごみ埋立用地 36,062㎡を購入 ○ 【白根広域】4月 管内全域ステーション方式によるごみ収集の実施(3分別・無料) (従来は、申込戸別有料収集) ○ 6月 長潟埋立地完了 6月 鶉の子埋立地 (借地 64,720㎡)開設 ○ 11月2日 赤塚地区にごみ埋め立て用地 103,794㎡を購入 ○ 12月 津島屋埋立地開設 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月20日 新潟地区広域清掃事務組合による「舞平し尿処理場」完成 ○ 3月31日 水洗式公衆便所(南横堀町設置)が完成
昭和50年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 2月 鶉の子埋立地完了 ○ 7月 清掃審議会の答申に基づき、「分別収集」をモデル地区より開始 ○ 4月1日 第1赤塚埋立地開設 ○ 7月 昭和42年に設置した街路用ごみ容器を撤去し、中心街に新たに30個のごみ容器を設置 ○ 11月30日 新潟地区広域清掃事務組合「亀田焼却場」(390t/日)完成 ○ 12月10日 埋立地の効率的利用のため赤塚埋立地に破碎圧縮併用設備装置(30t/5h)、簡易焼却炉(10t/日)、汚水処理施設を設置 ○ 12月30日 東清掃工場ごみ焼却施設(100t/日)を廃止 	
昭和51年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 津島屋埋立地完了 ○ 3月31日 西清掃工場コンポストプラントを休止 ○ 8月 分別収集を全市域実施 	
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月30日 きれいなまちづくり運動実行委員会(市民運動)発足(事務局:清掃業務課) ○ 7月15日 「廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則」の一部改正が施行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 1月29日 施行 4月1日 ○ 5月2日 濁川埋立地(33,083㎡)を開設する。 ○ 12月18日 新潟市資源回収組合が設立される 	<ul style="list-style-type: none"> ○ し尿処理手数料改正 条例改正 1月29日 施行 4月1日
昭和53年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月14日 昭和50年12月30日廃止した東清掃工場ごみ焼却施設(100t/日)の炉体を解体撤去 ○ 9月18日 新潟市廃棄物事業共同組合が設立される 	

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
昭和55年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月31日 濁川埋立地完了 ○ 2月4日 茗荷谷埋立地(借地26,247㎡)を開設 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 54年12月26日 施行 4月1日 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 東清掃工場浄化槽汚泥処理施設完成 ○ 3月31日 船見し尿処理場を廃止 ○ し尿処理手数料改正 条例改正 54年12月26日 施行 4月1日 ○ 8月30日 3月31日廃止した船見町し尿処理場の施設を解体撤去
昭和56年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 【白根広域】 ○ 4月 粗大ごみ収集開始 ○ 【豊栄】 ○ 4月 豊栄環境センターが稼働開始 ○ 9月30日 茗荷谷埋立地完了 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月29日 「新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則」改正(昭和56年10月1日施行)
昭和57年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 小学校4年生向け社会科副読本「ごみってなあに？」を作成し、配布 ○ 7月1日 濁川埋立地(57,100㎡)を開設 ○ 10月28日 赤塚地区にごみ埋立用地112,281㎡を購入 	
昭和58年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月14日 モデル地区を設定し「空ビン回収」を開始 ○ 【豊栄】4月 空きびんのステーション収集を開始 ○ 【巻広域】8月 巻町外三ヶ町村福井一般廃棄物最終処分場埋立開始 	
昭和59年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月6日 新田清掃センターごみ焼却場用地(5,589㎡)取得 ○ 3月21日 新田清掃センターごみ焼却場用地(61,132㎡)取得 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 3月30日 施行 4月1日 ○ 【豊栄】4月 水銀含有物の拠点回収及びステーション回収開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ し尿処理手数料改正 条例改正 3月30日 施行 4月1日 ○ 6月27日 新潟大学前駅前公衆便所設置(2基)
昭和60年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 第1赤塚埋立地の埋立完了 ○ 4月1日 使用済み乾電池等の収集を全市一斉に実施(粗大ごみ収集時に同時収集) ○ 4月1日 第2赤塚埋立地(618,000㎡)を開設 	
昭和61年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月30日 新田清掃センター竣工式(11月1日日本稼働) ○ 12月31日 12年ぶりに、全市一斉普通ごみ収集を実施 ○ 【新津】4月 ガラス瓶の資源回収開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【白根広域】3月 白根し尿処理場完成

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
昭和62年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月26日 太夫浜埋立処分地竣工 ○ 8月5日 濁川埋立処分地埋立完了 ○ 8月6日 太夫浜埋立処分地開設(第1期分 156,400 m³) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月1日 東清掃センターし尿湿式酸化処理施設(一次処理)廃止 ○ 11月26日 白山浦公衆便所新築
昭和63年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月30日 西清掃センターごみ焼却場解体 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 62年12月26日 施行 4月1日 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月25日 魁町公衆便所新築 ○ し尿処理手数料改正 条例改正 62年12月26日 施行 4月1日
平成元年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月1日 ごみ収集効率の向上を図るための一部見直し(収集経路・曜日の変更等) ○ 4月1日 ごみ委託業者4週5体制実施 ○ 10月1日 10地区の民間・市営の中高層住宅に「あきびんポスト」(45基)を設置し、回収を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月1日 し尿処理施設第2土曜日閉鎖
平成2年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月24日 牛乳パックアルミ缶等回収箱を4地区事務所及び清掃課に設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月13日 白山浦公衆便所廃止
平成3年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 【新津】4月 古紙の資源回収開始 ○ 【豊栄】4月 牛乳パックの拠点回収開始。生ごみ処理器購入費補助金公布事業を開始 ○ 6月11日 空かん回収機(くうかん鳥)2台を東地区事務所と坂井輪連絡所に設置 ○ 11月1日 産業廃棄物施設の設置及び維持管理に関する要綱を公布(施設設置に係る事前協議制を導入) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月13日 本町通5番町公衆便所全面改築 ○ 11月29日 東堀前通5番町公衆便所全面改築
平成4年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 11月21日 「廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則」の一部改正が施行となる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 3月27日 施行 10月1日 ○ コンポスト減額販売実施 ○ 【亀田】3月 一般廃棄物処分場完成 ○ 【白根広域】4月 古紙類(4種類)の収集開始(一部区域) ○ 【豊栄】4月 江楓園の埋立開始 ○ 【亀田】4月 一般廃棄物処分場完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 東清掃センターし尿消化処理施設廃止 ○ し尿処理手数料改正 条例改正 3月27日 施行 4月1日

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成5年		<ul style="list-style-type: none"> ○【巻】4月 コンポスト購入補助金制度開始 ○【白根広域】4月 古紙類収集区域の拡大(白根市全域) ○6月1日 集団資源回収奨励金制度開始 ○6月30日 太夫浜埋立処分地(第1期分)埋立完了 ○7月1日 太夫浜埋立処分地(第2期分 159,500 m²)開設 ○10月1日 「5分別収集」をモデル地区(関屋地区の一部)で開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○1月20日 酒屋町公衆便所廃止 ○8月3日 附船町公衆便所廃止 ○9月29日 東清掃センターし尿消化処理施設撤去工事竣工
平成6年		<ul style="list-style-type: none"> ○3月1日 ごみ減量化・資源化協力店制度実施 ○【白根広域】4月 古紙類収集区域の拡大(組合管内全域) ○【豊栄】6月 資源ごみ集団回収奨励金公布事業を開始 ○8月29日 「5分別収集」のモデル地区を曾野木地区の一部にも拡大する。 ○8月31日 第三赤塚埋立処分地造成工事竣工 ○【白根広域】10月 白根グリーンタワー完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○1月14日 東清掃センター湿式酸化処理施設設備撤去 ○3月10日 東清掃センター工業用水設備整備 ○12月22日 古川町公衆便所廃止
平成7年	○3月 新潟市一般廃棄物処理基本計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ○3月31日 新潟市廃棄物事業共同組合が解散 ○【横越】4月 集団資源回収活動奨励金事業開始 ○8月7日 集団資源回収用具の貸付け及び譲与制度開始 ○【横越】10月 環境指導員制度を発足(40ヶ所・40人) ○【新津】12月 新津クリーンセンター供用開始 	
平成8年	○7月2日「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」公布(全部改正。10月1日施行、一部平成9年4月1日施行。)	<ul style="list-style-type: none"> ○【巻】EM容器購入補助金制度開始 ○3月15日 資源再生センター竣工 ○【横越】4月 空き缶・空きびんステーション回収開始 ○【新津】4月 ごみの指定袋制開始(試行)・空き缶の資源回収開始 ○4月1日 西新潟地区で6分別収集開始 ○4月1日 資源再生センター(エコプラザ)稼動 ○4月20日 赤塚埋立処分地で粗大ごみ、不燃ごみ破砕(移動式破砕機)選別処理業務開始 ○【新津】6月 指定袋制本格実施 ○7月8日 赤塚埋立処分地で蛍光管破砕処理施設稼動 	<ul style="list-style-type: none"> ○【横越】合併処理浄化槽設置整備事業補助金公布開始 ○4月1日 し尿処理施設第2・4土曜日閉鎖 ○8月23日 本町通12番町公衆便所廃止


年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成9年	○3月29日「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(平成9年7月1日施行)	○3月15日 新潟地区広域清掃事務組合「亀田焼却場」竣工 ○3月31日「あきびんポスト」、「くうかん鳥」回収事業の終了 ○4月1日 全市で6分別収集開始 ○4月1日「新潟市集団資源回収活動奨励金公布要綱」の一部改正 ○【白根広域】4月 ペットボトル収集開始(一部区域) ○【豊栄】4月 ごみ排出指定事業(超過量有料制)を開始 ○【横越】4月 新一般廃棄物最終処分場稼動(埋立面積 7,845 m ² 、埋立容量 21,049 m ³) ○6月1日 ペットボトル拠点回収事業を開始 ○9月1日 第三赤塚埋立処分地(473,900 m ³)開設	○3月31日 新潟駅前公衆便所新築
平成10年		○3月25日 小平方最終処分地第二期工事竣工 ○【白根広域】4月 ペットボトル収集区域の拡大(白根市全域) ○【豊栄】4月 ペットボトルの拠点回収開始	
平成11年	○【白根広域】6月 白根衛生センター組合が白根地区消防事務組合と統合し、白根地域広域事務組合と名称変更	○【白根広域】1月 ごみ有料指定袋制の実施 ○3月8日 小平方減容化処理施設竣工 ○3月15日 新田清掃センター基幹的施設改良工事竣工 ○3月31日 第2赤塚埋立処分地埋立完了 ○4月1日 黒埼地区(旧黒埼町)において、8分別収集開始 ○【亀田】4月 ペットボトル拠点回収開始 ○【白根広域】4月 粗大ごみ有料戸別収集制の実施、ペットボトル収集区域の拡大(組合管内全域) ○【巻】4月 集団資源回収活動奨励金公布制度開始、電気式生ごみ処理機購入助成金制度開始、空ビン全町回収開始 ○【新津】7月 ポイ捨て等防止条例施行。ペットボトルの資源回収開始	○12月31日 西清掃センターし尿処理施設受入終了

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成12年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月27日 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(12年4月1日施行) ○ 【巻】4月 ポイ捨て等防止条例施行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月15日 不燃物破碎選別処理施設(新田清掃センター破碎施設)竣工 ○ 3月15日 新田清掃センター余熱利用施設(ふれあい健康センター)竣工 ○ 3月31日 赤塚埋立処分地の粗大ごみ、不燃ごみ破碎(移動式破碎機)選別処理業務終了 ○ 3月31日 赤塚埋立処分地の蛍光管破碎処理施設廃止 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 11年12月20日施行 4月1日(従量制を導入) ○ 4月1日 新田清掃センター破碎施設稼働 ○ 【横越】 生ごみ処理機設置事業補助金公布開始、ペットボトル拠点回収開始 ○ 【白根広域】4月 プラスチック製容器包装、白色トレイの分別収集開始 ○ 【潟東】4月 電気式生ごみ処理機購入助成金制度開始 ○ 【豊栄】6月 トレイ・透明パックの拠点回収開始 ○ 7月20日 ふれあい健康センター(アクアパークにいがた)オープン ○ 8月1日 資源再生センターで古紙拠点回収を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 西清掃センターし尿処理施設廃止 ○ し尿処理手数料改正 条例改正 11年12月20日施行 4月1日 ○ 【潟東・岩室・巻】4月 し尿収集手数料徴収事務、一部事務組合より市町村へ、し尿汲取り地区別計画収集開始
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 黒埼町と合併 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 黒埼地区においては、合併前の8分別収集を継続 ○ 3月15日 新太夫浜埋立処分地(太夫浜埋立処分地第3期)竣工 ○ 3月31日 家電リサイクル法の施行に伴い、テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の収集(受入れ)を終了 ○ 4月1日 「新潟市集団資源回収活動奨励金公布金要綱」等の一部改正(奨励金単価増額、奨励金対象品目の変更) ○ 【巻】4月 大型ごみ有料引取り開始(申込み制) ○ 【亀田】4月 プラスチック製容器包装収集開始 ○ 4月7日 地区事務所等で古紙拠点回収を開始 ○ 【新津】7月 電池の資源回収開始 ○ 8月31日 太夫浜埋立処分地(第2期分)埋立完了 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【巻】6月 し尿汲取り地区別計画収集開始

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成 13 年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 9 月 3 日 太夫浜埋立処分地 (第 3 期分:182,000 m²) 開設 ○ 【新津】10 月 クリーンセンター 排ガス高度処理施設竣工 ○ 【亀田】12 月 ペットボトルステーション回収開始 	
平成 14 年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 【亀田】2 月 一般廃棄物処理場内に減容化施設を設置 ○ 【白根広域】3 月 白根第3埋立処分地完成・排出処理場浸出水高度処理施設完成 ○ 【巻広域】3 月 鎧渦クリーンセンター完成 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 13 年 12 月 19 日 施行 4 月 1 日 ○ 【岩室・巻・西川・潟東】4 月 普通ごみの収集運搬有料化・資源ごみの収集開始(飲料用缶・びん・ペットボトル) ○ 【岩室・西川・潟東】4 月 大型ごみ引取り開始(申込み制) ○ 【潟東】4 月 地域環境美化事業 ○ 公布金制度開始 ○ 【巻】4 月 地域環境整備補助金制度新設 ○ 6 月 30 日 第一小平方埋立処分地 埋立完了 ○ 7 月 1 日 古紙とスプレー缶類の分別収集をモデル地区(紫竹地区の一部と平島地区)で開始 ○ 7 月 1 日 ピーエスシー(株)にプラスチックの搬入を開始 ○ 【豊栄】12 月 プラスチック製容器包装のステーション回収を試験的に開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 月 29 日 西清掃センターし尿処理施設解体 ○ 4 月 1 日 東清掃センター浄化槽汚泥処理施設の浄化槽汚泥を工業用水で希釈し、下水道へ投入 ○ 12 月 27 日 松浜公衆便所建替
平成 15 年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 【白根広域】1 月 白根グリーントワーダイオキシン類削減対策工事完了 ○ 【西川】1 月 町内環境美化整備等補助金制度新設 ○ 3 月 31 日 茗荷谷埋立地の汚水処理施設を解体 ○ 3 月 31 日 濁川埋立地の浸出水処理施設を解体 ○ 【白根広域】4 月 紙製容器包装の分別収集開始 ○ 【豊栄】4 月 プラスチック製容器包装のステーション回収開始 ○ 【横越】4 月 プラスチック類を加え、7 分別収集開始 ○ 【潟東】4 月 集団資源回収活動奨励金公布制度開始 ○ 【岩室】4 月 紙拠点回収を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 12 月 22 日 新潟地区広域清掃事務組合「舞平処理場」竣工

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成15年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 6月1日 古紙・スプレー缶類分別収集モデル地区を拡大(山の下地区、鳥屋野地区、坂井輪地区の一部) ○ 6月 家庭用電動生ごみ処理機購入費補助制度開始 ○ 【新津】9月 固化灰等積替保管施設完成 ○ 【白根広域】11月 白根グリーンタワーストックヤードB棟完成 	
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月 新潟市一般廃棄物処理基本計画策定 ○ 4月 新潟県産業廃棄物税の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月31日 モデル地区における古紙・スプレー缶類の分別収集を終了 ○ 【新津】3月 市之瀬最終処分場の埋立終了 ○ ごみ処理手数料改正 条例改正 15年12月21日施行 4月1日 ○ 【豊栄】4月 電動生ごみ処理機購入補助事業を開始 ○ 【新津】6月 新津クリーンセンター24時間運転開始 ○ 6月 小学校において古紙拠点回収を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【新津】1月 し尿及び浄化槽汚泥を、流域下水道新津浄化センターへ投入開始 ○ し尿収集を委託化 ○ 【新津】3月 新津環境センターを廃止
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3月 新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村と合併 ○ 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(3月21日施行) ○ 3月 新潟地区広域清掃事務組合、白根地域広域事務組合が解散 ○ 3月 巻町外三ヶ町村衛生組合が、巻・新潟衛生組合に名称変更 ○ 10月 巻町と合併 ○ 10月 巻・新潟衛生組合が解散 ○ 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(10月10日施行) ○ 「産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例」公布(18年4月1日施行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 有害危険ごみの収集開始(スプレー缶等を別袋収集) ○ 4月 資源有効利用促進法によるメーカー自主回収の開始に伴い、パーソナルコンピューター、50cc未満のバイクの排出を禁止 ○ 10月 新田清掃センター・亀田清掃センターで、古紙搬入規制を開始 	
平成18年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 新潟食品リサイクルセンター(株)に一部の学校給食残渣の生ごみ搬入を開始 ○ 10月 白根グリーンタワー24時間運転開始 	

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成 19 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4 月 政令市に移行 ○ 6 月 新・新潟市一般廃棄物処理基本計画策定 ○ 「廃棄物処理施設附属休憩所条例」の一部改正(20 年 4 月 1 日施行) ○ 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(20 年 6 月 1 日施行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3 月 第2小平方埋立処分地の埋立終了 ○ 11 月 枝葉・草の分別収集をモデル地区で開始(西内野地区の一部) 	
平成 20 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「新潟市ばい捨て等及び路上喫煙の防止に関する条例」公布(10 月 1 日施行、一部 21 年 1 月 19 日施行) ○ 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(10 月 25 日施行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2 月 クリーンにいがた推進員制度開始 ○ 3 月 横越第2埋立処分地の埋立終了 ○ 4 月 手数料収入市民還元事業(ごみ集積所設置等補助、地域清掃活動費補助)開始(ごみ出し支援事業、地域活動費補助は 5 月、廃天ぶら油拠点収集地域活動支援、古紙行政収集地域活動支援は 6 月から) ○ 6 月 新ごみ減量制度開始 <ul style="list-style-type: none"> ◦ 10 種 13 分別(巻・岩室・西川・潟東地区は 8 種 11 分別)収集の開始 ◦ 有料指定袋(処理券)制の開始 ◦ 処理手数料を家庭系・事業系に分けて、全市統一 ◦ 焼却場における古紙搬入規制を全市に拡大 ○ 6 月 乾電池の拠点回収を開始(一部地区) ○ 6 月 古紙拠点回収を全市に拡大 ○ 8 月 ペットボトル及び乾電池の拠点回収を全市に拡大 ○ 10 月 超極小(5ℓ)有料指定袋取扱開始 	
平成 21 年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 6 月 西蒲区の一部地域でプラスチックのモデル収集を開始 	
平成 22 年		<ul style="list-style-type: none"> ○ 4 月 西清掃事務所・資源再生センター・白根環境事務所で古布・古着の拠点モデル回収開始 ○ 4 月 化粧品びんを資源(「飲食用・化粧品びん」として回収開始 ○ 4 月 巻広域でプラスチック製容器包装の拠点回収を開始 	
平成 23 年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の一部改正(ごみ集積場からのごみの持ち去り禁止)(6 月 28 日施行) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4 月 巻広域の一部でプラスチック製容器包装のステーション回収を開始 ○ 4 月 小学校古紙拠点 10 校廃止 ○ 5 月 白根第3埋立処分地の埋立完了 ○ 6 月 古布・古着の回収拠点を拡大 ○ 6 月 乾燥生ごみ回収開始 	

年代	一般関係	ごみ処理関係	し尿・浄化槽汚泥処理関係
平成 24 年		<ul style="list-style-type: none"> ○3 月 第三赤塚埋立処分地の埋立完了 ○3 月 白根グリーンタワーの焼却施設を廃止 ○4 月 新田清掃センター新焼却施設を稼働 ○4 月 第4赤塚埋立処分地を開設 ○4 月 巻広域でプラスチック製容器包装の分別収集制度化 ○4 月 新田清掃センター、亀田清掃センター、白根グリーンタワー、新津クリーンセンターで自己搬入ごみの受入区域拡大 ○4 月 亀田清掃センターで燃やさないごみの自己搬入開始 ○6 月 使用済小型家電の拠点回収を開始 ○6 月 乾燥生ごみ回収拠点の拡大・変更 ○7 月 マイボトルキャンペーンの実施(10月まで)(H24～) 	<ul style="list-style-type: none"> ○3 月 白根し尿処理場の受入中止 ○4 月 巻し尿処理場を大規模改造し、「巻処理センター」へ名称変更し、稼働開始 ○8 月 白根し尿処理場廃止
平成 25 年		<ul style="list-style-type: none"> ○4 月 分別呼称の変更(「プラスチック製容器包装」を「 プラマーク容器包装」、「有害・危険物」を「特定5品目」に変更) ○6 月 使用済小型家電の回収拠点を拡大 ○6 月 3R優良事業者認定制度を開始 ○6 月 マイボトルキャンペーンの実施(11月末まで) ○8 月 ごみ分別百科事典を全戸配布 ○3 月 ごみ分別検索サービスの開始 	
平成 26 年		<ul style="list-style-type: none"> ○5 月 亀田第3埋立処分地の埋立完了 ○6 月 使用済小型家電の回収拠点の一部移設と増設 ○6 月 マイボトルキャンペーンの実施(12月末まで) ○7 月 リユース食器普及モデル事業の実施 ○3 月 ごみ分別アプリの公開 	
平成 27 年		<ul style="list-style-type: none"> ○3 月 新田清掃センター旧焼却施設を解体 ○6 月 使用済小型家電の回収拠点の増設 ○7 月 マイボトルキャンペーンの実施(通年) 	

10 新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(昭和47年新潟市条例第6号)の全部を改正する。

目次

第1章 総則(第1条—第6条)

第2章 廃棄物の減量

第1節 市の廃棄物の減量(第7条)

第2節 市民の廃棄物の減量(第8条・第9条)

第3節 事業者の廃棄物の減量(第10条—第12条)

第3章 廃棄物の適正処理(第13条—第24条)

第4章 事業用建築物における廃棄物の減量及び適正処理(第25条—第31条)

第5章 生活環境の清潔保持(第32条—第35条)

第6章 手数料等(第36条—第38条)

第7章 市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続(第39条—第44条)

第8章 市が設置する一般廃棄物処理施設に置かれる技術管理者の資格(第45条)

第9章 雑則(第46条—第49条)

第10章 罰則(第50条・第51条)

附則

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、市、市民及び事業者が一体となって、廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進すること等により廃棄物の減量を推進するとともに、廃棄物を適正に処理し、併せて生活環境を清潔にすることにより、資源循環型社会の形成及び生活環境の保全並びに公衆衛生の向上を図り、もって市民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 資源循環型社会 廃棄物を資源として有効利用する社会をいう。
- (2) 廃棄物 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号。以下「法」という。)第2条第1項に規定する廃棄物をいう。
- (3) 一般廃棄物 法第2条第2項に規定する一般廃棄物をいう。
- (4) 特別管理一般廃棄物 法第2条第3項に規定する特別管理一般廃棄物をいう。
- (5) 産業廃棄物 法第2条第4項に規定する産業廃棄物をいう。
- (6) 家庭系廃棄物 一般家庭の日常生活に伴って生じた廃棄物をいう。

- (7) 事業系廃棄物 事業活動に伴って生じた廃棄物をいう。
- (8) 事業系一般廃棄物 事業系廃棄物のうち産業廃棄物以外の廃棄物をいう。
- (9) 再利用 活用しなければ不要となる物若しくは廃棄物を再び使用すること，又は資源として利用することをいう。
- (10) 資源物 市が行う廃棄物の収集において，再利用を目的として分別して収集する物をいう。
- (11) 再生資源 資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)第2条第4項に規定する再生資源をいう。

(市の責務)

第3条 市は，この条例の目的を達成するため，廃棄物の減量及び適正処理に関する基本的かつ総合的な施策を策定し，及びこれを実施するものとする。

- 2 市は，市民及び事業者に対して，廃棄物の減量及び適正処理に関する意識の啓発及び情報の提供に努めなければならない。
- 3 市は，廃棄物の減量を目的とする市民及び事業者の自主的な活動の促進を図らなければならない。

(市民の責務)

第4条 市民は，廃棄物の排出を抑制し，再生品の使用等により再利用を図り，その生じた廃棄物をなるべく自ら処分すること等により，廃棄物の減量に努めなければならない。

- 2 市民は，廃棄物を分別して排出すること等により，廃棄物の減量及び適正処理に関し，市の施策に協力しなければならない。

(事業者の責務)

第5条 事業者は，事業系廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

- 2 事業者は，廃棄物の排出を抑制し，再利用を図ること等により，廃棄物の減量に積極的に努めなければならない。
- 3 事業者は，廃棄物の減量及び適正処理に関し，市の施策に協力しなければならない。

(一般廃棄物処理計画)

第6条 市長は，法第6条に規定する一般廃棄物の処理に関する計画(以下「一般廃棄物処理計画」という。)を定めた場合は，これを告示するものとする。一般廃棄物処理計画を変更した場合も，同様とする。

第2章 廃棄物の減量

第1節 市の廃棄物の減量

(市が行う廃棄物の減量)

第7条 市は，資源物の収集，市の廃棄物処理施設での資源の回収等により，積極的に廃棄物の減量に努めなければならない。

- 2 市長その他市の機関は，物品の調達に当たっては再生品を使用すること，資源物回収を積極的

に行うこと等により、自ら廃棄物の減量に努めなければならない。

第2節 市民の廃棄物の減量

(市民の自主的な活動)

第8条 市民は、再利用が可能な物の分別を行うとともに、集団資源回収等の再利用を促進するための市民の自主的な活動に参加し、協力すること等により、廃棄物の減量に努めなければならない。

(商品の選択)

第9条 市民は、商品の購入に際して、再利用が容易な商品、再生品、簡易な包装の商品等廃棄物の減量及び環境の保全を考慮した商品を選択するよう努めなければならない。

第3節 事業者の廃棄物の減量

(事業系廃棄物の減量)

第10条 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、長期間使用が可能な製品の開発、製品の修理、製品の回収体制の確保等により、廃棄物の発生の抑制に必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、再生資源及び再生品の利用に努めなければならない。

(再利用の自己評価等)

第11条 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、その製品、容器等の再利用の容易性についてあらかじめ自ら評価し、再利用の容易な製品、容器等の開発、再利用の方法についての情報の提供等により、その製品、容器等の再利用の促進に努めなければならない。

(適正包装等)

第12条 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、過剰な包装を自粛し、簡易な包装を推進すること等により、廃棄物の発生の抑制に努めなければならない。

2 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、再利用が可能な包装、容器等の普及に努め、使用後の包装、容器等の回収策を講ずる等により、再利用の促進を図らなければならない。

3 事業者は、市民が商品の購入等に際して、当該商品について適正な包装、容器等を選択できるよう努めるとともに、市民が包装、容器等を不要とし、又はその返却をする場合には、その回収等に努めなければならない。

第3章 廃棄物の適正処理

(家庭系廃棄物の処理)

第13条 市は、一般廃棄物処理計画に従い、生活環境の保全上支障が生じないうちに、家庭系廃棄物の収集、運搬及び処分(再生することを含む。以下同じ。)を行わなければならない。

(事業系廃棄物の処理)

第14条 事業者は、その事業系廃棄物を生活環境保全上支障が生じないうちに自ら運搬し、若しくは処分し、又は廃棄物の収集、運搬若しくは処分を業として行うことのできる者に収集させ、

運搬させ、若しくは処分させなければならない。

(市が処理する産業廃棄物)

第15条 市は、一般廃棄物の処理又はその処理施設の機能に支障が生じない範囲において、一般廃棄物と併せて処理することが必要であると認める産業廃棄物の処理を行うことができる。

2 前項の規定により市が処理することができる産業廃棄物は、規則で定める。

(多量排出事業者に対する指示)

第16条 市長は、規則で定める量以上の事業系一般廃棄物を排出する事業者に対し、当該一般廃棄物を運搬すべき場所及び運搬方法その他必要な事項を指示することができる。

(家庭系廃棄物の排出方法等)

第17条 市民は、自ら処理しない家庭系廃棄物については市の一般廃棄物処理計画に従い、適正に分別し、保管し、及び排出しなければならない。

2 市民は、家庭系廃棄物を排出する場合は、規則で定める排出方法を遵守し、市民が設置する家庭系廃棄物の集積場(以下「ごみ集積場」という。)等へ持ち出さなければならない。

3 ごみ集積場は、あらかじめ市長に届け出て、市民が共同で設置するものとし、市民は、清掃を行う等により、そのごみ集積場の清潔の保持に努めなければならない。

(家庭系廃棄物の収集又は運搬の禁止等)

第18条 市及び規則で定める者以外の者は、ごみ集積場に排出された家庭系廃棄物を収集し、又は運搬してはならない。

2 市長は、前項の規定に違反する行為をした者に対し、家庭系廃棄物を収集し、又は運搬しないよう命ずることができる。

(一般廃棄物処理の届出)

第19条 市民及び事業者は、市が実施する一般廃棄物(し尿に限る。)の収集、運搬及び処分を必要とし、又は必要としなくなった場合は、規則で定めるところにより市長に届け出なければならない。

(動物の死体)

第20条 市民は、その飼育する動物の死体を自ら処理しない場合は、速やかに市長に届け出なければならない。

2 市民は、遺棄された動物の死体を発見した場合は、速やかに市長に通報しなければならない。

(適正処理の自己評価)

第21条 事業者は、物の製造、加工、販売等に際して、その製品、容器等が廃棄物となった場合における処理の困難性についてあらかじめ自ら評価し、適正な処理が困難とならないような製品、容器等の開発を行うこと、その製品、容器等に係る廃棄物の適正な処理の方法についての情報を提供すること等により、その処理が困難になることのないようにしなければならない。

2 事業者は、適正な処理が困難な廃棄物となるおそれのある製品、容器等については、自ら回収する等適切な措置を講じなければならない。

(適正処理困難物の指定等)

第22条 市長は、市がその処理を行っている一般廃棄物のうちから、市の一般廃棄物の処理に関する設備及び技術に照らしその適正な処理が困難となっているものを適正処理困難物として指定することができる。

- 2 市長は、前項の規定による指定を行った場合はこれを告示するものとする。
- 3 市長は、適正処理困難物になる前の製品、容器等の製造、加工、販売等を行う事業者に対し、その適正処理困難物の処理を適正に行うために必要な協力を求めることができる。

(排出禁止物)

第23条 市民及び事業者は、市が行う一般廃棄物の収集に際して、次の各号に掲げる物を排出してはならない。

- (1) 有害性のある物
 - (2) 危険性のある物
 - (3) 引火性のある物
 - (4) 著しく悪臭を発する物
 - (5) 容積又は重量の著しく大きい物
 - (6) 特別管理一般廃棄物
 - (7) 再生利用を促進することが必要と認められる物として、規則で定める物
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、市が行う一般廃棄物の処理を著しく困難にし、又は市の処理施設に支障を生じる物
- 2 市民及び事業者は、前項に規定する一般廃棄物を処分しようとする場合は、市長の指示に従わなければならない。

(処理施設の受入基準等)

第24条 市民及び事業者(市民及び事業者から運搬の委託を受けた者を含む。)は、市長の指定する処理施設に廃棄物を搬入する場合には、規則で定める受入基準に従わなければならない。

- 2 市長は、前項の受入基準に従わない市民及び事業者に対して、その廃棄物の受入れを拒否することができる。

第4章 事業用建築物における廃棄物の減量及び適正処理

(事業用建築物の所有者等の義務)

第25条 事業用建築物の所有者は、当該建築物から生ずる事業系一般廃棄物の減量及び適正処理を行わなければならない。

- 2 事業用建築物の占有者は、当該建築物から生ずる事業系一般廃棄物の減量及び適正処理に関し、当該建築物の所有者の指示に従わなければならない。

(減量計画書)

第26条 事業用建築物のうち規則で定める大規模なもの(以下「事業用大規模建築物」という。)の所有者は、規則で定めるところにより、当該事業用大規模建築物から生ずる事業系一般廃棄

物の減量及び適正処理に関する計画書を作成し、市長に提出しなければならない。

(廃棄物管理責任者)

第27条 事業用大規模建築物の所有者は、当該建築物から生ずる事業系一般廃棄物の減量及び適正処理に関する業務を担当させるため、規則で定めるところにより、廃棄物管理責任者を選任し、市長に届け出なければならない。廃棄物管理責任者を変更した場合も、同様とする。

(廃棄物の保管場所の設置)

第28条 事業用大規模建築物の所有者は、当該建築物又はその敷地内に、規則で定める基準に従い、事業系一般廃棄物の保管場所を設置しなければならない。ただし、保管場所の設置が困難な場合で、他の手段により事業系一般廃棄物の処理が適正に行われると市長が認めるときは、この限りでない。

- 2 事業用大規模建築物の所有者は、当該建築物又はその敷地内に、規則で定める基準に従い、再利用の対象となる物(以下「再利用対象物」という。)の保管場所を設置するよう努めなければならない。
- 3 事業用大規模建築物を建設しようとする者(以下「事業用大規模建築物の建設者」という。)は、当該建築物又はその敷地内に、規則で定める基準に従い、事業系一般廃棄物の保管場所及び再利用対象物の保管場所を設置しなければならない。この場合において、事業用大規模建築物の建設者は、当該保管場所について、規則で定めるところにより、あらかじめ市長に届け出なければならない。
- 4 事業用大規模建築物以外の事業用建築物を所有する者又は建設しようとする者は、当該建築物又はその敷地内に、規則で定める基準に従い、事業系一般廃棄物の保管場所及び再利用対象物の保管場所を設置するよう努めなければならない。

(改善勧告)

第29条 市長は、事業用大規模建築物の所有者が第26条、第27条若しくは前条第1項の規定に違反していると認める場合又は事業用大規模建築物の建設者が前条第3項の規定に違反していると認める場合は、当該事業用大規模建築物の所有者又は建設者に対し、期限を定めて、改善するよう勧告するものとする。

(公表)

第30条 市長は、前条の規定により勧告をした場合において、当該事業用大規模建築物の所有者又は建設者がその勧告に従わなかった場合は、その旨を公表することができる。

- 2 市長は、前項による公表をしようとする場合は、あらかじめ、当該事業者はその理由を通知し、意見の聴取を行わなければならない。

(受入拒否)

第31条 市長は、事業用大規模建築物の所有者又は建設者が、前条の規定による公表をされた後においても、なお第29条の規定による勧告に従わなかった場合は、当該事業用建築物から排出される事業系一般廃棄物の市長の指定する処理施設への受入れを拒否することができる。

第5章 生活環境の清潔保持

(地域の清潔の保持)

第32条 土地又は建物の占有者(占有者がいない場合は、管理者とする。以下同じ。)は、占有し、又は管理する土地又は建物の清潔を保つように努めるとともに、その地先の道路、側溝等についても清潔の保持に努めなければならない。

2 建物の占有者は、当該建物に係るくみ取り式便所について、雨、雪及び地下水の侵入、悪臭の発散及び衛生害虫の出入りを防止するとともに、消毒剤を散布し、殺虫剤を散布する等、その衛生的管理に努め、かつ、冬期間においては、その周囲及び通路の除雪をして、収集作業に支障のないようにしなければならない。

(公共の場所の清潔保持)

第33条 何人も、公園、広場、海水浴場、道路、河川、湖沼、港湾その他の公共の場所(以下「公共の場所」という。)を汚さないようにしなければならない。

2 公共の場所において、宣伝物、印刷物その他の物(以下「宣伝物等」という。)を公衆に配布し、又は配布させた者は、その場所に宣伝物等が散乱した場合は、速やかに当該宣伝物等を回収し、及び適正に処理しなければならない。

3 土木、建築等の工事を行う者は、工事に伴って生じた土砂、がれき、廃材等を適正に管理し、公共の場所に当該物が飛散し、又は流出することによって生活環境の保全上支障が生ずることのないようにしなければならない。

(土地又は建物の管理)

第34条 土地又は建物の占有者は、占有し、又は管理する土地又は建物に、みだりに廃棄物が捨てられないように周囲に囲いを設ける等、適正な管理に努めなければならない。

2 土地の占有者は、占有し、又は管理する土地に廃棄物が捨てられた場合は、その廃棄物を自らの責任で処理するよう努めなければならない。

(生活環境保持の改善勧告)

第35条 市長は、前2条のいずれかの規定に違反することにより、生活環境を著しく害していると認める者に対し、期限を定めて改善するよう勧告するものとする。

第6章 手数料等

(一般廃棄物処理手数料)

第36条 一般廃棄物の収集、運搬及び処分に関し、一般廃棄物処理手数料(以下「手数料」という。)を徴収する。

2 前項の規定による手数料の額は、別表第1に掲げるとおりとする。

3 市長は、天災その他特別の理由があると認める場合は、手数料の全部又は一部を免除することができる。

4 前3項に定めるもののほか、手数料の徴収に関し、必要な事項は、規則で定める。

(産業廃棄物の処分費用)

第37条 法第13条第2項の規定により、市が行う産業廃棄物の処分に関し、産業廃棄物処分費用(以下「処分費用」という。)を徴収する。

- 2 前項の規定による処分費用の額は、別表第2に掲げるとおりとする。
- 3 前条第3項及び第4項の規定は、処分費用の場合に準用する。

(許可申請手数料等)

第38条 法第7条第1項若しくは第6項の規定による許可を受けようとする者、法第7条第2項若しくは第7項の規定による許可の更新を受けようとする者又は法第7条の2第1項の規定による事業の範囲の変更の許可を受けようとする者は、申請の際、別表第3に定めるところにより許可申請手数料等を納入しなければならない。

第7章 市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続

(対象となる施設の種類)

第39条 法第9条の3第2項(同条第9項において準用する場合を含む。以下同じ。)の規定による同条第1項に規定する調査(以下「生活環境影響調査」という。)の結果を記載した書類(以下「調査書」という。)の公衆への縦覧及び意見書を提出する機会の付与の対象となる一般廃棄物処理施設(以下「対象施設」という。)の種類は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和46年政令第300号)第5条第1項に規定するごみ処理施設のうち焼却施設及び同条第2項に規定する一般廃棄物の最終処分場とする。

(縦覧の告示)

第40条 市長は、法第9条の3第2項の規定により調査書の縦覧を行うときは、その旨その他規則で定める事項を告示するものとする。

(縦覧の場所及び期間)

第41条 調査書の縦覧の場所は、市長が前条の規定による告示において指定するものとし、縦覧の期間は、当該告示の日から1月間とする。

(意見書の提出)

第42条 第40条の告示があったときは、当該告示に係る対象施設の設置又は変更(法第9条の3第8項の規定による届出を要する場合に限る。)に関し利害関係を有する者は、前条の縦覧期間満了の日の翌日から起算して2週間を経過する日までに、市長に生活環境の保全上の見地からの意見書を提出することができる。

(環境影響評価との関係)

第43条 対象施設の設置又は変更に関し、環境影響評価法(平成9年法律第81号)又は新潟市環境影響評価条例(平成21年新潟市条例第5号)に基づく環境影響評価(生活環境影響調査に相当する内容を有するものに限る。)に係る告示、縦覧等の手続を経たものは、前3条に定める手続を経たものとみなす。

(他の市町村との協議)

第44条 市長は、対象施設の設置に関する区域が、次の各号の一に該当するときは、当該区域を

管轄する市町村の長に、当該区域における縦覧等の手続の実施について、協議するものとする。

- (1) 対象施設を他の市町村の区域に設置するとき。
- (2) 対象施設の敷地が他の市町村の区域にわたるとき。
- (3) 対象施設の設置又は変更により、生活環境に影響を及ぼす周辺地域に、本市の区域に属しない地域が含まれているとき。

第8章 市が設置する一般廃棄物処理施設に置かれる技術管理者の資格

第45条 法第21条第3項の条例で定める資格は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 技術士法(昭和58年法律第25号)第2条第1項に規定する技術士(化学部門、上下水道部門又は衛生工学部門に係る第2次試験に合格した者に限る。)
- (2) 技術士法第2条第1項に規定する技術士(前号に該当する者を除く。)であって、1年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有するもの
- (3) 2年以上法第20条に規定する環境衛生指導員の職にあった者
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づく大学(短期大学を除く。次号において同じ。)又は旧大学令(大正7年勅令第388号)に基づく大学の理学、薬学、工学又は農学の課程において衛生工学(旧大学令に基づく大学にあつては、土木工学。同号において同じ。)又は化学工学に関する科目を修めて卒業した後、2年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (5) 学校教育法に基づく大学又は旧大学令に基づく大学の理学、薬学、工学、農学又はこれらに相当する課程において衛生工学又は化学工学に関する科目以外の科目を修めて卒業した後、3年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (6) 学校教育法に基づく短期大学若しくは高等専門学校又は旧専門学校令(明治36年勅令第61号)に基づく専門学校の理学、薬学、工学、農学又はこれらに相当する課程において衛生工学(旧専門学校令に基づく専門学校にあつては、土木工学。次号において同じ。)又は化学工学に関する科目を修めて卒業した後、4年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (7) 学校教育法に基づく短期大学若しくは高等専門学校又は旧専門学校令に基づく専門学校の理学、薬学、工学、農学又はこれらに相当する課程において衛生工学又は化学工学に関する科目以外の科目を修めて卒業した後、5年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (8) 学校教育法に基づく高等学校若しくは中等教育学校又は旧中等学校令(昭和18年勅令第36号)に基づく中等学校において土木科、化学科又はこれらに相当する学科を修めて卒業した後、6年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (9) 学校教育法に基づく高等学校若しくは中等教育学校又は旧中等学校令に基づく中等学校において理学、工学若しくは農学に関する科目又はこれらに相当する科目を修めて卒業した後、7年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者

- (10) 10年以上廃棄物の処理に関する技術上の実務に従事した経験を有する者
- (11) 前各号に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると市長が認める者

第9章 雑則

(報告の徴収等)

第46条 市長は、法第18条に規定するもののほか、この条例の施行に必要な限度において、土地又は建物の占有者その他関係者に対し、廃棄物の減量及び適正処理に関し、必要な報告を求め、又は指示することができる。

(立入検査)

第47条 市長は、法第19条第1項に規定するもののほか、この条例の施行に必要な限度において、職員に、必要と認める場所に立ち入り、廃棄物の減量及び適正処理に関し、帳簿、書類その他の必要な物件を検査させることができる。

- 2 前項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人の請求があった場合は、これを提示しなければならない。
- 3 第1項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

(新潟市行政手続条例の適用除外)

第48条 第18条第2項の規定による命令については、新潟市行政手続条例(平成9年新潟市条例第2号)第3章の規定は、適用しない。

(委任)

第49条 この条例の施行に関し、必要な事項は、規則で定める。

第10章 罰則

第50条 第18条第2項の規定による命令に違反した者は、20万円以下の罰金に処する。

第51条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関し、前条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、同条の罰金刑を科する。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成8年10月1日から施行する。ただし、第17条第2項及び第3項、第18条(第17条第2項の規定を準用する部分に限る。)並びに第4章の規定は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正前の新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の規定によりなされた処分は、この条例の相当規定によりなされた処分とみなす。
- 3 この条例の規定は、この条例の施行日以後に受理した申請及び届出について適用し、同日前に受理した申請及び届出については、なお従前の例による。

(合併に伴う特例)

4 次の各号に掲げる区域における一般廃棄物の排出方法及びその処理手数料，市が処理する産業廃棄物及びその処分費用，並びに第19条(事業系一般廃棄物に限る。)及び第20条第1項の届出については，平成20年5月31日までの間(し尿処理手数料については，平成17年3月31日までの間)，第15条，第17条第2項，第18条，第19条，第20条第1項，第36条第2項及び第37条第2項の規定にかかわらず，それぞれ当該各号に掲げる条例の例による。

- (1) 編入前の新津市の区域 新津市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例(平成7年新津市条例第31号)
- (2) 編入前の白根市，小須戸町，味方村，月潟村及び中之口村の区域 白根地域広域事務組合廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例(平成11年白根地域広域事務組合条例第12号)。
ただし，同条例第26条第1項第5号の規定を除く。
- (3) 編入前の豊栄市の区域 豊栄市廃棄物の処理及び再利用の促進等に関する条例(平成8年豊栄市条例第21号)
- (4) 編入前の横越町の区域 横越町廃棄物の処理及び清掃に関する条例(昭和47年横越町条例第2号)
- (5) 編入前の亀田町の区域 亀田町廃棄物の処理及び清掃に関する条例(昭和47年亀田町条例第13号)
- (6) 編入前の岩室村の区域 岩室村廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年岩室村条例第8号)及び巻・新潟衛生組合廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成11年巻・新潟衛生組合条例第2号。以下「衛生組合条例」という。)
- (7) 編入前の西川町の区域 西川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年西川町条例第1号)及び衛生組合条例
- (8) 編入前の潟東村の区域 潟東村廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年潟東村条例第12号)及び衛生組合条例

5 前項各号に掲げる区域における平成17年度から平成20年度までのし尿の処理に係る手数料(別表第1に規定する従量制により算定するものに限る。)の額については，次の表の左欄に掲げる区域及び同表の中欄に掲げる年度の区分に応じ，それぞれ同表の右欄に定める額とする。

区 域	年 度	手数料の額(18リットルにつき)
編入前の新津市の区域	平成17年度	127円
	平成18年度	134円
	平成19年度	141円
	平成20年度	148円
編入前の白根市，小須戸町，味方村，月潟村及び中之口村の区域	平成17年度	112円
	平成18年度	123円
	平成19年度	133円
	平成20年度	144円
編入前の豊栄市の区域	平成17年度	152円

	平成18年度	153円
	平成19年度	153円
	平成20年度	154円
編入前の横越町及び亀田町の区域	平成17年度	131円
	平成18年度	137円
	平成19年度	143円
	平成20年度	149円
編入前の岩室村の区域	平成17年度	136円
	平成18年度	141円
	平成19年度	145円
	平成20年度	150円
編入前の西川町及び渦東村の区域	平成17年度	132円
	平成18年度	138円
	平成19年度	143円
	平成20年度	149円
備考		
1 18リットル未満の端数量を生じた場合において、その端数量が9リットル以下のときはこれを9リットルに、9リットルを超えるときはこれを18リットルに切り上げる。		
2 前号の場合における9リットルの手数料の額は、18リットルの手数料の額に2分の1を乗じて得た額(1円未満の端数が生じるときは、その端数を切り上げた額)とする。		

6 新津市，白根市，豊栄市，小須戸町，横越町，亀田町，岩室村，西川町，味方村，渦東村，月渦村及び中之口村の編入の日前に附則第4項各号に掲げる条例の規定によりなされた処分，手続その他の行為は，それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(巻町の編入に伴う特例)

7 編入前の巻町の区域(以下「旧巻町区域」という。))における一般廃棄物の排出方法及びその処理手数料，市が処理する産業廃棄物及びその処分費用並びに第19条(事業系一般廃棄物に関する部分に限る。))及び第20条第1項の規定による届出については，平成20年5月31日までの間(し尿の処理に係る手数料については，平成17年10月31日までの間)，第15条，第17条第2項，第18条，第19条，第20条第1項，第36条第2項及び第37条第2項の規定にかかわらず，巻町廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年巻町条例第7号)，巻町手数料徴収条例(平成12年巻町条例第11号)及び衛生組合条例の例による。

8 旧巻町区域における平成17年度(平成17年11月1日以後の期間に限る。))から平成20年度までの間のし尿の処理に係る手数料(別表第1に規定する従量制により算定するものに限る。))の額については，次の表の左欄に掲げる年度の区分に応じ，それぞれ同表の右欄に定める額とする。

年 度	手数料の額(18リットルにつき)
平成17年度	126円
平成18年度	133円
平成19年度	141円

平成20年度	148円
備考	
<p>1 18リットル未満の端数量を生じた場合において、その端数量が9リットル以下のときはこれを9リットルに、9リットルを超えるときはこれを18リットルに切り上げる。</p> <p>2 前号の場合における9リットルの手数料の額は、18リットルの手数料の額に2分の1を乗じて得た額(1円未満の端数が生じるときは、その端数を切り上げた額)とする。</p>	

- 9 巻町の編入日の前に附則第7項に掲げる条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則(平成9年条例第2号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年7月1日から施行する。

附 則(平成11年条例第38号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成12年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の規定は、平成12年4月分として徴収する一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用から適用し、同年3月分までの一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用については、なお従前の例による。

附 則(平成12年条例第16号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成13年条例第41号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の規定は、平成14年4月分として徴収する一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用から適用し、同年3月分までの一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用については、なお従前の例による。

附 則(平成15年条例第52号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の規定は、平成16年4月分として徴収する一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用から適用し、同年3月分までの一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用については、なお従前の例による。

附 則(平成16年条例第123号)

この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第2条, 第38条及び別表第3の改正規定 公布の日
- (2) 附則に3項を加える改正規定 平成17年3月21日
- (3) 前2号に掲げる規定以外の規定 平成17年4月1日

附 則(平成17年条例第107号)

この条例は, 平成17年10月10日から施行する。

附 則(平成19年条例第59号)

(施行期日)

- 1 この条例は, 平成20年6月1日から施行する。ただし, 附則第4項及び第7項の改正規定並びに次項の規定は, 公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 改正後の別表第1の規定による手数料の徴収及びこれに関し必要なその他の行為は, この条例の施行前においても, 行うことができる。

附 則(平成20年条例第56号)

この条例は, 公布の日から起算して2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成20年新潟市規則第88号で同20年10月25日から施行)

附 則(平成23年条例第43号)

この条例は, 公布の日から施行する。ただし, 目次の改正規定, 第18条の改正規定(第2項に係る部分に限る。), 第47条を第48条とし, 第46条の次に1条を加える改正規定及び本則に1章を加える改正規定は, 平成23年11月1日から施行する。

附 則(平成24年条例第102号)

この条例は, 平成25年4月1日から施行する。

別表第1(第36条関係)

一般廃棄物処理手数料

種 別	区 分	手数料の額
市が定期的に収集する 家庭系廃棄物	1 燃やすごみ	市長の指定するごみ袋(以下「指定袋」という。)大(容量が45リットル相当のものをいう。以下同じ。)1袋につき 45円
		指定袋中(容量が30リットル相当のものをいう。以下同じ。)1袋につき 30円
		指定袋小(容量が20リットル相当のものをいう。以下同じ。)1袋につき 20円
		指定袋極小(容量が10リットル相当のものをいう。以下同じ。)1袋につき 10円
		指定袋超極小(容量が5リットル相当のものをいう。以下同じ。)1袋につき 5円
	2 燃やさないごみ	指定袋大1袋につき 45円
		指定袋中1袋につき 30円

		指定袋小1袋につき 20円
		指定袋極小1袋につき 10円
		指定袋超極小1袋につき 5円
市が収集する粗大ごみ		500円以内で品目ごとに規則で定める額
し尿	1 一般世帯(定額制) 人頭割額 回数料 月1回を超える場合	1人につき 月額 370円 1回につき 515円
	2 前号の基準により難しいもの又は 特別の事由のあるもの(従量制)	18リットルにつき 155円
動物の死体		1個につき 2,200円
上記以外の一般廃棄物	市長の指定する清掃工場又は 処分地へ自ら搬入する場合	
	家庭系廃棄物 事業系廃棄物	10キログラムまでごとに60円 10キログラムまでごとに130円
備考		
1 手数料の算定の基礎になる数量は、市長の認定するところによる。		
2 上表中「燃やすごみ」とは、法第6条第1項の規定により定めた新潟市一般廃棄物処理計画(以下単に「新潟市一般廃棄物処理計画」という。)に規定する燃やすごみをいう。		
3 上表中「燃やさないごみ」とは、新潟市一般廃棄物処理計画に規定する燃やさないごみをいう。		
4 上表中「粗大ごみ」とは、新潟市一般廃棄物処理計画に規定する粗大ごみをいう。		
5 附則第4項第6号から第8号までに掲げる区域及び旧巻町区域における上表の規定については、同表中「燃やすごみ」とあり、及び「燃やさないごみ」とあるのは、「普通ごみ」とする。		
6 し尿については、18リットル未満の端数量を生じた場合において、その端数量が9リットル以下のときは、9リットルに、9リットルを超えるときは18リットルに切り上げる。		
7 備考6の場合における9リットルの手数料の額は、78円とする。		

別表第2(第37条関係)

産業廃棄物処分費用

区 分	処分費用の額
市長の指定する清掃工場又は処分地へ自ら搬入する場合	10キログラムまでごとに130円
備考 手数料の算定の基礎になる数量は、市長の認定するところによる。	

別表第3(第38条関係)

許可申請手数料等

区 分	手数料の額
1 法第7条第1項の規定による一般廃棄物収集運搬許可申請手数料	1件につき 3,000円
2 法第7条第2項の規定による一般廃棄物収集運搬許可更新申請手数料	1件につき 3,000円
3 法第7条第6項の規定による一般廃棄物処分業許可申請手数料	1件につき 3,000円
4 法第7条第7項の規定による一般廃棄物処分業許可更新申請手数料	1件につき 3,000円
5 法第7条の2第1項の規定による一般廃棄物処理業事業範囲変更許可申請 手数料	1件につき 3,000円
6 許可証再交付申請手数料	1件につき 1,000円

1 1 新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の施行 及び一般廃棄物処理業の許可等に関する規則

新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則(昭和47年新潟市規則第22号)の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例(平成8年新潟市条例第26号。以下「条例」という。)の施行及び一般廃棄物処理業の許可等に関して必要な事項を定めるものとする。

第2条 削除

(市が処理する産業廃棄物)

第3条 条例第15条第2項に規定する規則で定める産業廃棄物は、本市の区域内において生じた産業廃棄物(有毒性、危険性、若しくは引火性のあるもの又は著しい悪臭を伴うものを除く。)で、次に掲げるものとする。

- (1) 紙くず
- (2) 繊維くず
- (3) 動植物性残さ
- (4) 前各号に掲げるもののほか、特に市長が定めるもの

2 市が行う産業廃棄物の処理について、必要な事項は市長が別に定める。

(処理を指示することができる事業系一般廃棄物の量)

第4条 条例第16条の規定による規則で定める事業系一般廃棄物の量は、1日平均10キログラムとする。

(市が定期的に収集する家庭系廃棄物の排出方法)

第5条 条例第17条第2項の規則で定める排出方法は、条例別表第1に規定する市が定期的に収集する家庭系廃棄物にあつては、市長が指定するごみ袋によるものとする。

2 家庭系廃棄物(前項の市が定期的に収集する家庭系廃棄物及び市が収集する粗大ごみを除く。以下「その他の家庭系廃棄物」という。)の排出方法は、次に掲げる基準の全てに適合したポリエチレン製袋を使用するものとする。ただし、ポリエチレン製袋による排出がなじまないその他の家庭系廃棄物については、この限りでない。

- (1) 耐水性があり、丈夫なものであること。
- (2) 顔料等を含まないものであること。
- (3) 容量が90リットル以下であること。

3 前項に掲げるもののほか、その他の家庭系廃棄物の排出方法等については、市長が別に定める。

(粗大ごみの排出方法)

第6条 条例第17条第2項の規則で定める排出方法は、粗大ごみの個別収集を市に依頼した場合に

あつては、市に収集を依頼する粗大ごみごとに市長が別に定める粗大ごみ処理券を見やすいところに貼り付けるものとする。

- 2 前項に規定する粗大ごみ処理券の種類は、手数料の金額に応じて4種類とし、規格は、別に定める。

(ごみ集積場の届出)

第7条 条例第17条第3項の規定により、ごみ集積場を設置しようとする場合は、別記様式第4号によるごみ集積場設置届出書を市長に提出しなければならない。

- 2 ごみ集積場を廃止しようとする場合は、別記様式第5号によるごみ集積場廃止届出書を市長に提出しなければならない。

(家庭系廃棄物の収集又は運搬を行うことができる者)

第7条の2 条例第18条第1項の規則で定める者は、次に掲げる者とする。

- (1) 家庭系廃棄物の収集又は運搬を業として行う者であつて、市の委託を受けて当該委託に係る家庭系廃棄物の収集又は運搬を行うもの
- (2) 市の登録を受けて古紙、古繊維、びん、缶又はペットボトル(以下「古紙等」という。)の回収を行う団体(以下「集団資源回収活動団体」という。)に属する者であつて、当該集団資源回収活動団体の活動として、当該集団資源回収活動団体が清掃その他の管理行為に関与するごみ集積場から古紙等の収集又は運搬を行うもの
- (3) 市の登録を受けて古紙等の収集又は運搬を業として行う者であつて、集団資源回収活動団体の委託を受けて、当該集団資源回収活動団体が清掃その他の管理行為に関与するごみ集積場から古紙等の収集又は運搬を行うもの
- (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者

(家庭系廃棄物の収集又は運搬の禁止の命令)

第7条の3 条例第18条第2項の規定による命令は、別記様式第5号の2による収集運搬禁止命令書により行うものとする。

(一般廃棄物処理の届出)

第8条 条例第19条の規定による一般廃棄物(し尿に限る。)の収集、運搬及び処分(以下「処理」という。)の届出は、別記様式第6号の一般廃棄物(し尿)処理届出書によるものとする。ただし、市長が特別の理由があると認めた場合は、その他の方法によることができる。

- 2 前項の処理に変更が生じた場合又は処理を必要としなくなった場合は、速やかに口頭等で市長に報告しなければならない。

(動物の死体の処理の届出)

第9条 条例第20条第1項の規定による届出は、別記様式第9号による動物死体処理届出書により行わなければならない。

(再生利用促進物)

第9条の2 条例第23条第1項第7号の再生利用を促進することが必要と認められる物は、次に掲げ

るとおりとする。

- (1) 特定家庭用機器廃棄物(特定家庭用機器再商品化法(平成10年法律第97号)第2条第4項に規定する特定家庭用機器が廃棄物となったものをいう。)
- (2) 廃パーソナルコンピュータ(資源の有効な利用の促進に関する法律施行令(平成3年政令第327号)別表第6 1の項上欄に定めるパーソナルコンピュータが廃棄物となったものをいう。)

(廃棄物を自ら運搬する場合等)

第9条の3 条例第24条第1項の規定により、廃棄物(浄化槽から生ずる汚泥等を除く。以下この条及び次条において同じ。)を市長の指定した廃棄物処理施設へ自ら運搬し、その処理を市に依頼しようとする市民及び事業者(市民及び事業者から廃棄物の運搬の委託を受けた者を含む。以下この条及び次条において「市民等」という。)は、別記様式第9号の2による廃棄物処理依頼書を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、市民等から提出された廃棄物処理依頼書を確認し、第10条の廃棄物処理施設の受入基準を満たしていないと判断した場合は、搬入を拒否することができる。

(継続的搬入事業者)

第9条の4 廃棄物の処理を定期的又は継続的に依頼する事業者(以下「継続的搬入事業者」という。)は、前条第1項の規定により廃棄物の処理を市に依頼する場合には、別記様式第9号の3による廃棄物処理依頼書のほか、あらかじめ当該年度の廃棄物の種類、量、運搬計画その他必要な事項を明記した事業計画書を市長に提出しなければならない。継続的搬入事業者が、年度の途中で廃棄物の処理を市に依頼する場合も同様とする。

- 2 継続的搬入事業者は、前項の規定による事業計画書の当該事項に変更が生じた場合は、速やかに変更の内容を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、継続的搬入事業者から提出された廃棄物処理依頼書を確認し、第10条の廃棄物処理施設の受入基準を満たしていると判断した場合は、別記様式第9号の4による廃棄物処理承諾書を当該継続的搬入事業者に交付する。
- 4 市長は、継続的搬入事業者が廃棄物処理施設に廃棄物を搬入する際に、前項の廃棄物処理承諾書の内容と廃棄物が異なる場合は、搬入を拒否することができる。

(処理施設の受入基準)

第10条 条例第24条第1項の規定による規則で定める受入基準は、次のとおりとする。

- (1) 本市の区域内で発生した廃棄物であること。
 - (2) 条例第23条第1項に定める排出禁止物を除去してあること。
 - (3) 可燃物、不燃物等に適正に分別して、定められた処理施設に搬入するものであること。
 - (4) 各処理施設において処理することが困難な形状、量又は寸法のものでないこと。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、市の処理施設において、設備及び処理業務に支障を生じさせないものであること。
- 2 前項に規定するもののほか、市の処理施設における受入に関し必要な事項は、市長が別に定め

る。

(事業用大規模建築物)

第11条 条例第26条に規定する規則で定める事業用大規模建築物は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(昭和45年法律第20号)第2条第1項に規定する特定建築物
- (2) 大規模小売店舗立地法(平成10年法律第91号)第2条第2項に規定する大規模小売店舗
- (3) 新潟市大規模小売店舗等連絡協議会設置要綱(平成4年10月30日制定)第2条第2号に規定する中規模小売店舗

(減量計画書の作成及び提出)

第12条 条例第26条の規定による減量及び適正処理に関する計画書は、別記様式第10号の減量計画書により、その年の4月1日から翌年の3月31日までの期間について作成し、毎年5月31日までに、市長に提出しなければならない。

(廃棄物管理責任者の選任及び届出)

第13条 条例第27条の規定による廃棄物管理責任者は、当該事業用大規模建築物から生ずる事業系一般廃棄物の管理について権限を有する者でなければならない。

2 条例第27条の規定による廃棄物管理責任者の選任又は変更の届出は、選任又は変更のあった日から10日以内に、別記様式第11号による廃棄物管理責任者選任(変更)届により行わなければならない。

(保管場所の設置基準)

第14条 条例第28条各項の規定による規則で定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 事業系一般廃棄物及び再利用対象物の種類及び排出量に応じて、分別して保管するのに十分な規模であること。
- (2) 事業系一般廃棄物及び再利用対象物の保管場所は明確に区分すること。
- (3) 事業系一般廃棄物及び再利用対象物が、衛生的に保管できること。
- (4) 事業系一般廃棄物及び再利用対象物が飛散したり、雨水が流入したりしないようにすること。
- (5) 事業系一般廃棄物及び再利用対象物の搬入及び搬出に支障のないこと。

(事業系一般廃棄物及び再利用対象物保管場所設置届)

第15条 条例第28条第3項の規定による届出は、別記様式第12号による事業系一般廃棄物及び再利用対象物保管場所設置届により、建築基準法(昭和25年法律第201号)第6条第1項の規定による確認の申請をする場合に行わなければならない。

(改善勧告)

第16条 条例第29条の規定による勧告(以下「改善勧告」という。)は、別記様式第13号による勧告書により行うものとする。

2 改善勧告を受けた者は、当該勧告に基づき改善措置を講じた場合は、速やかに別記様式第14

号による改善措置報告書を市長に提出しなければならない。

(公表)

第17条 条例第30条第1項の規定による公表は、事業用大規模建築物の名称及び所在地、事業用大規模建築物の所有者又は建設者の氏名、公表の理由その他必要な事項を新潟市公報発行規程(昭和35年新潟市訓令第7号)第1条に規定する新潟市公報に登載して行うものとする。

2 条例第30条第2項の規定による通知(以下「公表通知」という。)は、別記様式第15号による公表通知書により行うものとする。

3 市長は、公表通知を受けた者の意見があった場合で、必要があると認めるときは、期限を定めて公表を延期し、又は公表しないことができる。

(受入拒否)

第18条 条例第31条の規定による事業系一般廃棄物の受入拒否は、別記様式第16号による受入拒否通知書により行うものとする。

2 市長は、条例第31条の規定による事業系一般廃棄物の受入拒否を取り消す場合は、別記様式第17号による受入拒否取消通知書により通知するものとする。

(一般世帯の特例)

第19条 条例別表第1し尿の項区分の欄2に規定する特別な事由があるものとは、一般世帯で、次の各号に該当するものをいう。

- (1) アパート、間貸し等で世帯人員の異動が激しく、世帯人員の把握が困難なもの
- (2) 不定期にくみ取りを必要とするもの
- (3) 浸水、簡易水洗方式等により世帯人員に比較して著しくくみ取り量の多いもの
- (4) 前3号に掲げるもののほか、特別な事由があると市長が認めるもの

(粗大ごみに係る手数料の額)

第20条 条例別表第1に規定する500円以内で品目ごとに規則で定める額は、別表に定めるところによる。

(し尿に係る手数料の徴収基準)

第21条 条例別表第1し尿の項区分の欄1に属するものの徴収基準となる世帯人員は、月の初日の人員(月の途中において世帯の新たな転入等により納入義務が発生した場合は、月の途中における人員)とし、同表し尿の項区分の欄2に属するものの徴収基準は、当該月にくみ取った総量とする。

2 条例別表第1区分の欄につき変更の理由が生じた場合の手数料は、その理由が生じた月から改定額により徴収する。

(手数料の徴収方法)

第22条 市が廃棄物の収集及び処理を行う場合の手数料(条例別表第1市が定期的に収集する家庭系廃棄物の項に掲げる手数料(以下「指定袋手数料」という。)、市が収集する粗大ごみの項に掲げる手数料(以下「粗大ごみ手数料」という。)及び上記以外の一般廃棄物の項に掲げる手数料を

除く。)は2カ月分合算して、別記様式第19号又は別記様式第19号の2の納入通知書により徴収するものとし、納入区分及び納期限は次の表に掲げるとおりとする。ただし、納期限が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、土曜日又は日曜日(以下「休日等」という。)に当たる場合は、これらの日の翌日をもって納期限とする。

納入区分		納期限
1期	2月分・3月分	4月30日
2期	4月分・5月分	6月30日
3期	6月分・7月分	8月31日
4期	8月分・9月分	10月31日
5期	10月分・11月分	1月4日
6期	12月分・1月分	2月末日

- 2 市が廃棄物の収集及び処理を行う場合の手数料(指定袋手数料及び粗大ごみ手数料に限る。)は、第25条の規定により手数料の収納事務を委託した者に納付するものとする。
- 3 第9条の3による場合の手数料(条例別表第1上記以外の一般廃棄物の項に掲げる手数料に限る。以下この条において同じ。)及び処分費用は、市長が搬入の都度認定し、徴収するものとする。
- 4 前項の規定にかかわらず、施設への搬入頻度が高い等その都度手数料及び処分費用を徴収することが施設の運営上適当でない場合で、次に掲げる事業者が該当するときは、当月分の手数料及び処分費用を集計し、翌月の月末を納期限として徴収することができる。この場合において、納期限が休日等、1月2日、1月3日又は12月31日に当たる場合は、これらの日の翌日をもって納期限とする。
 - (1) 搬入車両を事前に登録できる事業者
 - (2) 別納に支障がない事業者
- 5 第1項から第3項までに定めるもののほか、市長が特別の理由があると認める場合は、随時に手数料及び処分費用を徴収することができる。

(手数料の免除)

第23条 条例第36条第3項の特別の理由があると認める場合とは、次の表の左欄に掲げる場合とし、それぞれ同表の中欄に掲げる種別に応じ、同表の右欄に定めるところにより手数料を免除することができる。

	特別の理由	種別	免除する額
1	生活保護法(昭和25年法律第144号)による生活扶助を受けている世帯である場合	市が定期的に収集する家庭系廃棄物	市長が別に定める額
		し尿	全額
		上記以外の一般廃棄物(条例別表第1に規定する上記以外の一般廃棄物をいう。以下この表において同じ。)	全額
2	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する	市が定期的に収集する家庭系廃棄物	市長が別に定める額
		し尿	全額
		上記以外の一般廃棄物	全額

	る法律(平成6年法律第30号)による生活支援給付を受けている世帯である場合		
3	3歳未満の乳幼児を養育する保護者、新潟市重度障がい者児日常生活用具給付事業実施要綱(平成2年4月1日施行)、新潟市紙おむつ支給事業実施要綱(平成12年4月1日施行)、新潟市在宅難病患者紙おむつ支給事業実施要綱(平成13年4月1日施行)又は新潟市障がい者紙おむつ支給事業実施要綱(平成16年4月1日施行)による紙おむつの支給を受ける者その他紙おむつを使用する者で市長が特に必要と認めるものである場合	市が定期的に収集する家庭系廃棄物(条例別表第1備考5に規定する区域以外の区域にあつては、燃やすごみに限る。)	市長が別に定める額
4	社会事業その他公益を目的とする事業を営営するもので市長が特に必要と認めるものである場合	し尿	その都度市長が定める額
		上記以外の一般廃棄物	その都度市長が定める額
5	その他市長が特に必要と認める場合	その都度市長が認める種別	その都度市長が定める額

(手数料免除の申請)

第24条 条例第36条第3項の規定により、手数料の全部又は一部の免除を受けようとする者は、別記様式第20号による一般廃棄物処理手数料免除申請書を市長に提出しなければならない。ただし、天災その他やむを得ない理由がある場合で市長が特に必要と認めるとき、及び前条の表1の項から3の項までの規定(同表1の項及び2の項にあつては、市が定期的に収集する家庭系廃棄物に係るものに限る。)を適用しようとする場合は、この限りでない。

(徴収委託及び収納委託)

第25条 市長は、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第158条第1項の規定により、私人に、手数料の徴収事務を委託すること(以下「徴収委託」という。)及び手数料の収納事務を委託すること(以下「収納委託」という。)ができる。

(徴収事務委託証等)

第26条 市長は、前条の規定により徴収委託又は収納委託(以下「徴収委託等」という。)をした者(以下「受託者」という。)に別記様式第20号の2による一般廃棄物処理手数料徴収事務委託証又は別記様式第21号による一般廃棄物処理手数料収納事務委託証(以下「委託証」という。)を交付するものとする。

(徴収委託等の告示及び公表)

第27条 市長は、第25条の規定により徴収委託等をした場合は、その旨を新潟市公告式条例(昭和25年新潟市条例第37号)第2条第2項に定める掲示場に掲示して告示し、かつ、市公報への登載そ

他の方法により公表しなければならない。

(受託者の領収証書の交付及び手数料の払込み)

第28条 受託者は、その徴収委託等に係る手数料を徴収し、又は収納した場合は、領収証書を納入義務者に交付しなければならない。

2 受託者は、徴収したその徴収委託に係る手数料をその徴収した日の翌日(その日とその徴収委託に係る処理施設において廃棄物の搬入を受け入れない日又は休日等に当たる場合は、これらの日の翌日)までに会計管理者又は指定金融機関、指定代理金融機関若しくは収納代理金融機関(以下「会計管理者等」という。)に払い込まなければならない。

3 受託者は、収納したその収納委託に係る手数料を市長が指定する日までに別記様式第22号による納入通知書により会計管理者等に払い込まなければならない。

(収納委託料)

第29条 市長は、第25条の規定により収納委託をした者が前条第3項又は次条第2項の規定により手数料を会計管理者等に払い込んだ場合は、当該者に対し、市長が別に定める額を委託料として交付するものとする。

(徴収委託等の解除)

第30条 市長は、受託者が次の各号のいずれかに該当する場合は、徴収委託等を解除するものとする。

- (1) 受託者が不正な行為をした場合
- (2) 受託者が市長又は会計管理者の指示に従わなかった場合
- (3) 受託者から徴収委託等の解除の申出があった場合
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が徴収委託等をすることを不相当であると認めた場合

2 前項の規定により徴収委託等を解除された者は、直ちに市長に委託証を返納し、及び未払込みの手数を会計管理者等に払い込まなければならない。

3 第27条の規定は、第1項の規定により徴収委託等を解除した場合に準用する。

(一般廃棄物処理業許可申請等)

第31条 次の各号に掲げる許可を受けようとする者は、当該各号に掲げる申請書を市長に提出しなければならない。

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号。以下この条、第34条及び第35条において「法」という。)第7条第1項の規定による許可 一般廃棄物収集運搬業許可申請書(別記様式第23号)
- (2) 法第7条第6項の規定による許可 一般廃棄物処分業許可申請書(別記様式第24号)

2 前項に規定する許可を受けた者(以下「許可業者」という。)で、法第7条の2第1項の規定により事業の範囲の変更の許可を受けようとする者は、別記様式第25号による一般廃棄物処理事業範囲変更許可申請書を市長に提出しなければならない。

(一般廃棄物処理業許可証の交付)

第32条 市長は、許可業者に対し、別記様式第26号による一般廃棄物処理業許可証(以下「許可証」という。)を交付するものとする。

(許可証の再交付)

第33条 許可業者は、許可証を紛失し、又は破損した場合で、許可証の再交付を受けようとするときは、別記様式第27号による一般廃棄物処理業許可証再交付申請書を市長に提出しなければならない。

(事業の廃止等の届出)

第34条 許可業者は、法第7条の2第3項の規定による一般廃棄物処理業の事業の廃止を行おうとする場合は、別記様式第28号による一般廃棄物処理業廃止届出書を市長に提出しなければならない。

2 許可業者は、住所その他廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則(昭和46年厚生省令第35号)第2条の6第1項に定める事項の変更を行おうとする場合は、別記様式第29号による一般廃棄物処理業変更届出書を市長に提出しなければならない。

3 法第7条の2第4項の規定による市長への届出は、別記様式第29号の2によるものとする。

(実績報告書の提出)

第35条 許可業者は、年度終了後3月以内に、法第7条第1項の許可を受けた者にあつては別記様式第30号による実績報告書を、同条第6項の許可を受けた者にあつては別記様式第31号による実績報告書を市長に提出しなければならない。

(縦覧について告示する事項)

第36条 条例第40条の規定により告示する事項は、次のとおりとする。

- (1) 対象施設の名称、種類及び設置場所
- (2) 対象施設で処理する一般廃棄物の種類
- (3) 対象施設の処理能力(一般廃棄物の最終処分場である場合にあつては、一般廃棄物の埋立処分の用に供される場所の面積及び埋立容量)
- (4) 実施した生活環境影響調査の項目
- (5) 縦覧の場所、期間及び時間
- (6) 意見書の提出先及び提出期限

(調査書の縦覧)

第37条 条例第41条の縦覧の期間のうち、休日等並びに1月2日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までの日は、調査書の縦覧をしないものとする。

2 調査書の縦覧の時間は、午前8時30分から午後5時30分までとする。ただし、特に市長が認める場合は、午前8時30分から午後5時15分までとする。

(縦覧の手続)

第38条 縦覧に供された調査書を縦覧しようとする者(以下「縦覧者」という。)は、別に定める縦覧簿に住所、氏名等を記入しなければならない。

(縦覧者の遵守事項)

第39条 縦覧者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 調査書を縦覧の場所から持ち出さないこと。
- (2) 調査書を汚損し、又は損傷しないこと。
- (3) 他の縦覧者に迷惑を及ぼさないこと。
- (4) 係員の指示があった場合には、それに従うこと。

2 市長は、前項の規定に違反した者に対し、縦覧を停止し、又は禁止することができる。

(意見書の記載事項)

第40条 条例第42条の意見書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 意見書を提出しようとする者の氏名及び住所(法人その他の団体にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)
- (2) 対象施設の名称
- (3) 生活環境の保全上の見地からの意見

附 則

(施行期日)

1 この規則は、新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の施行の日(平成8年10月1日)から施行する。ただし、第5条、第6条及び第7条並びに第11条から第18条までの規定は、平成9年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則による改正前の新潟市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則の規定によりなされた処分は、この規則の相当規定によりなされた処分とみなす。
- 3 この規則の規定は、この規則の施行日以後に受理した申請、届出及び報告について適用し、同日前に受理した申請、届出及び報告については、なお従前の例による。

(合併に伴う特例)

4 編入前の新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村及び中之口村の区域における一般廃棄物処理手数料及び産業廃棄物処分費用の徴収方法については、当分の間(し尿処理手数料については、平成17年3月31日までの間)、第22条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

(巻町の編入に伴う特例)

5 編入前の巻町の区域(以下「旧巻町区域」という。)における一般廃棄物処理手数料(し尿処理手数料を除く。)及び産業廃棄物処分費用の徴収方法については、当分の間、第22条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

(生活扶助等受給世帯に関する特例)

6 平成25年7月31日において現に生活保護法による生活扶助又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による生活支援給付を受けている世帯(以

下この項及び次項において「生活扶助等受給世帯」という。)であって、平成25年厚生労働省告示第174号による改正前の生活保護法による保護の基準(昭和38年厚生省告示第158号)に規定する基準により算定したならば同日後も生活扶助等受給世帯であった世帯に係る第23条の規定の適用については、平成25年8月1日から平成26年3月31日までの間は、当該世帯を生活扶助等受給世帯とみなす。

- 7 平成26年3月31日において現に生活扶助等受給世帯であって、平成26年厚生労働省告示第136号による改正前の生活保護法による保護の基準に規定する基準により算定したならば同日後も生活扶助等受給世帯であった世帯に係る第23条の規定の適用については、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの間は、当該世帯を生活扶助等受給世帯とみなす。
- 8 平成27年3月31日において現に生活保護法による生活扶助又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律(平成6年法律第30号)による生活支援給付を受けている世帯(以下「生活扶助等受給世帯」という。)であって、平成27年厚生労働省告示第227号による改正前の生活保護法による保護の基準に規定する基準により算定したならば同日後も生活扶助等受給世帯であった世帯に係る第23条の規定の適用については、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間は、当該世帯を生活扶助等受給世帯とみなす。

附 則(平成9年規則第18号)抄

(施行期日)

- 1 この規則は、平成9年7月1日から施行する。

附 則(平成12年規則第4号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則の規定は、この規則の施行の日以後に受理した申請、届出及び報告について適用し、同日前に受理した申請、届出及び報告については、なお従前の例による。

附 則(平成12年規則第64号)

この規則は、平成12年6月1日から施行する。

附 則(平成12年規則第99号)

この規則は、平成13年1月1日から施行する。

附 則(平成17年規則第76号)

この規則は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第31条及び別記様式第23号から別記様式第25号までの改正規定 公布の日
- (2) 附則に2項を加える改正規定並びに別記様式第6号、別記様式第7号、別記様式第9号の2、別記様式第9号の3、別記様式第30号及び別記様式第32号の改正規定(別記様式第9号の2の改

正規定中「別記様式第9号の2(第9条の2関係)」を「別記様式第9号の2(第9号の3関係)」に、「第9条の2第1項」を「第9条の3第1項」に改める部分及び別記様式第9号の3の改正規定中「別記様式第9号の3(第9条の2関係)」を「別記様式第9号の3(第9条の3関係)」に、「第9条の2第2項」を「第9条の3第2項」に改める部分を除く。) 平成17年3月21日

(3) 前2号に掲げる規定以外の規定 平成17年4月1日

附 則(平成17年規則第217号)

この規則は、平成17年10月10日から施行する。ただし、別記様式第23号及び別記様式第24号の改正規定は、公布の日から施行する。

附 則(平成17年規則第249号)

この規則は、平成18年1月1日から施行する。

附 則(平成18年規則第26号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成19年規則第61号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年規則第162号)

(施行期日)

1 この規則は、平成20年6月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の第5条及び第6条の規定にかかわらず、当分の間、この規則の施行日前に販売された、次に掲げる指定袋等により排出できるものとする。

- (1) 新津市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例(平成7年新津市条例第31号)第29条に規定する指定袋
- (2) 白根地域広域事務組合廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例(平成11年白根地域広域事務組合条例第12号)第26条に規定する指定袋
- (3) 白根地域広域事務組合廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例施行規則(平成11年白根地域広域事務組合規則第20号)第6条に規定する粗大ごみ処理券
- (4) 豊栄市廃棄物の処理及び再利用の促進等に関する条例(平成8年豊栄市条例第21号)第31条に規定する指定袋
- (5) 岩室村廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年岩室村条例第8号)第12条に規定する指定ごみ袋
- (6) 西川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年西川町条例第1号)第11条の2に規定する指定袋及び指定シール
- (7) 潟東村廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成6年潟東村条例第12号)第11条の2に規定する指定ごみ袋及び指定シール
- (8) 巻町手数料徴収条例(平成12年巻町条例第11号)第2条第27号に規定する指定ごみ袋

附 則(平成19年規則第172号)抄

(施行期日)

- 1 この規則は、平成19年9月1日から施行する。

附 則(平成20年規則第50号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成20年規則第60号)

この規則中別記様式第4号(表)及び別記様式第5号の改正規定は公布の日から、その他の規定は平成20年6月1日から施行する。

附 則(平成20年規則第85号)

この規則は、新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例(平成20年新潟市条例第56号)の施行の日から施行する。

(平成20年新潟市規則第88号で同20年10月25日から施行)

附 則(平成21年規則第2号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成23年規則第58号)

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第7条の次に2条を加える改正規定(第7条の3に係る部分に限る。)は、平成23年11月1日から施行する。

附 則(平成24年規則第79号)

この規則は、平成24年7月9日から施行する。

附 則(平成25年規則第35号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第31条第1項第1号及び第35条の改正規定、同条の表を削る改正規定、別記様式第30号及び別記様式第31号の改正規定、別記様式第32号を削る改正規定並びに次項の規定は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の第35条、別記様式第30号及び別記様式第31号の規定は、前項ただし書に規定する規定の施行の日以後の業務に係る実績報告書の提出について適用し、同日前の業務に係る実績報告書の提出については、なお従前の例による。

附 則(平成25年規則第70号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年規則第71号)

この規則は、平成25年8月1日から施行する。

附 則(平成26年規則第37号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成26年規則第63号)

この規則は、公布の日から施行し、第1条の規定による改正後の新潟市児童福祉施設負担金等徴収規則の規定、第2条の規定による改正後の新潟市ひまわりクラブ条例施行規則の規定、第3条の規定による改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の施行及び一般廃棄物処理業の許可等に関する規則の規定、第4条の規定による改正後の新潟市介護保険条例施行規則の規定、第5条の規定による改正後の新潟市児童福祉施設負担金等徴収規則の一部を改正する規則の規定、第6条の規定による改正後の新潟市市税条例施行規則の規定及び第7条の規定による改正後の新潟市中心身障害者扶養共済制度条例施行規則の規定は、平成26年4月1日から適用する。

附則(平成26年規則第90号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附則(平成27年規則第67号)

この規則は、公布の日から施行し、第1条の規定による改正後の新潟市児童福祉施設負担金等徴収規則の規定、第2条の規定による改正後の新潟市ひまわりクラブ条例施行規則の規定、第3条の規定による改正後の新潟市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の施行及び一般廃棄物処理業の許可等に関する規則の規定、第4条の規定による改正後の新潟市介護保険条例施行規則の規定、第5条の規定による改正後の新潟市児童福祉施設負担金等徴収規則の一部を改正する規則の規定、第6条の規定による改正後の新潟市市税条例施行規則の規定、第7条の規定による改正後の新潟市中心身障害者扶養共済制度条例施行規則の規定、第8条の規定による改正後の新潟市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の規定及び第9条の規定による改正後の新潟市立幼稚園授業料規則の規定は、平成27年4月1日から適用する。

別表(第20条関係)

(単位 円)

区分		番号	品目名	手数料の額	
1 ガス器具、石油器具及び電化製品	(1) ガス器具及び石油器具	1	オイルヒーター	200	
		2	ガスオープンレンジ	500	
		3	ガステーブル(ガスレンジ及びガスコンロを含む。)	200	
		4	給湯器	100	
		5	ストーブ	100	
		6	パネルヒーター	100	
		7	ファンヒーター	200	
	(2) 電化製品関連機器	ア 家電関連機器	1	IHヒーター(電磁誘導加熱式調理器をいう。)	100
			2	編み機	200

			3	換気扇	100
			4	空気清浄器	100
			5	こたつ(天板を含む。)	300
			6	コピー機(家庭用に限る。)	200
			7	照明器具	100
			8	除湿器	200
			9	食器乾燥機	100
			10	食器洗い乾燥機(食器洗い機単体を含む。)	200
			11	炊飯器	100
			12	ズボンプレスナー	100
			13	精米機	100
			14	扇風機	100
			15	掃除機	100
			16	電子レンジ	300
			17	ファクシミリ	100
			18	ホットプレート	100
			19	ミシン(卓上型に限る。)	100
			20	ミシン(卓上型を除く。)	300
			21	餅つき機	100
			22	冷風機(ウインドーファンをいう。)	100
		イ AV関連機器	1	アンテナ	100
			2	オーディオ機器(单品アンプ, チューナー, カセットデッキ及び各種プレーヤーをいう。)	100
			3	カラオケの演奏装置(家庭用に限る。)	100
			4	ステレオセット(最大の辺の長さが80センチメートル未満のものに限る。)	200
			5	ステレオセット(最大の辺の長さが80センチメートル以上のものに限る。)	500
			6	スピーカー(最大の辺の長さが60センチメートル未満のものに限る。)	100
			7	スピーカー(最大の辺の長さが60センチメートル以上のものに限る。)	200
		ウ パソコン関連機器	1	プリンター	100
			2	ワードプロセッサ	100
2 家具及び寝具	(1) 家具	ア テーブル, 机, いす及びソファ	1	いす(1人で使用する構造のものに限る。)	100
			2	いす(2人以上で使用する構造のものに限る。)	200

		3	ソファ	500
		4	机	200
		5	袖机	500
		6	テーブル(座卓を含む。)(天板の最大の辺の長さ又は径が1メートル未満のものに限る。)	200
		7	テーブル(座卓を含む。)(天板の最大の辺の長さ又は径が1メートル以上のものに限る。)	300
	イ 収納家具	1	衣装ケース	100
		2	靴箱(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200
		3	靴箱(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300
		4	靴箱(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500
		5	食器棚(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200
		6	食器棚(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300
		7	食器棚(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500
		8	たんす(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル未満のものに限る。)	300
		9	たんす(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500
		10	本棚(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200
		11	本棚(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300
		12	本棚(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500
		13	リビングボード及びサイドボード(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200
		14	リビングボード及びサイドボード(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル	500

			以上のものに限る。)		
		15	カラーボックス(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200	
		16	カラーボックス(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300	
		17	カラーボックス(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500	
		18	その他収納用具(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200	
		19	その他収納用具(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300	
		20	その他収納用具(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500	
	ウ	カーペット及びカーテン	1	アコーディオンカーテン	200
			2	ウッドカーペット(5畳未満のものに限る。)	300
			3	ウッドカーペット(5畳以上のものに限る。)	500
			4	カーテン	100
			5	カーペット(じゅうたんを含む。)(6畳未満のものに限る。)	100
			6	カーペット(じゅうたんを含む。)(6畳以上のものに限る。)	200
			7	電気カーペット	100
			8	畳	500
			9	その他敷物(上敷, ゴザ, ラグマット等)	100
			10	ブラインド及びすだれ	100
	エ	その他家具類	1	衣類乾燥機台	100
			2	オーディオラック	300
			3	カーテンレール	100
			4	傘立て	100
			5	鏡台	300
			6	金庫	200
			7	クッキングテーブル	300
			8	姿見	100

			9	すのこ	100
			10	洗面化粧台	500
			11	建具(障子, ふすま, 網戸, 扉, サッシ等をいう。)	100
			12	テレビ台(幅, 奥行及び高さの合計が1.5メートル未満のものに限る。)	100
			13	テレビ台(幅, 奥行及び高さの合計が1.5メートル以上2メートル未満のものに限る。)	300
			14	テレビ台(幅, 奥行及び高さの合計が2メートル以上のものに限る。)	500
			15	電話台	200
			16	パイプハンガー	100
			17	パソコン用ラック	200
			18	洋服掛け(衣こう及びえもん掛けを含む。)	100
			19	レンジ台	200
			20	ワゴン	100
	(2) 寝具		1	座布団	5枚までごとに100
			2	スプリングマットレス	500
			3	ソファークラッド	500
			4	電動機能付きベッド	500
			5	布団	100
			6	ベッド	500
			7	マットレス(折り畳みのものを含む。)	200
			8	毛布, シーツ等(電気式のものを含む。)	4枚までごとに100
3 趣味用品	(1) アウトドア用品, スポーツ用品及び健康器具	ア アウトドア用品	1	クーラーボックス	100
			2	サマーベッド	100
			3	テント一式	100
			4	バーベキューセット	100
			5	ビーチパラソル	100
			6	レジャーテーブル	100
			7	レジャーボート	300
		イ スポーツ用品	1	一輪車(スポーツ用に限る。)	100
			2	キャリアケース	200
			3	ゴルフ用具(クラブ又はバッグの単品又はセット)	100
			4	サーフボード	100

		5	自転車	200	
		6	スキーキャリア	100	
		7	スキー用具(スキー板又はストックの単品又はセット)	100	
		8	スノーボード	100	
		9	そり	100	
		10	ダンベル(アレイ, バーベル等をいう。)	300	
		11	釣ざお	100	
		12	電動機付自転車	300	
		13	トレーニング用ベンチ	300	
		14	バスケットゴール(土台付きを除く。)	300	
		15	バスケットゴール(土台付きに限る。)	500	
		16	ボウリングのボール	100	
		ウ 健康器具	1	サイクリングマシン	300
			2	ぶら下がり式の健康器具	200
			3	マッサージ機(いす型を除く。)	100
			4	マッサージ機(いす型に限る。)	500
5	ランニングマシン		500		
6	その他健康器具		200		
(2) 楽器, 園芸用品及びペット用品ほか	ア 楽器	1	オルガン	500	
		2	キーボード	100	
		3	ギター	100	
		4	ギターアンプ	100	
		5	電子ピアノ	500	
	イ 園芸用品	1	園芸用の支柱(5本までごと)	100	
		2	園芸用の柵	100	
		3	芝刈機	100	
		4	高枝せん定ばさみ	100	
		5	フラワースタンド	200	
		6	プランター	100	
	ウ ペット用品	1	水槽(幅, 奥行及び高さの合計が1.5メートル未満のものに限る。)	100	
		2	水槽(幅, 奥行及び高さの合計が1.5メートル以上のものに限る。)	300	
		3	ペット小屋(かご及び柵を含む。)(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メートル未満のものに限る。)	100	
		4	ペット小屋(かご及び柵を含む。)(幅, 奥行及び高さの合計が2.5メート	500	

			ル以上のものに限る。)	
4 生活用品関連用品、子ども用品その他生活関連用品	(1) 生活用品	1	アイロン台	100
		2	一輪車(運搬用のものに限る。)	100
		3	脚立及びはしご(高さが2メートル未満のものに限る。)	100
		4	脚立及びはしご(高さが2メートル以上のものに限る。)	200
		5	こたつ板	100
		6	ごみ箱	100
		7	米びつ	100
		8	シルバーカート(高齢者用手押し車をいう。)	100
		9	スーツケース	100
		10	スコップ	100
		11	スノーダンプ	100
		12	台車	200
		13	突っ張り棒(5本までごと)	100
		14	灯油タンク	300
		15	生ごみ処理機器	200
		16	風呂の蓋	100
		17	風呂場のマット	100
		18	ホースリール(ホース付き)	100
		19	ポータブルトイレ	100
		20	物置(幅、奥行及び高さの合計が2メートル未満のものに限る。)	200
		21	物置(幅、奥行及び高さの合計が2メートル以上2.5メートル未満のものに限る。)	300
		22	物置(幅、奥行及び高さの合計が2.5メートル以上のものに限る。)	500
		23	物干しざお	100
		24	物干し台(重り付きを除く。)	100
		25	物干し台(重り付きに限る。)	300
	(2) 子ども用品	1	子ども用三輪車	100
		2	子ども用遊具(ジム、滑り台、ブランコ等をいう。)	200
		3	チャイルドシート	100
		4	ベビーカー	100
		5	ベビーガード(ストーブガードを含む。)	100

		6	ベビーバス	100
		7	ベビーベッド	300
		8	ベビーラック	200
	(3) その他生活関連用品	1	額縁	100
		2	コンクリートブロック	100
		3	タイヤのホイール	100
		4	ついたて	100
		5	なみ板(トタン又はプラスチック製の ものに限る。)	200
		6	庭木, 角材, ベニヤ板その他の木材	100
5	上記以外のもの	1	幅, 奥行及び高さの合計が1.5メー トル未満のもの	100
		2	幅, 奥行及び高さの合計が1.5メー トル以上2メートル未満のもの	200
		3	幅, 奥行及び高さの合計が2メー トル以上3メートル未満のもの	300
		4	幅, 奥行及び高さの合計が3メー トル以上のもの	500

[様式省略]

清掃事業概要

編集 新潟市環境部廃棄物政策課

〒951-8550

新潟市中央区学校町通一番町 602 番地 1

白山浦庁舎 1 号棟 3 階

電話(025)226-1391(直通)